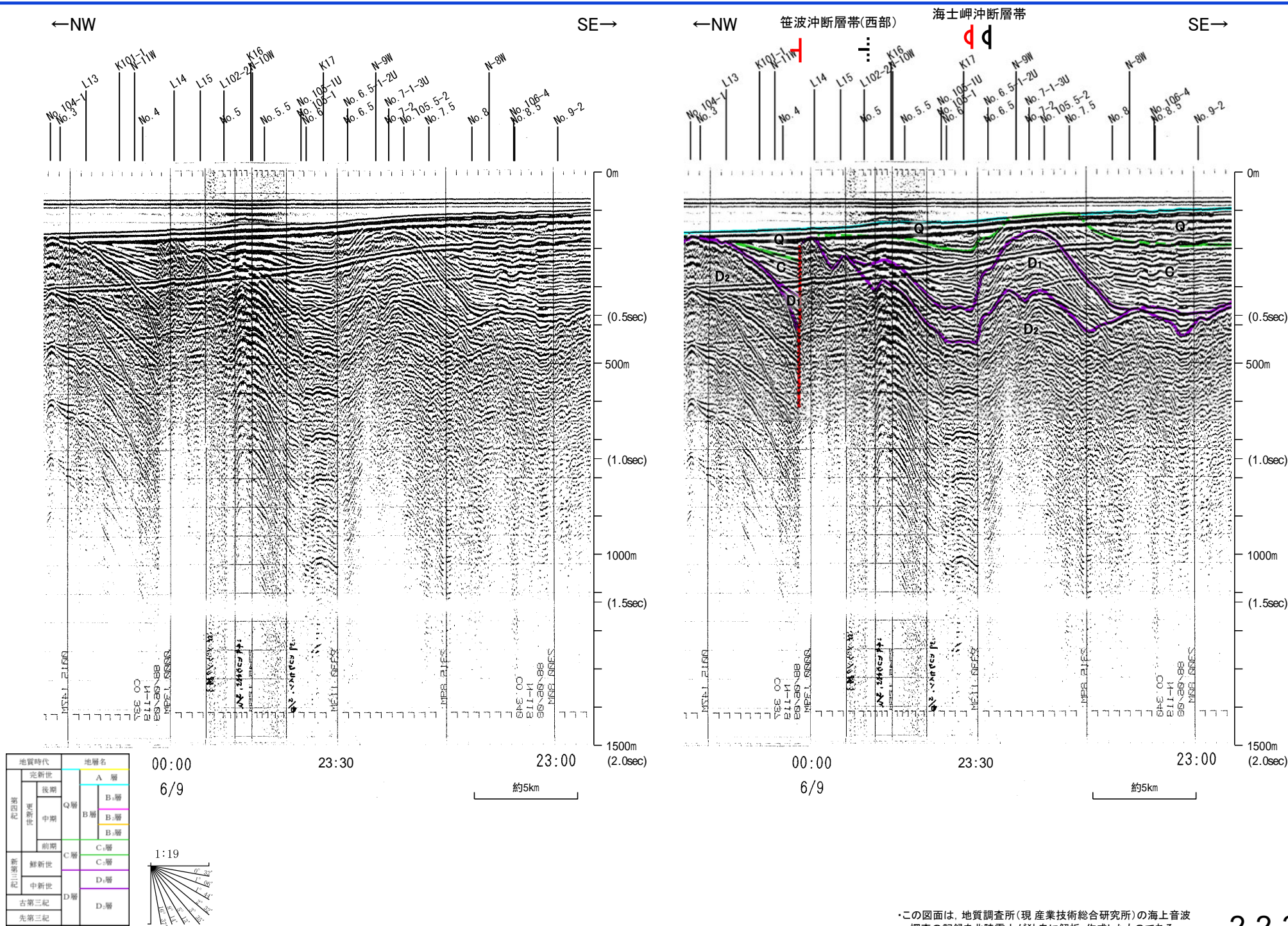
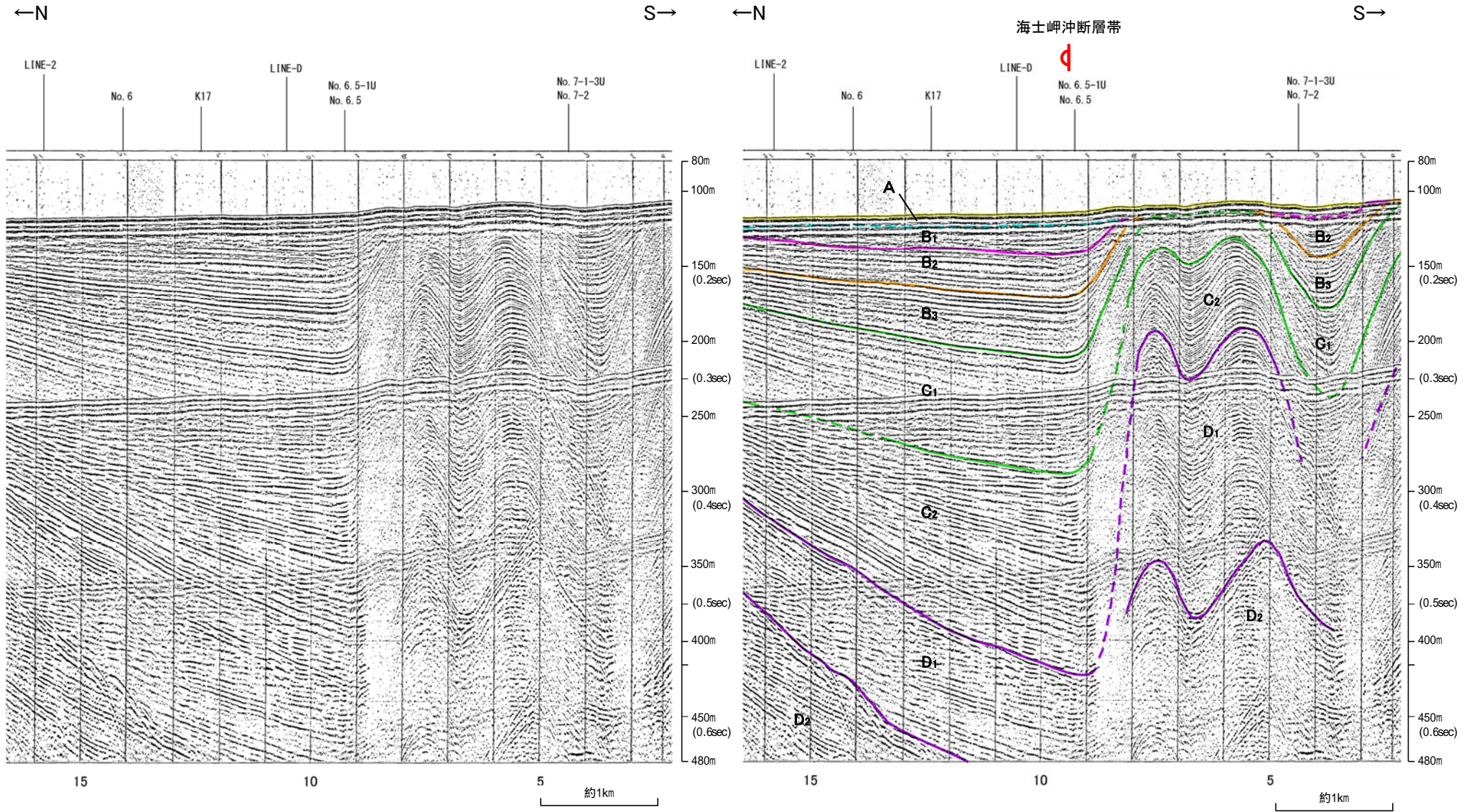


地質調査所エアガン N-119

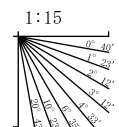


・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.105-1



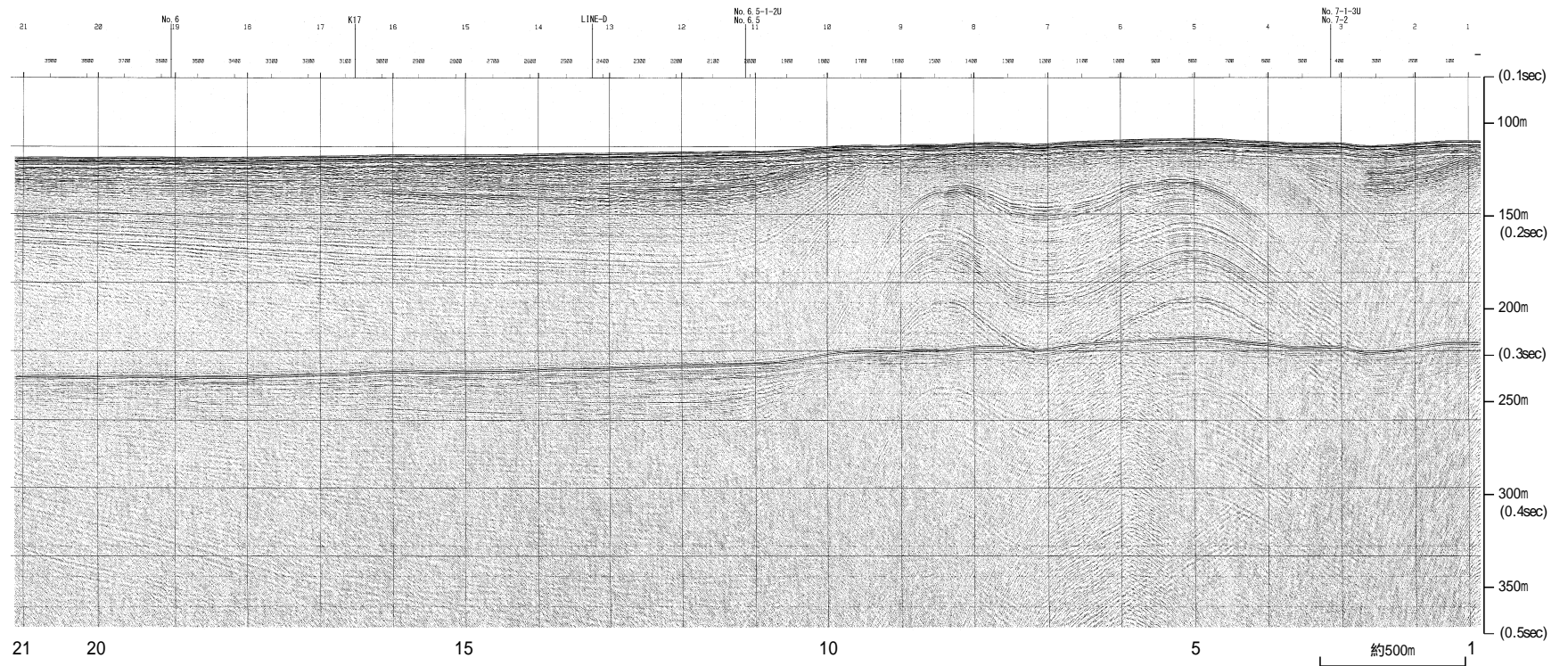
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	新第三紀	C層	C ₁ 層
新第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
		先第三紀	D ₂ 層



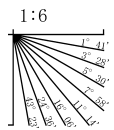
北陸電カブーマー No.105-1U

←N

S→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B層
		中期	B層
		前期	C層
	全新世	D層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層		

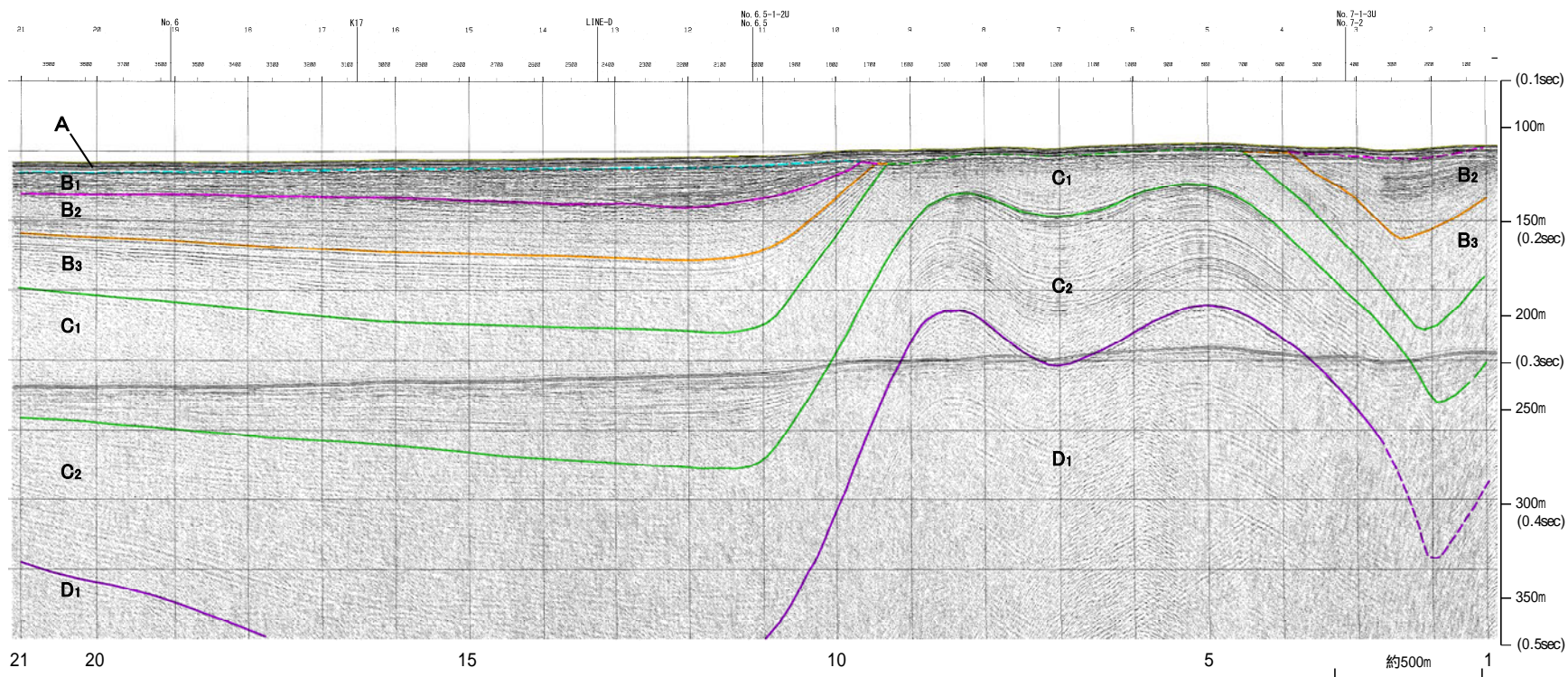


北陸電カブーマー No.105-1U

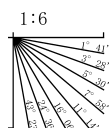
←N

S→

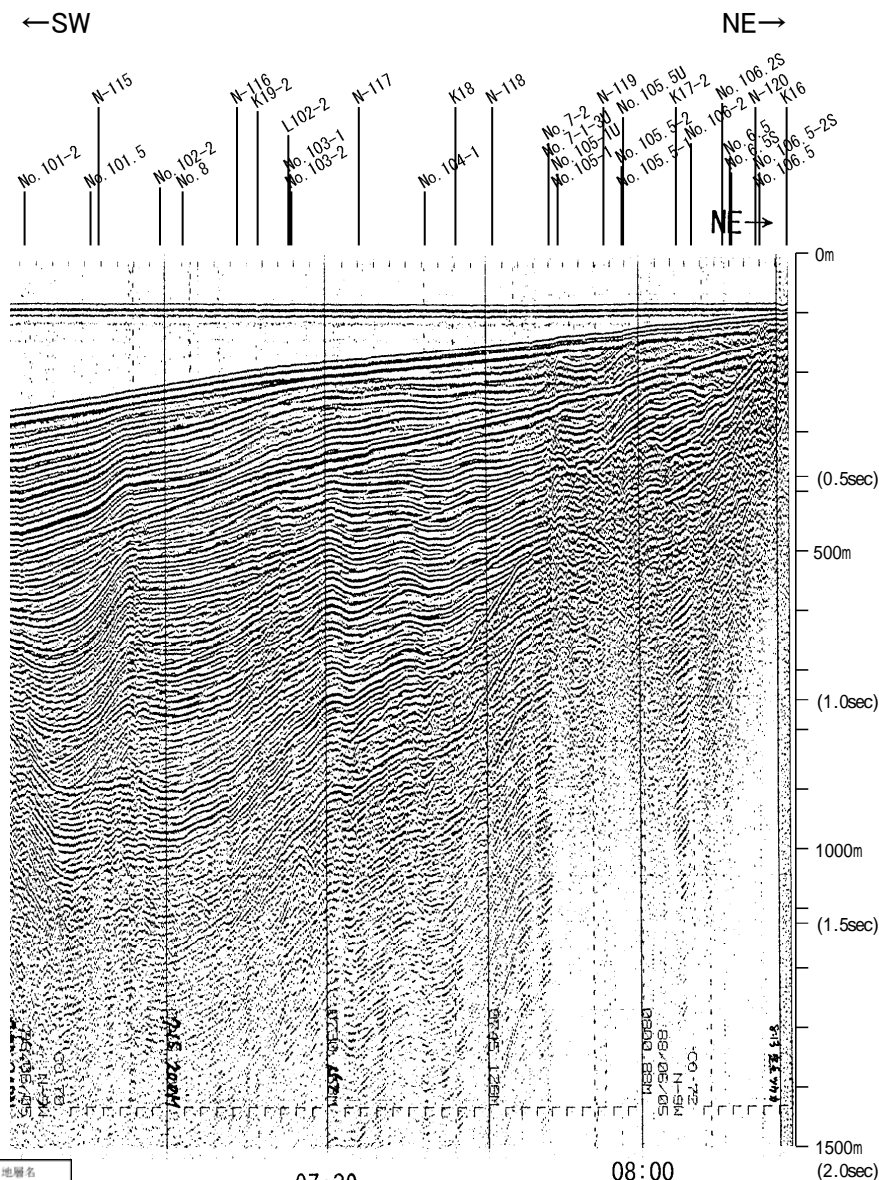
海士岬沖断層帯



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	全新世	C層	
第三紀	新第三紀	D ₁ 層	
	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀	D ₄ 層		

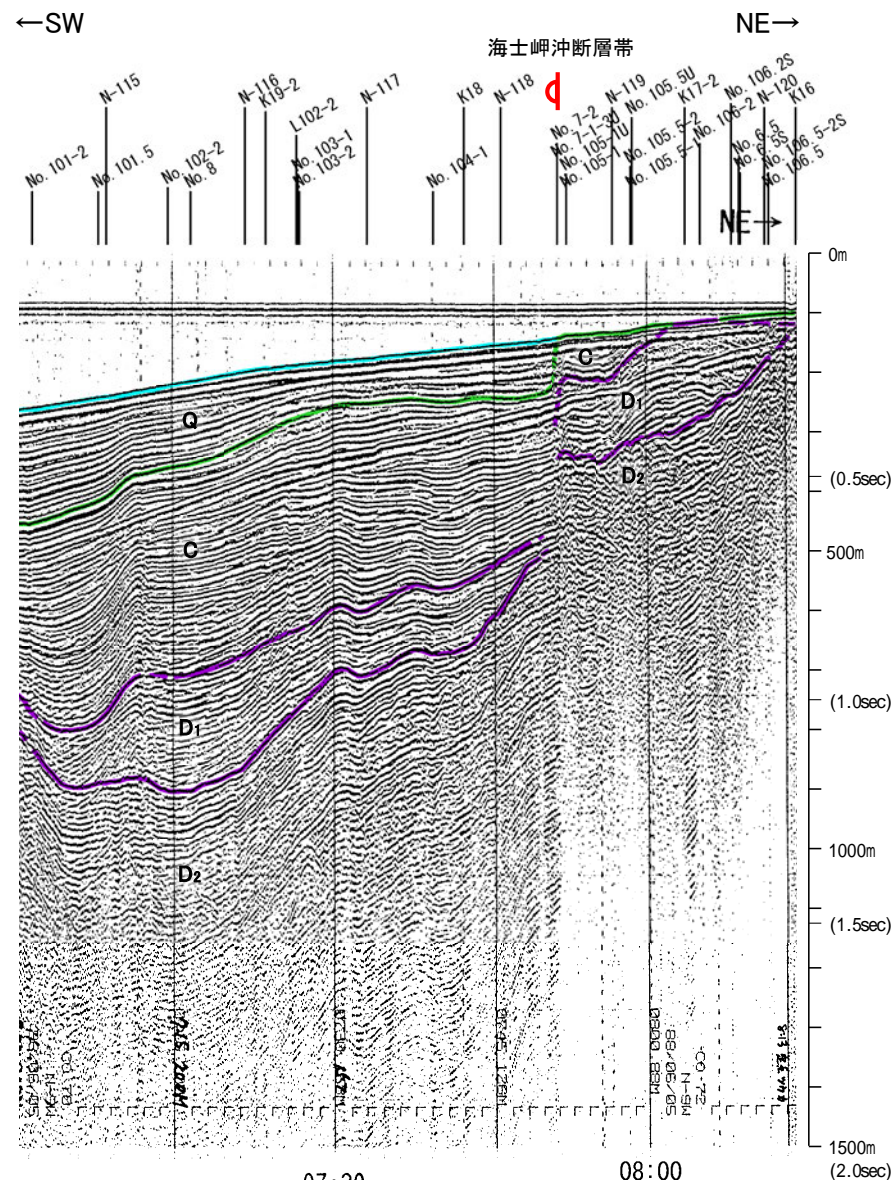


地質調査所エアガン N-9W



07:30
6/5

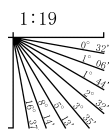
08:00
約5km
(2.0sec)



07:30
6/5

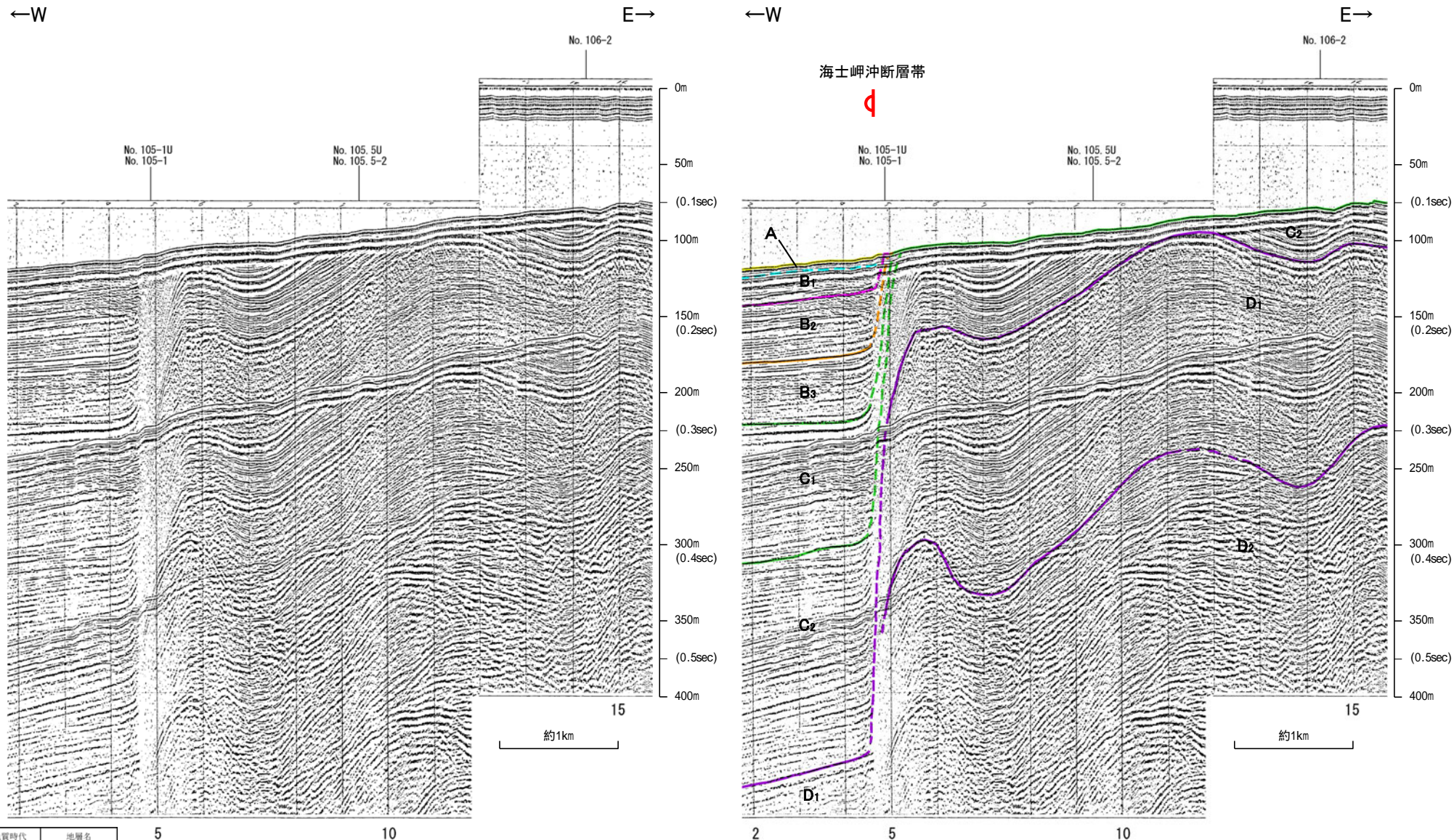
08:00
約5km
(2.0sec)

地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

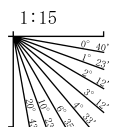


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

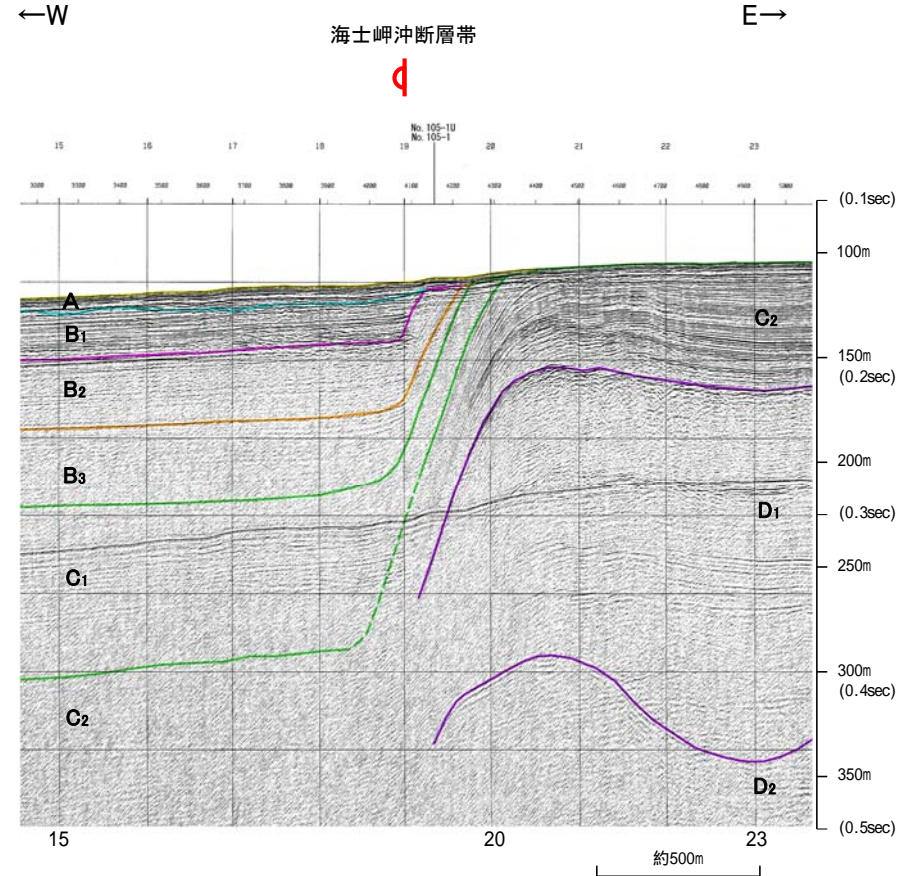
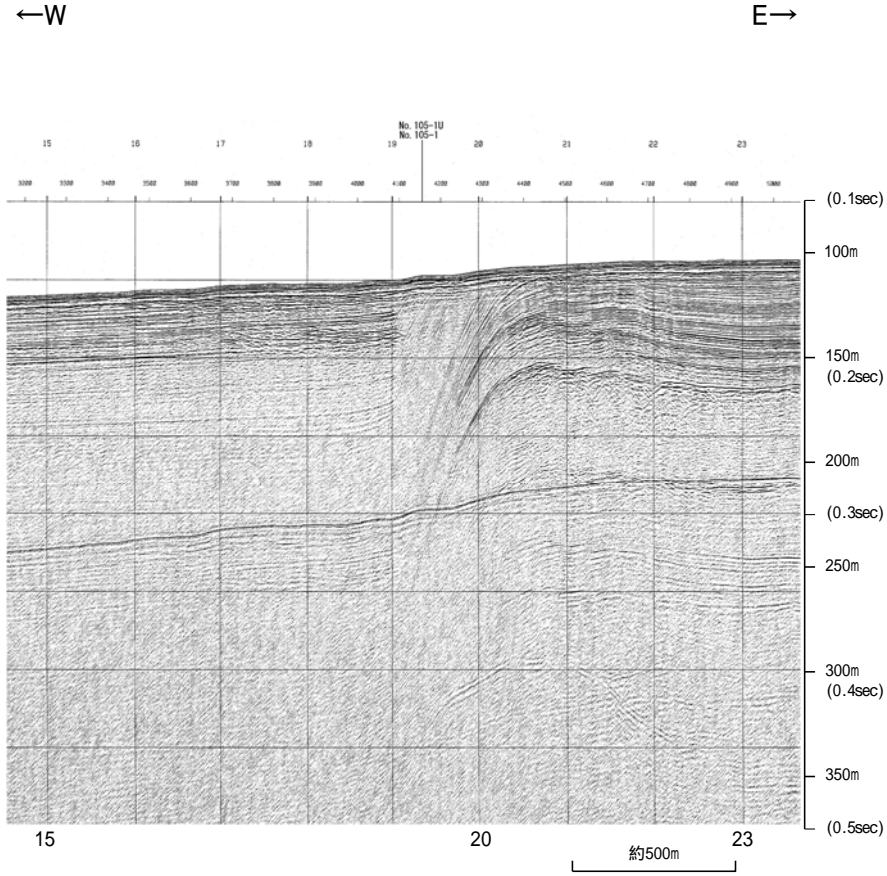
北陸電カスパーカー No.7-2



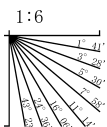
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
			B ₂ 層
	前期	C層	
第三紀	新第三紀	C ₂ 層	
	中新世	D ₁ 層	
		D層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀	D ₂ 層		



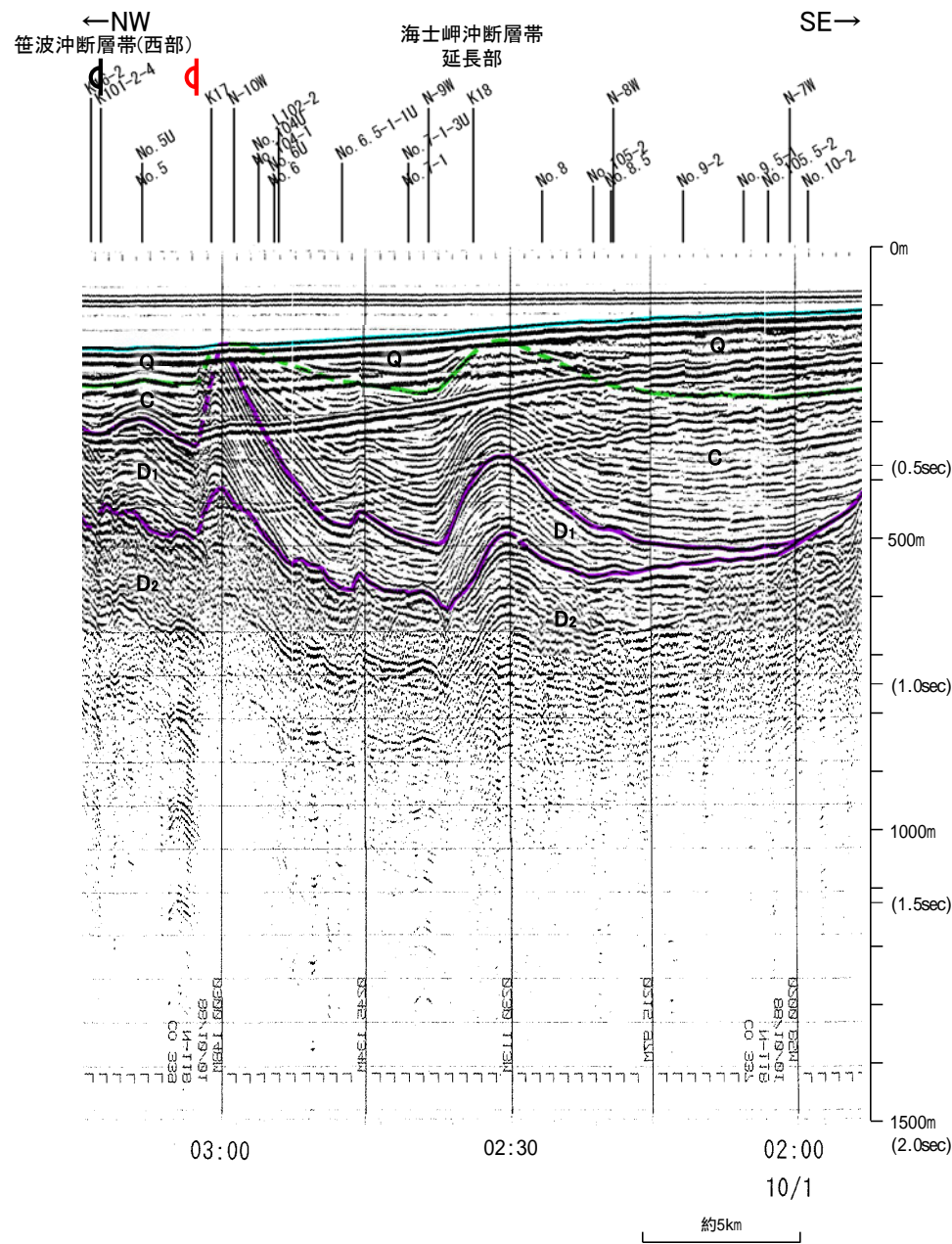
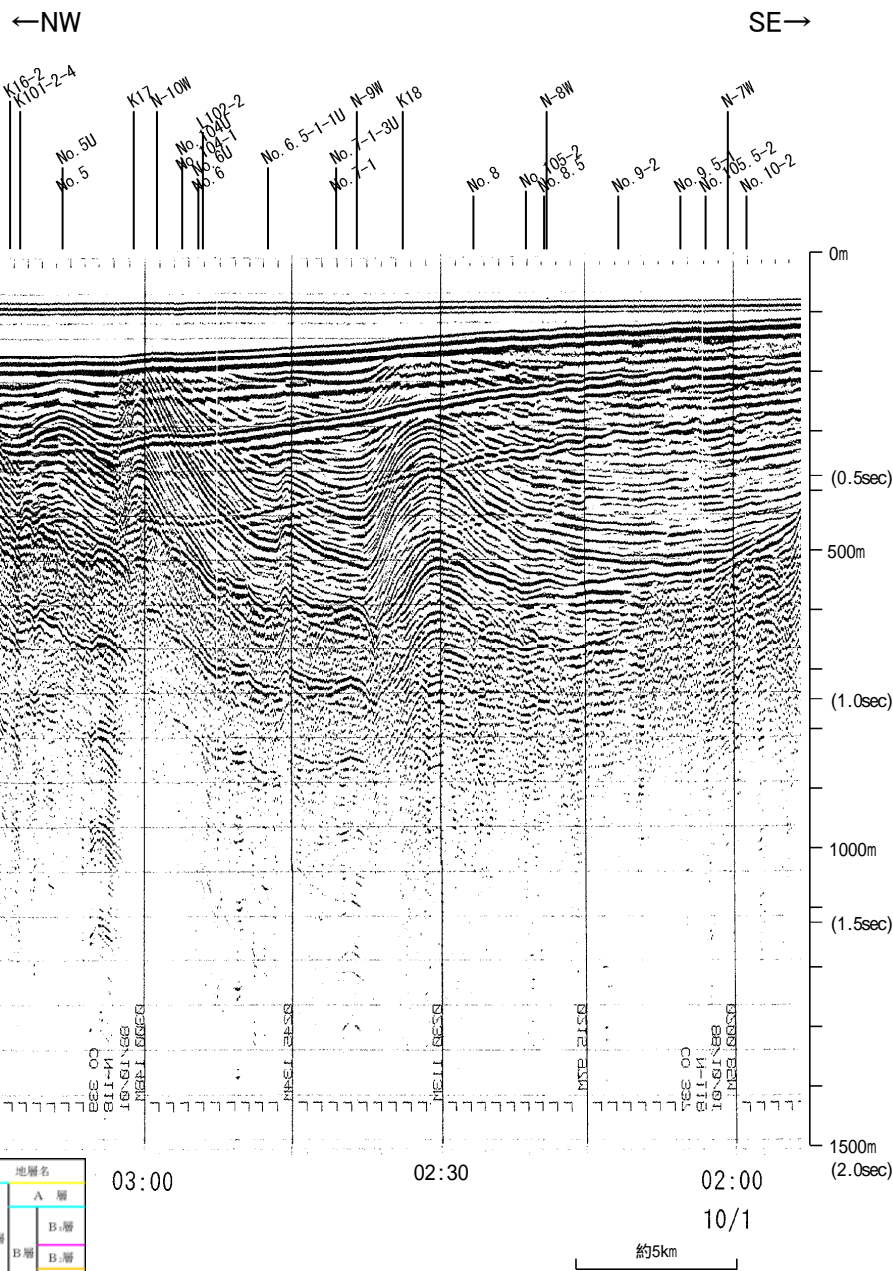
北陸電カブーマー No.7-1-3U



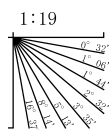
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	全新世	B層
		B ₁ 層
		B ₂ 層
	前期	C層
新第三紀	D層	
古第三紀	先第三紀	D ₁ 層
		D ₂ 層



地質調査所エアガン N-118



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
	中期	B層	
新第三紀	前期	C層	
	中新世	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

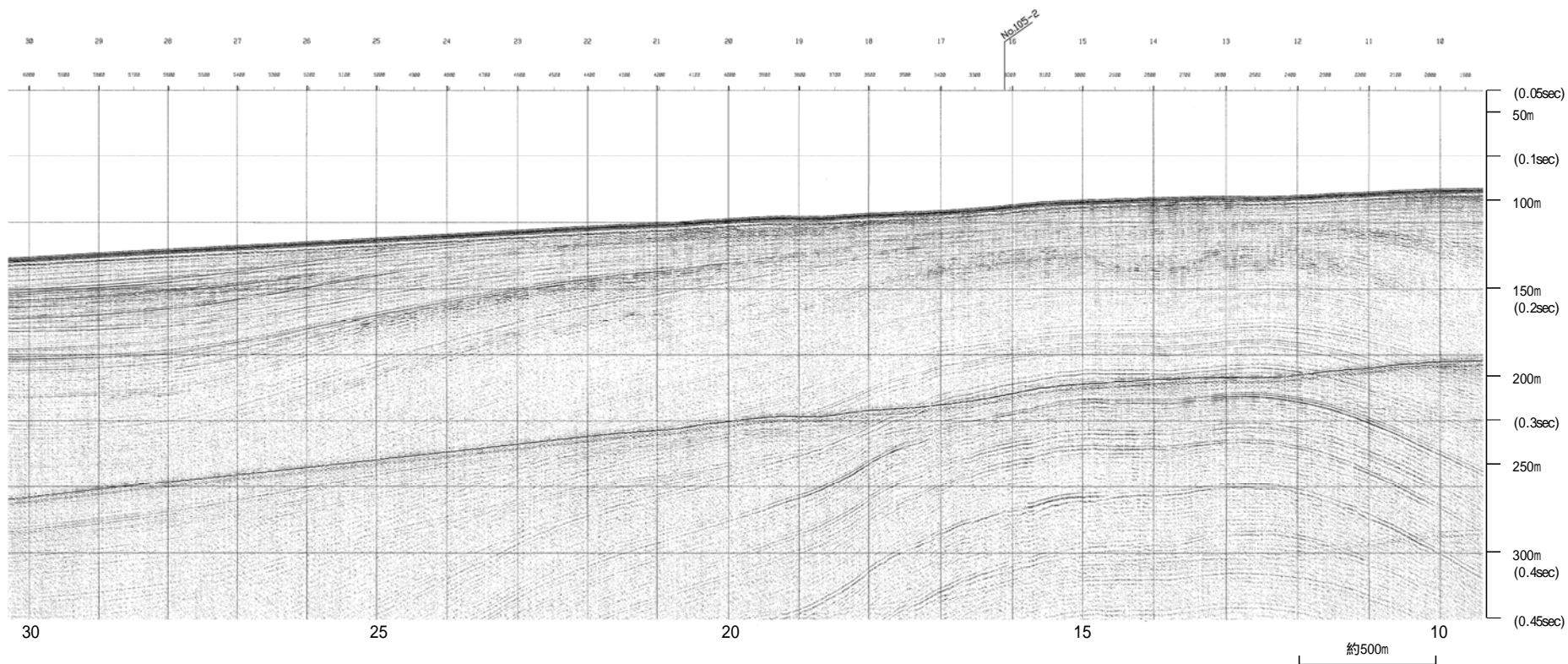


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

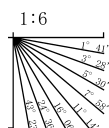
地震研ブーマー K18

←NW

SE→



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B層
		中期	B層
		前期	C層
	新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
	先第三紀	D層	

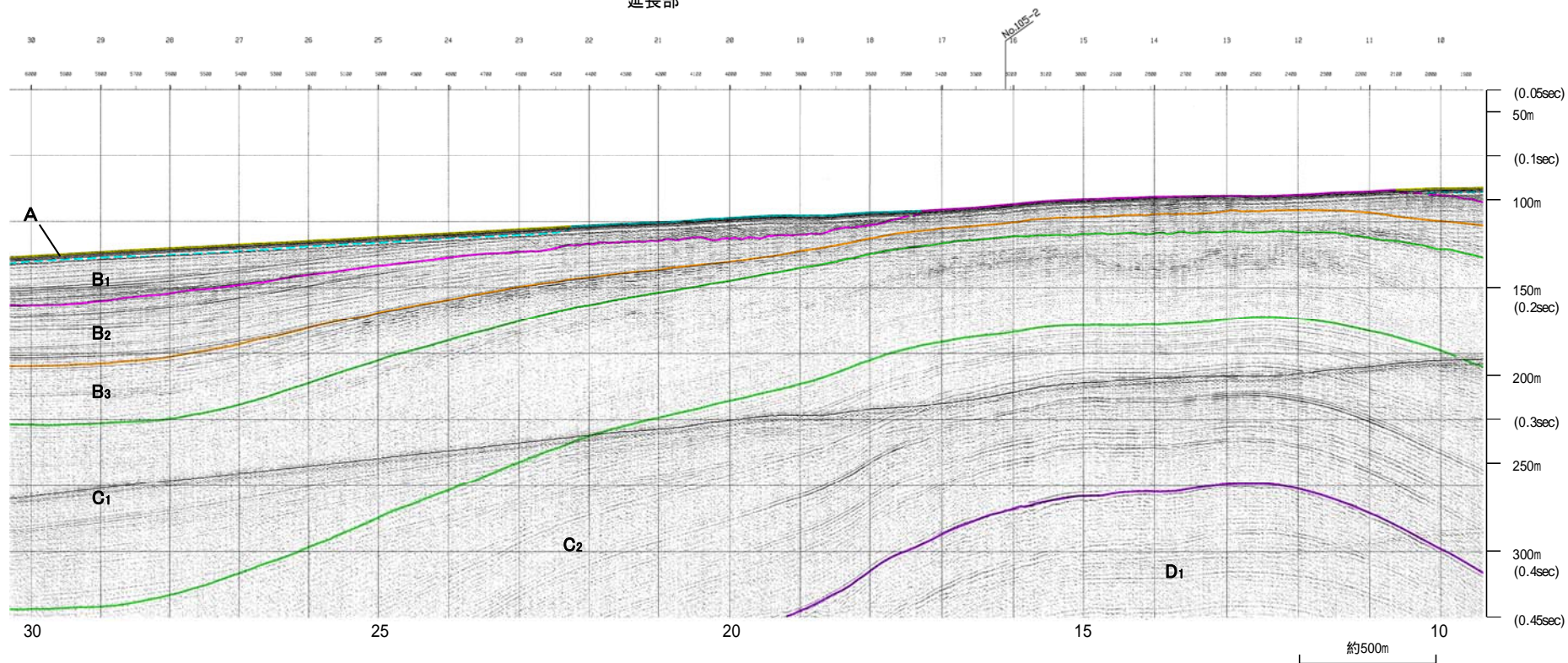


地震研ブーマー K18

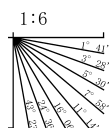
←NW

SE→

海士岬沖断層帯
延長部



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
		D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀	D ₃ 層		

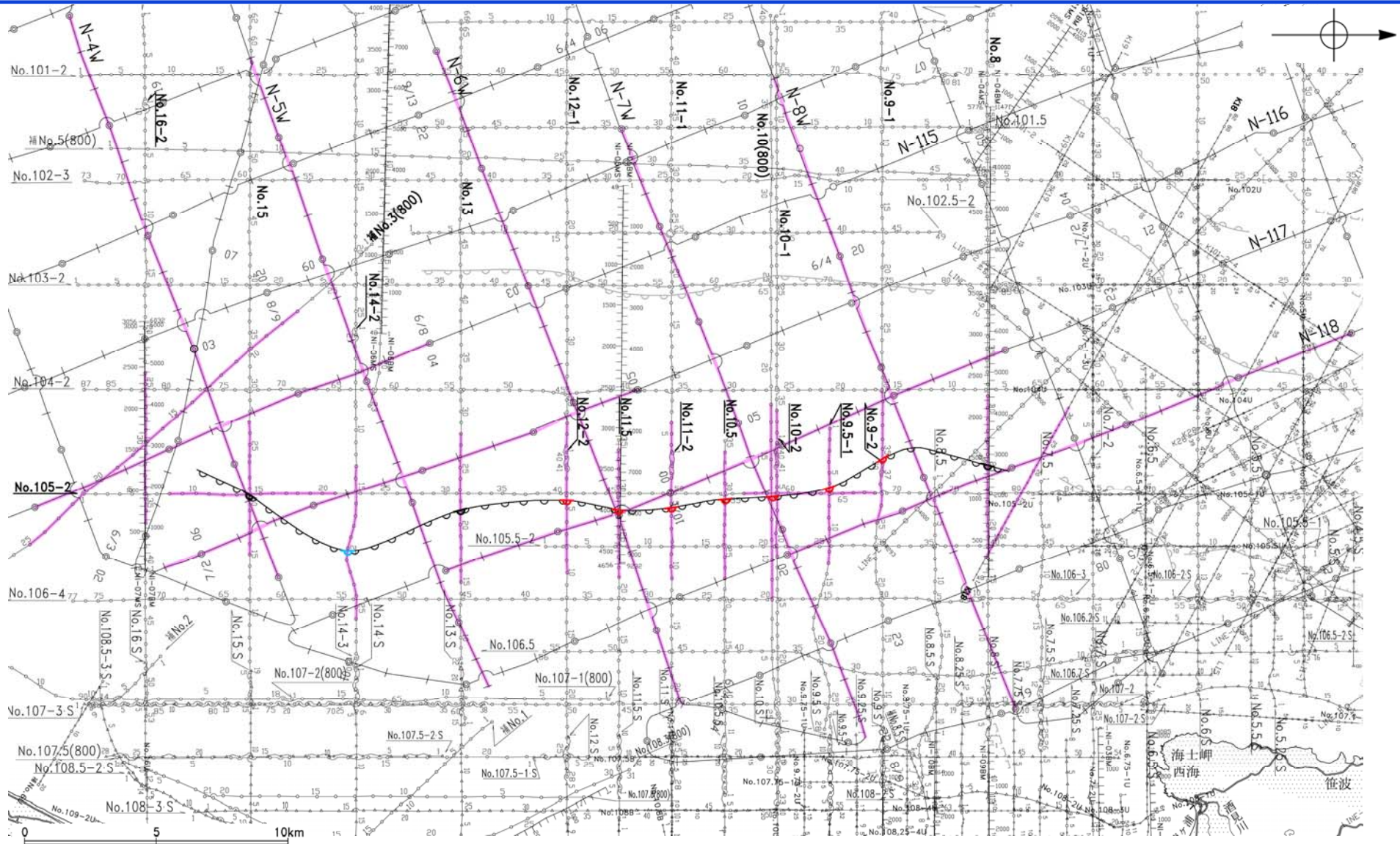


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

余白

羽咋沖東撓曲

音波探査記録 添付測線(羽咋沖東撓曲)



凡 例

- ┌(3) 断 層 (伏在断層)
- ┌ 断 層
- ┌ 伏在断層 } 連続性のない断層
- └ 撓 曲

(測線位置における活動性)

- 赤 B層以上に変位、変形が認められる
- 黒 B層以上に変位、変形の可能性が否定できない
- 青 B層以上に変位、変形が認められない

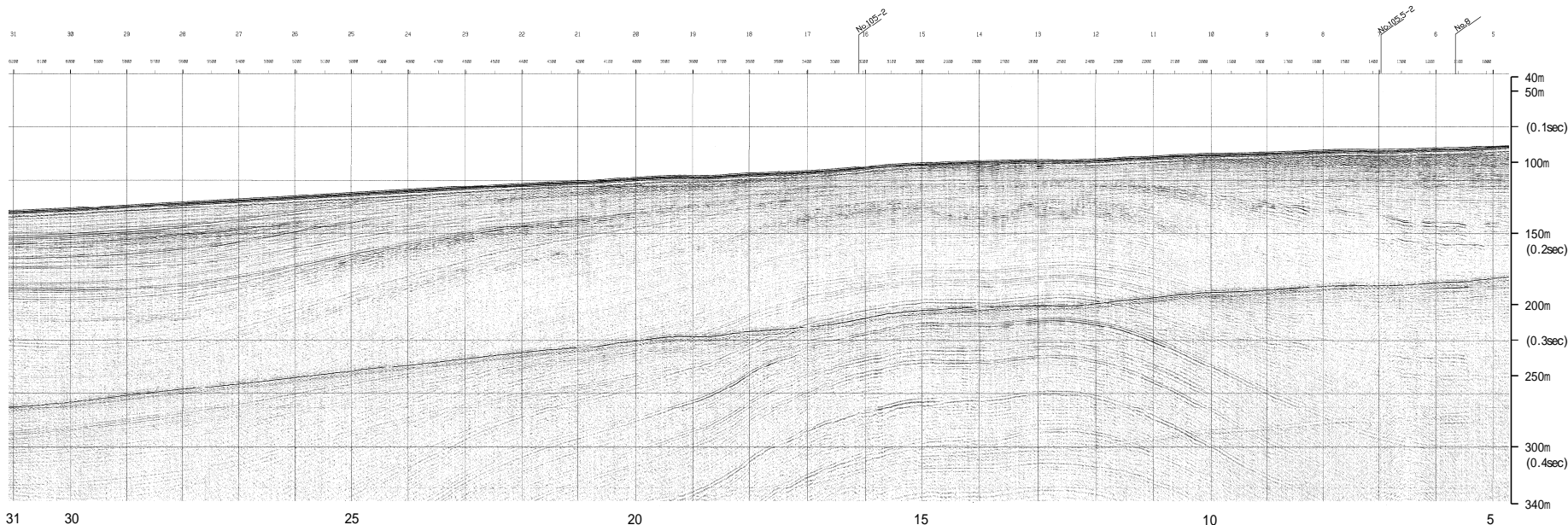
- | | | | | | |
|----------|-----|--|---------|-----|-----------------------------------|
| No. 8 | ○—○ | 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約2450ジュール) | K17 | ○—○ | 調査測線 (東京大学地震研究所: プーマー・マルチチャンネル) |
| No. 9-S | ○—○ | 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約360ジュール) | L5 | ○—○ | 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル) |
| No. 8-U | ○—○ | 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール) | N1-068M | ┌—┐ | 調査測線 (原子力安全保安院: プーマー・マルチチャンネル) |
| No. 11-B | ○—○ | 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール) | N1-068S | ┌—┐ | 調査測線 (原子力安全保安院: ウォーターガン・マルチチャンネル) |
| LINE-A | ○—○ | 調査測線 (東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル) | N-118 | ○—○ | 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル) |

添付した音波探査記録

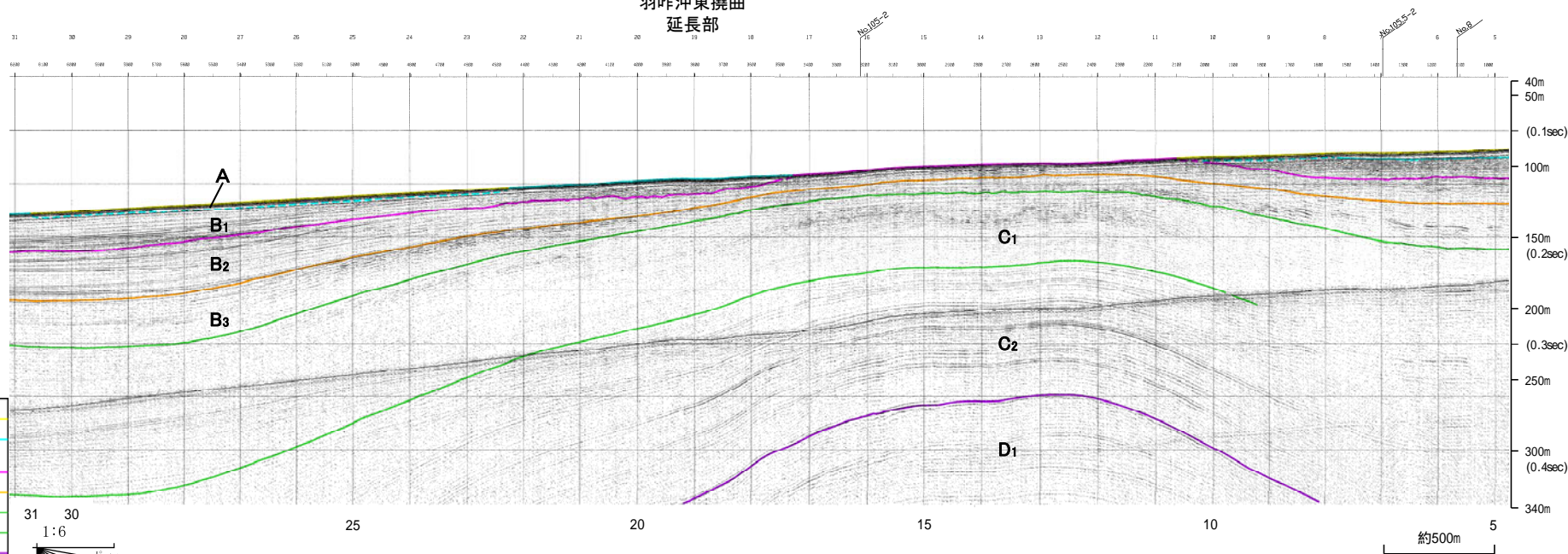
地震研ブーマー K18

←NW

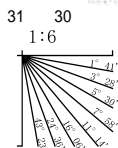
SE→



羽咋沖東撓曲
延長部

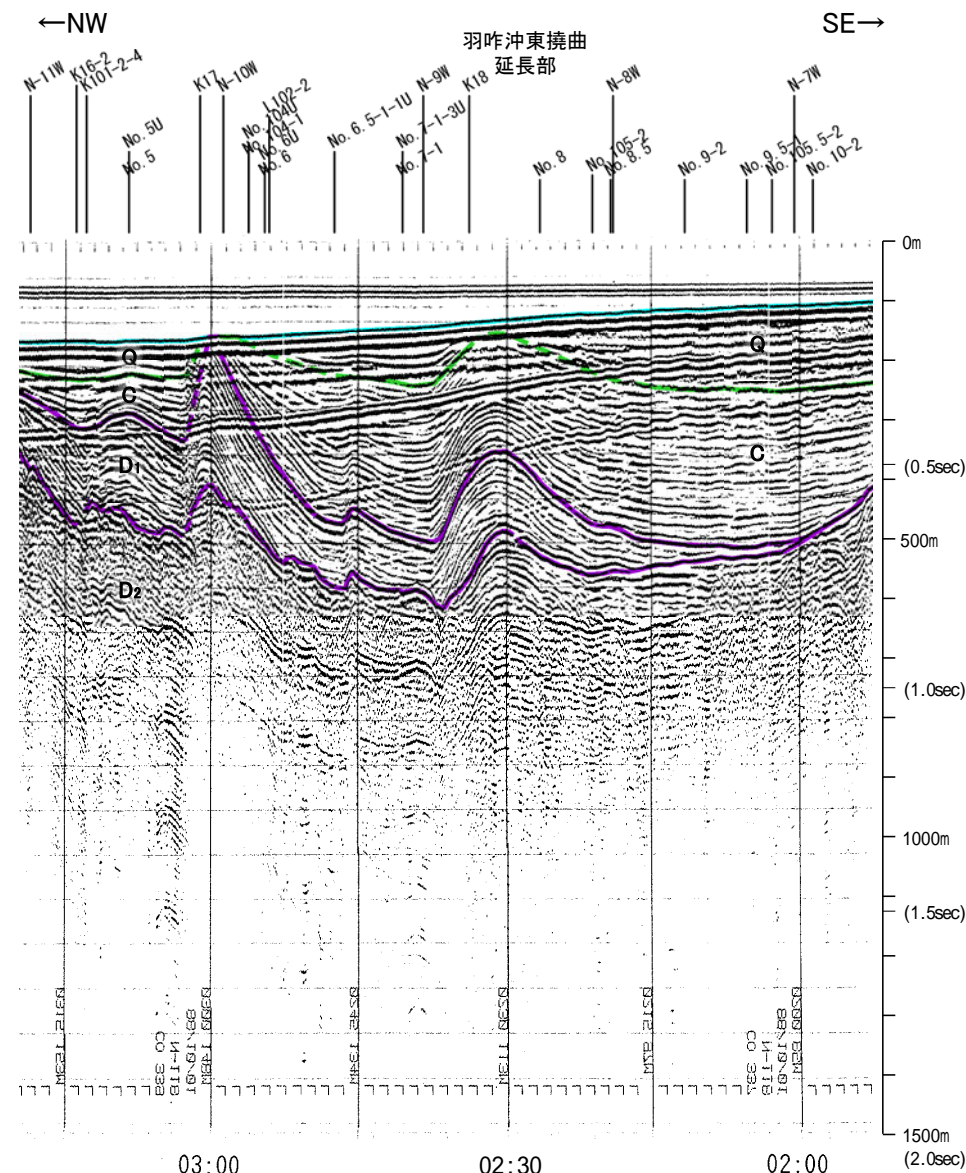
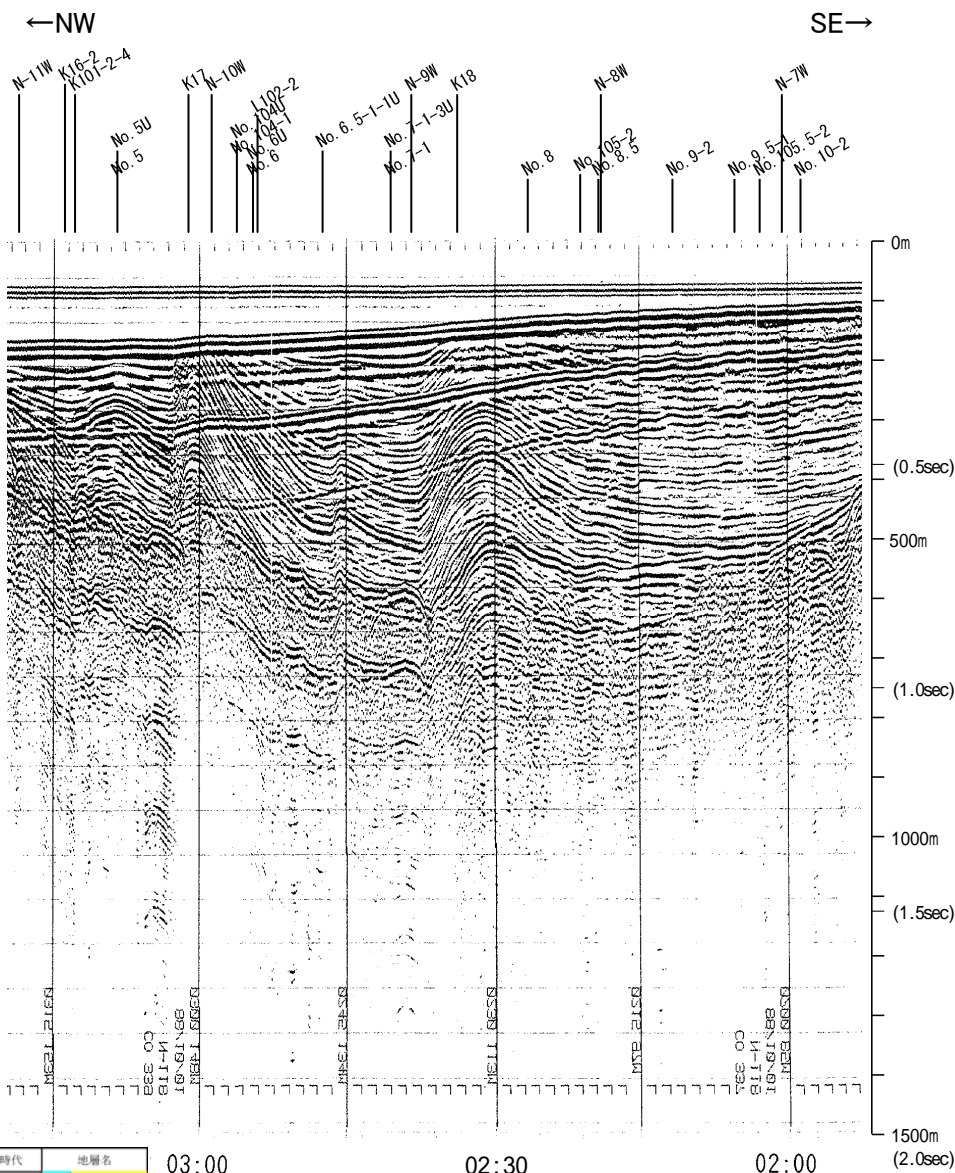


地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	全新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
		先第三紀	D ₃ 層

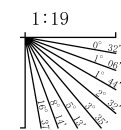


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-118

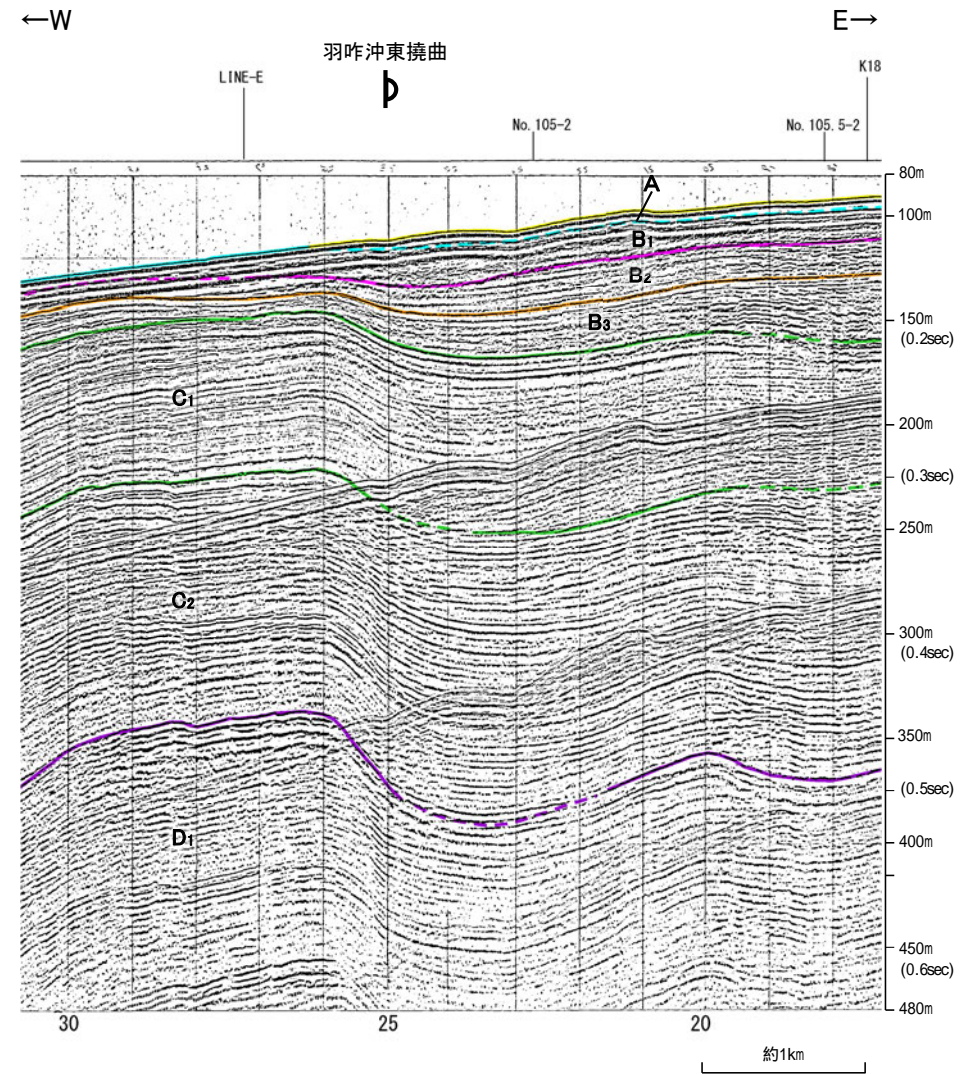
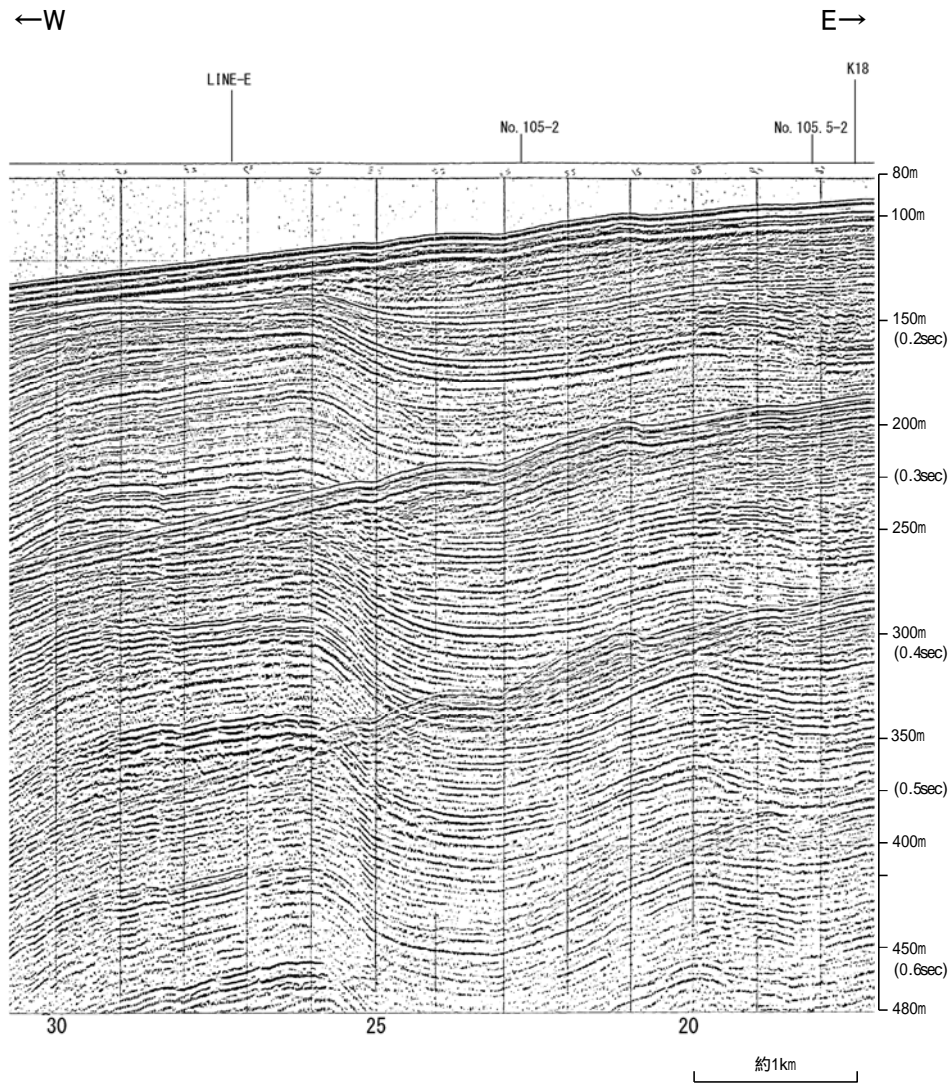


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

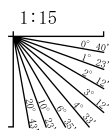


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

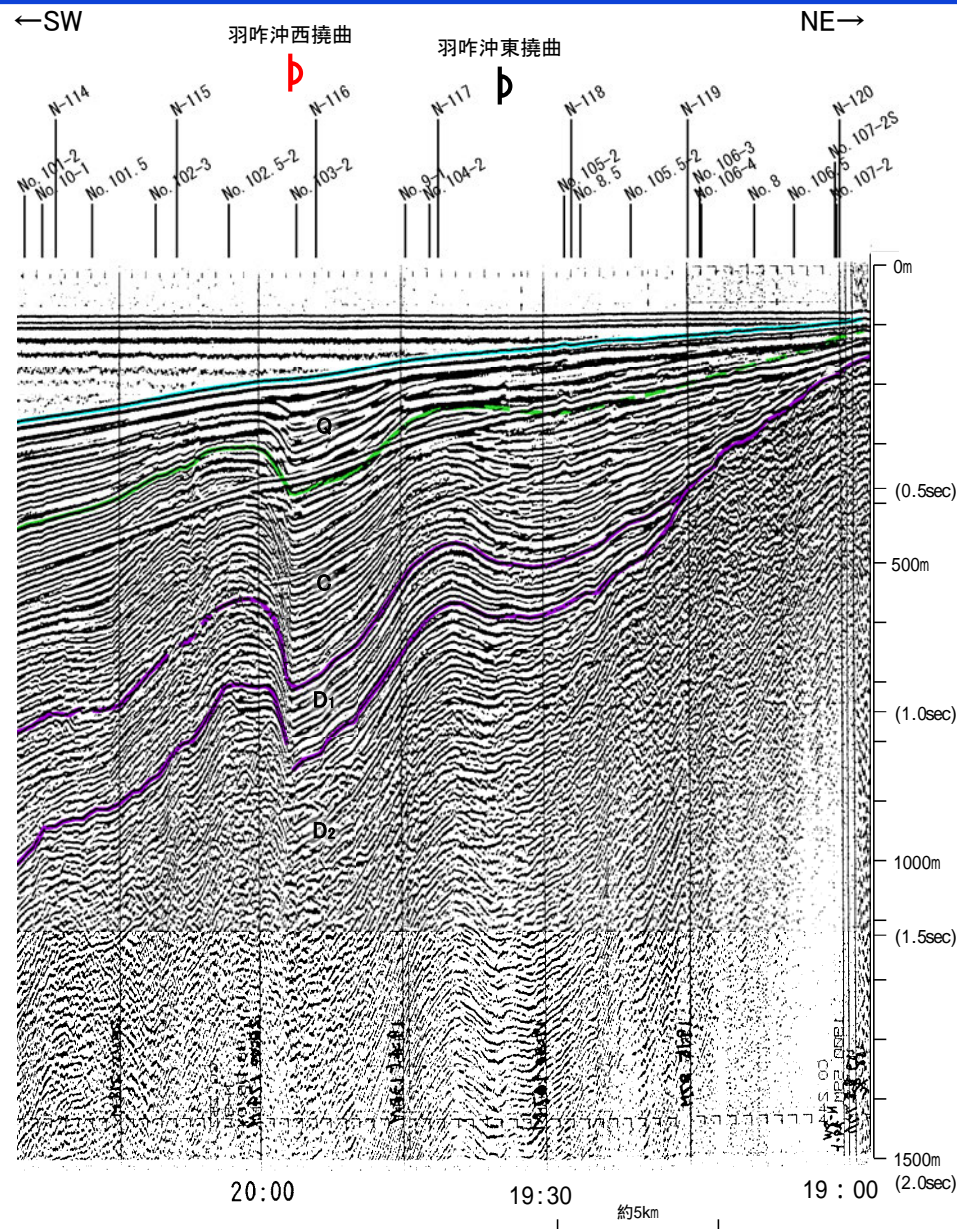
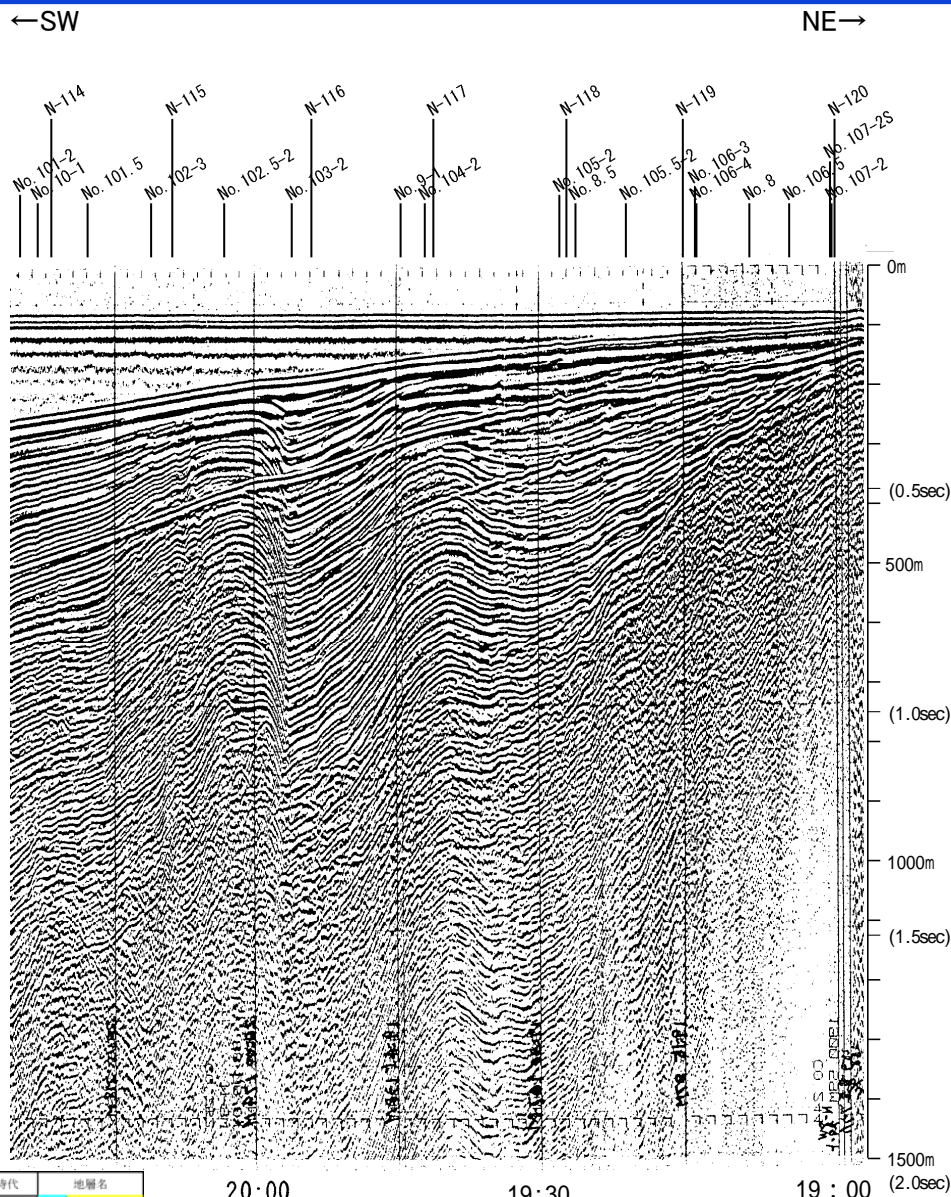
北陸電カスパーカー No.8



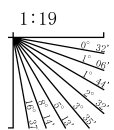
地質時代	地層名
第四紀	完新世 A層
	後期 B層
	中期 B層
	前期 C層
	前期 C層
第三紀	中新世 D層
	中新世 D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層



地質調査所エアガン N-8W

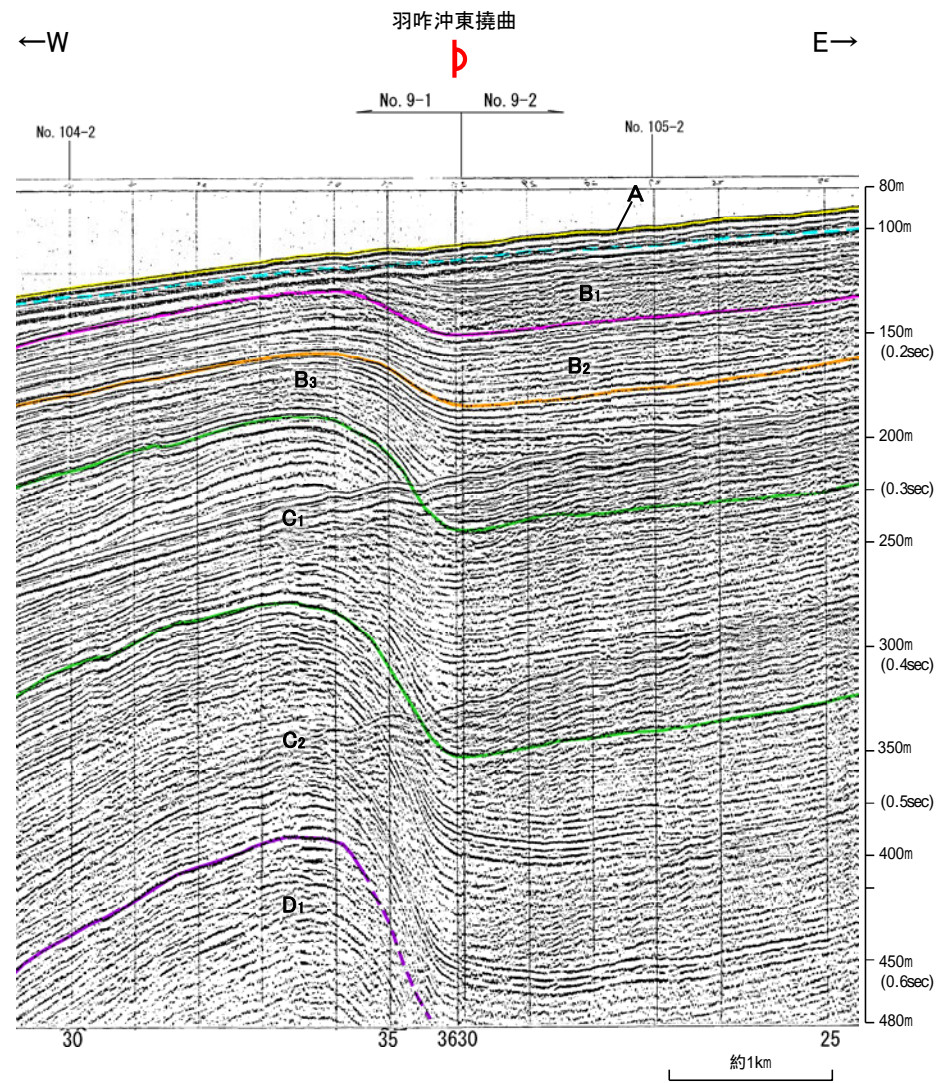
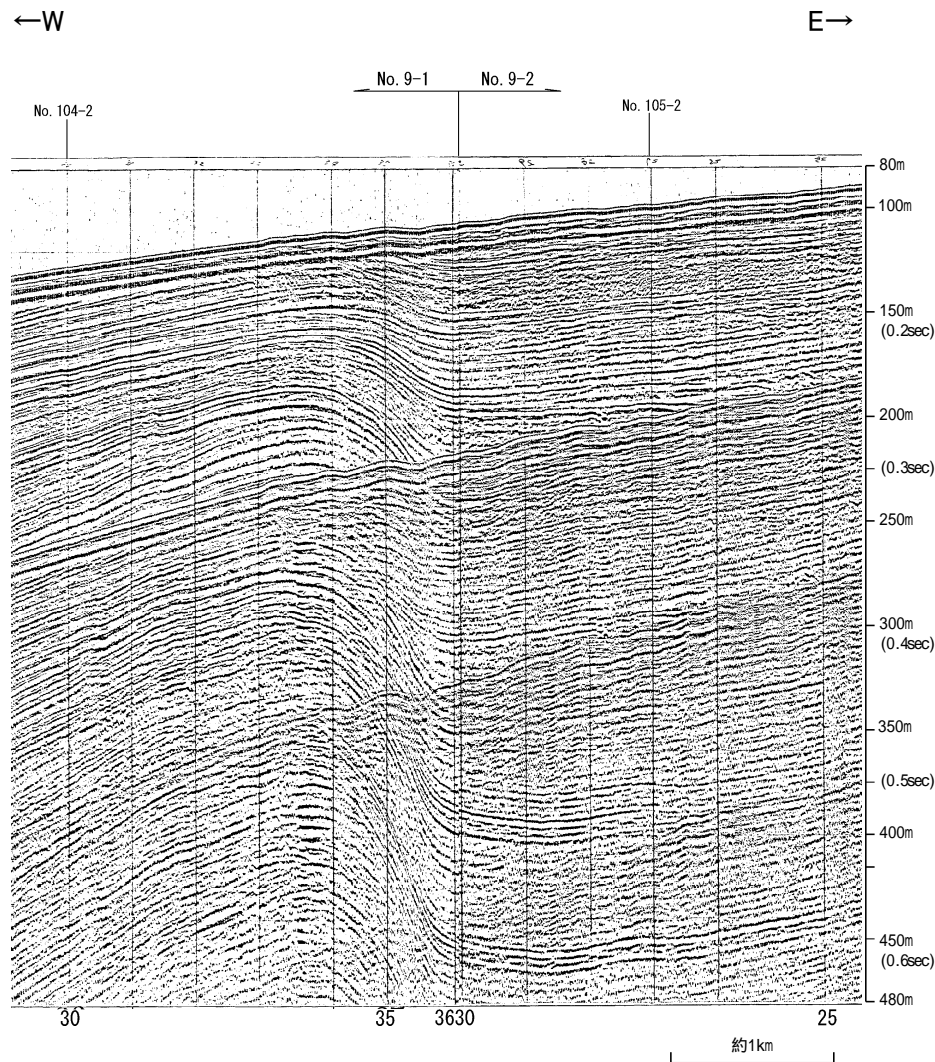


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

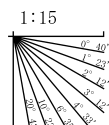


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

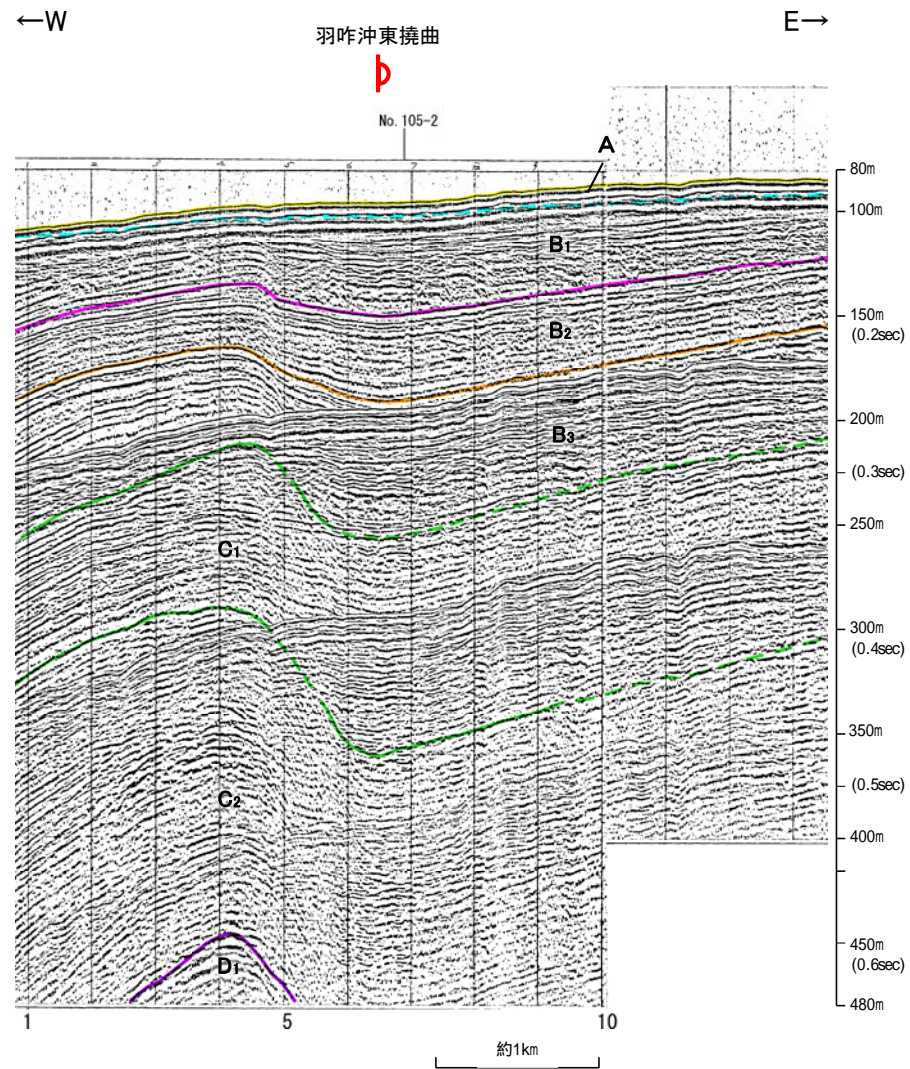
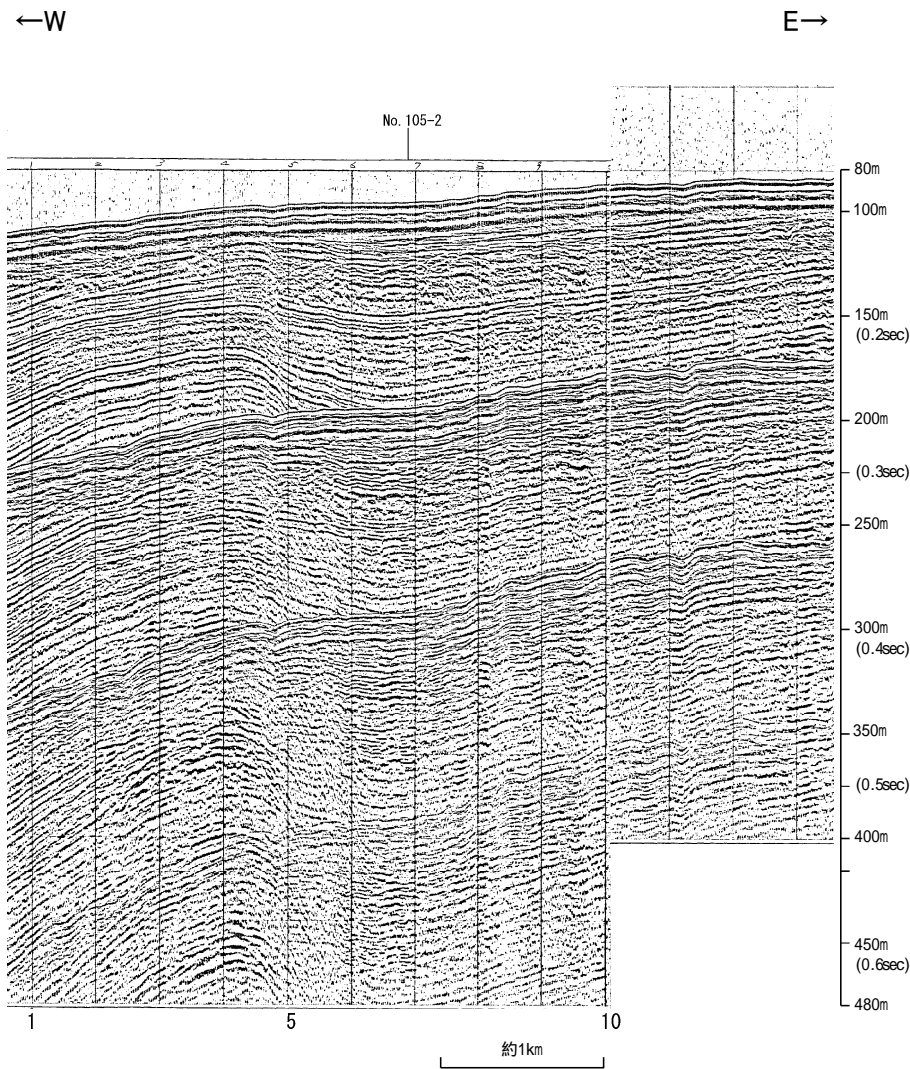
北陸電カスパーカー No.9-1, No.9-2



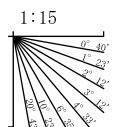
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層 B ₃ 層
	前期	C ₁ 層 C ₂ 層
第三紀	新第三紀	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀		D ₃ 層



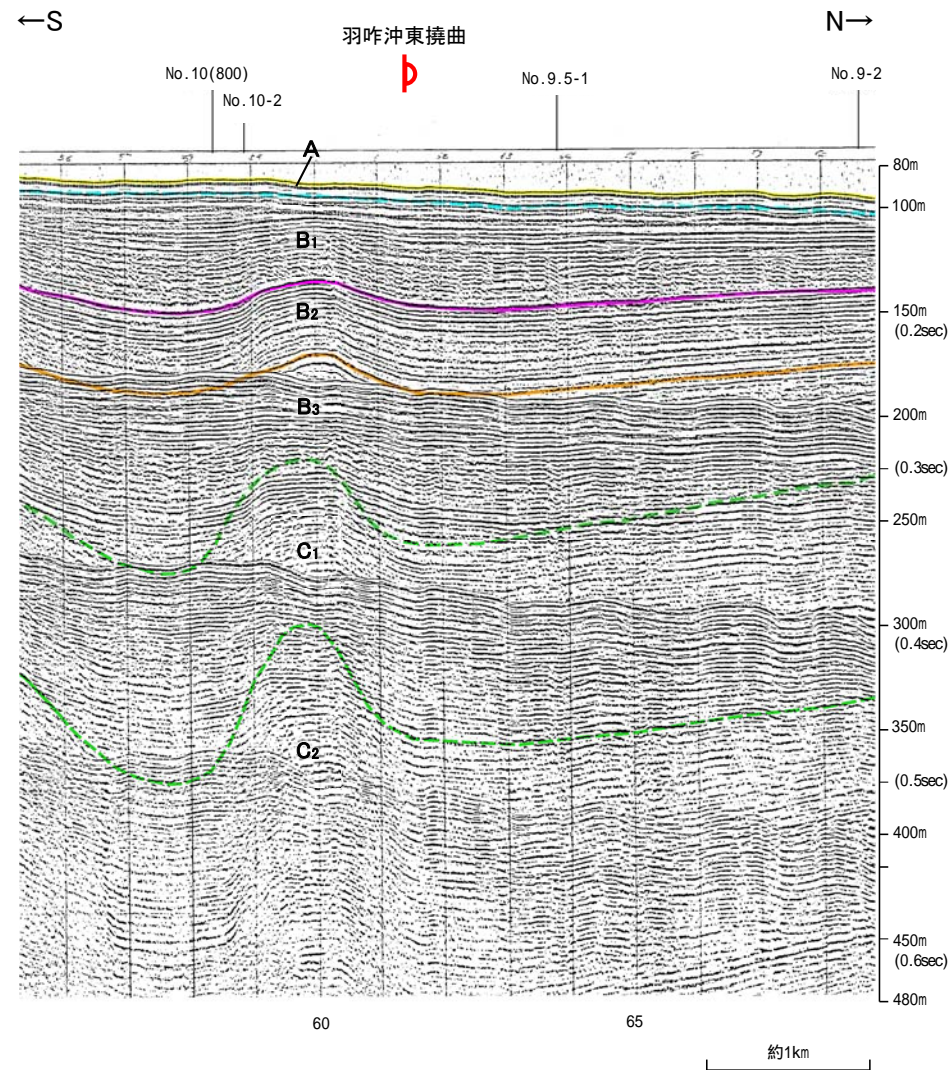
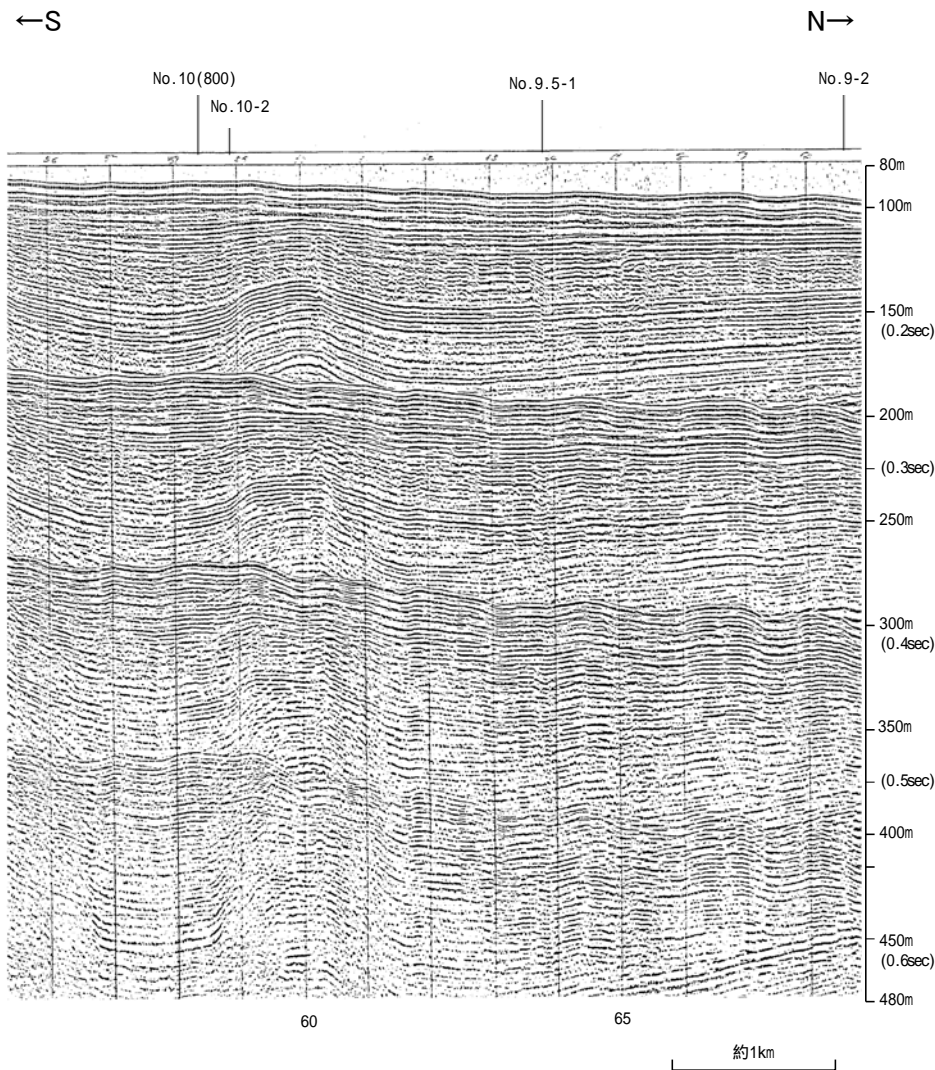
北陸電カスパーカー No.9.5-1



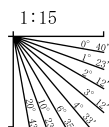
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	A層	
	全新世	B ₁ 層	
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
		古第三紀	D ₁ 層
	先第三紀	D ₂ 層	



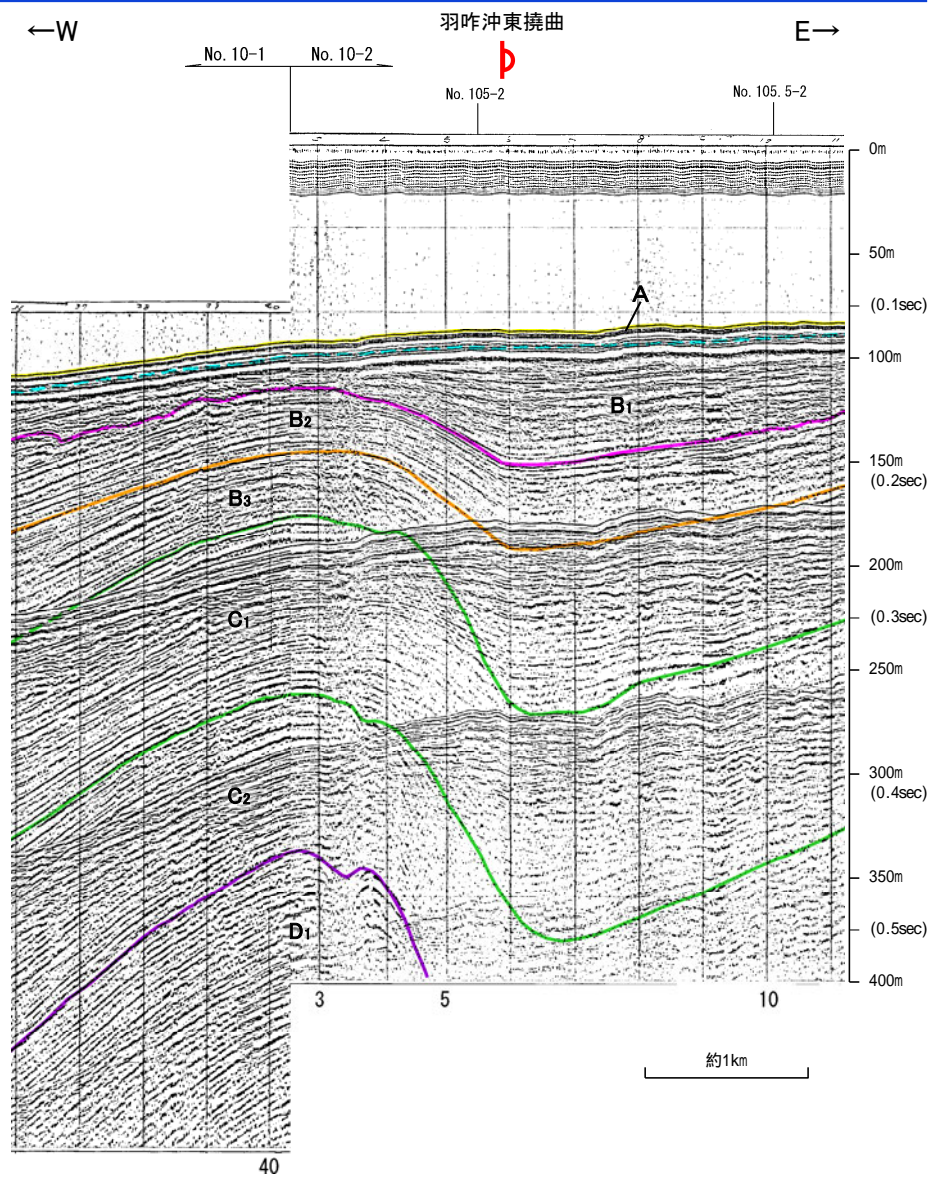
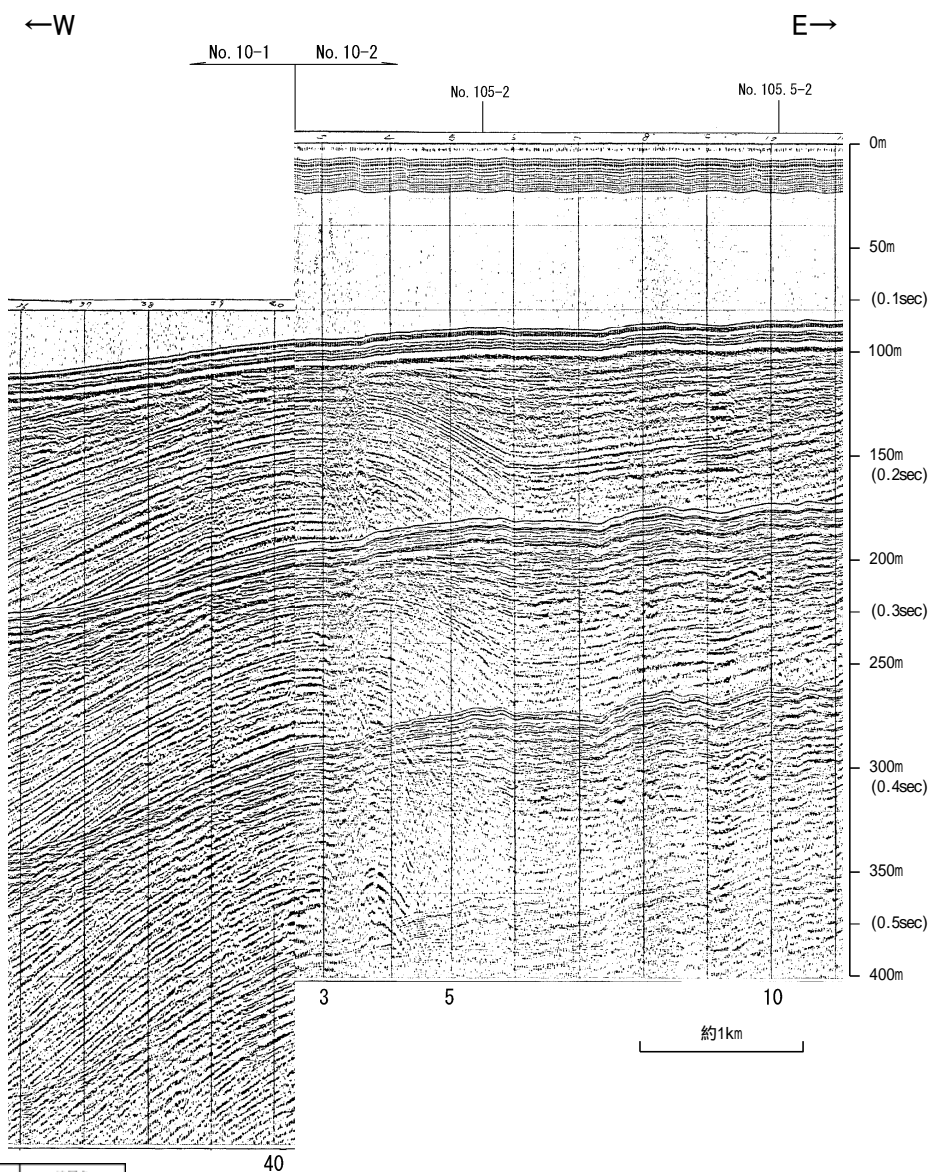
北陸電カスパーカー No.105-2



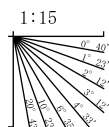
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	全新世	B ₁ 層
		B層
		B ₂ 層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	D層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



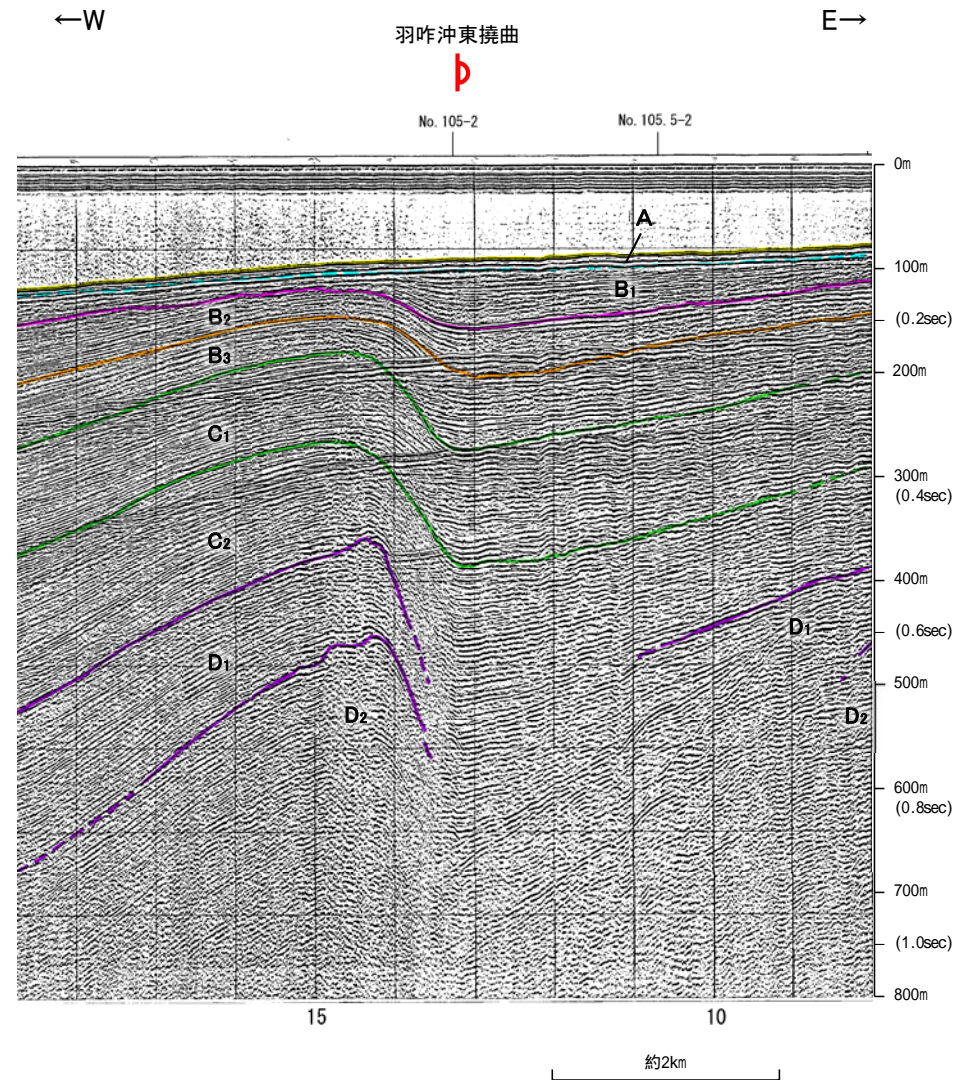
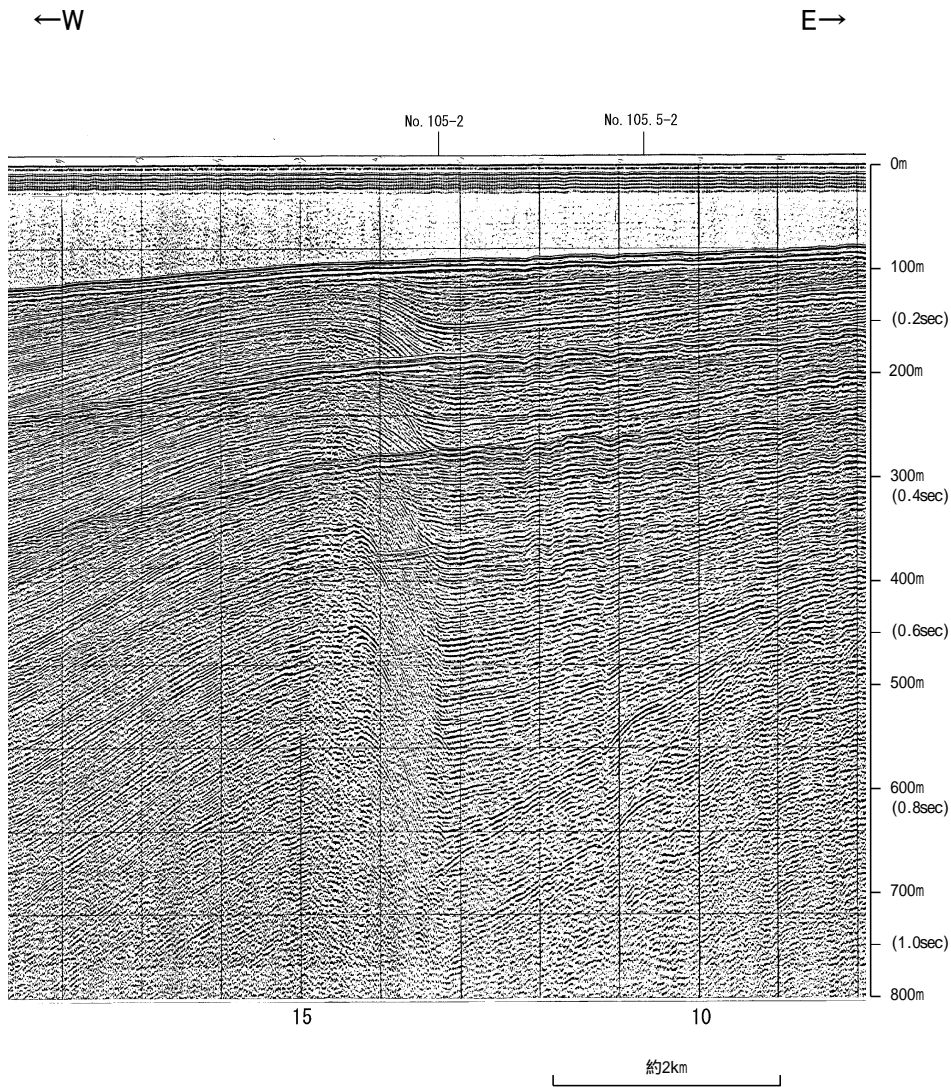
北陸電カスパーカー No.10-1, No.10-2



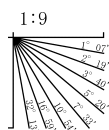
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B ₁ 層
		B ₂ 層
	前期	C ₁ 層
		C ₂ 層
第三紀	D層	



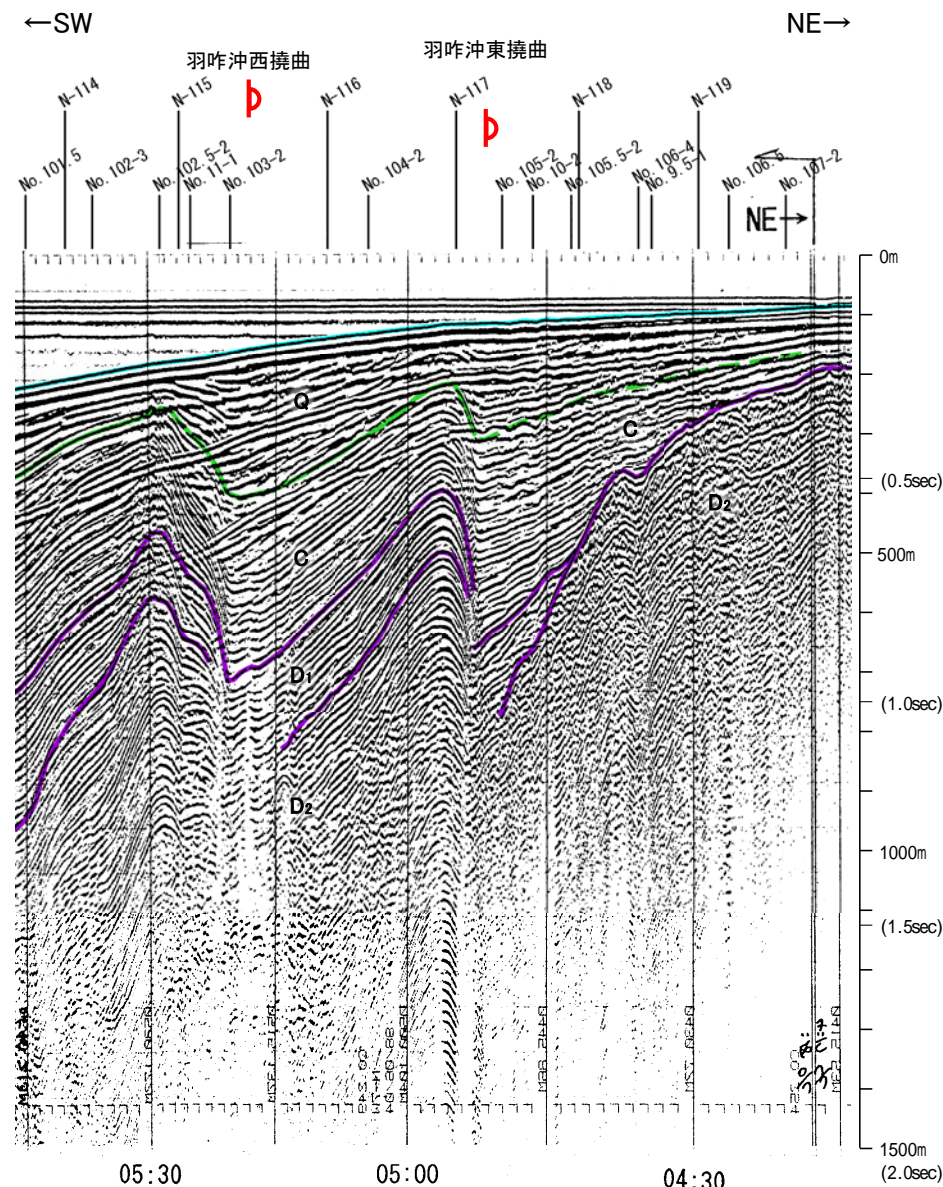
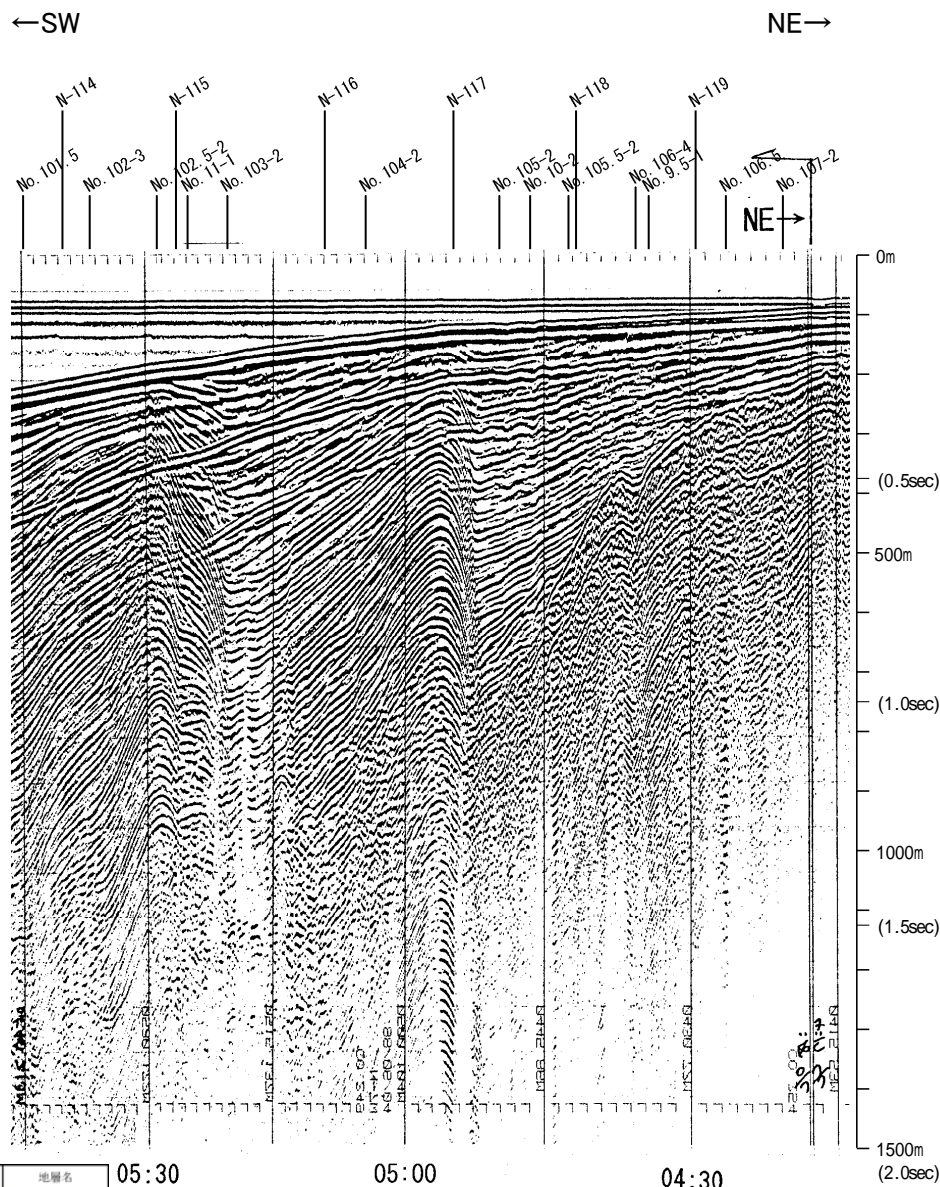
北陸電カスパーカー No.10(800)



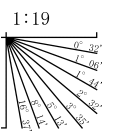
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B層
		B ₂ 層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	D ₁ 層
	中新世	D層
	古第三紀	D ₂ 層
	先第三紀	



地質調査所エアガン N-7W

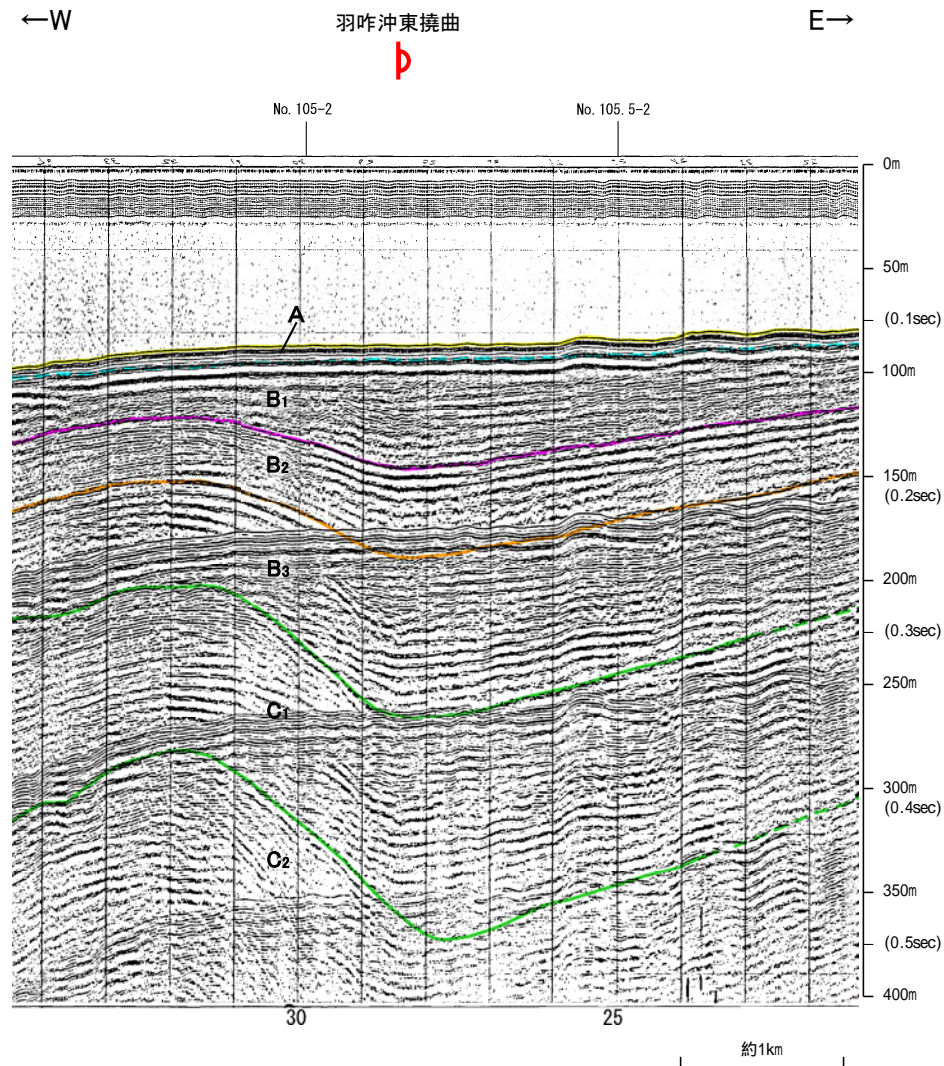
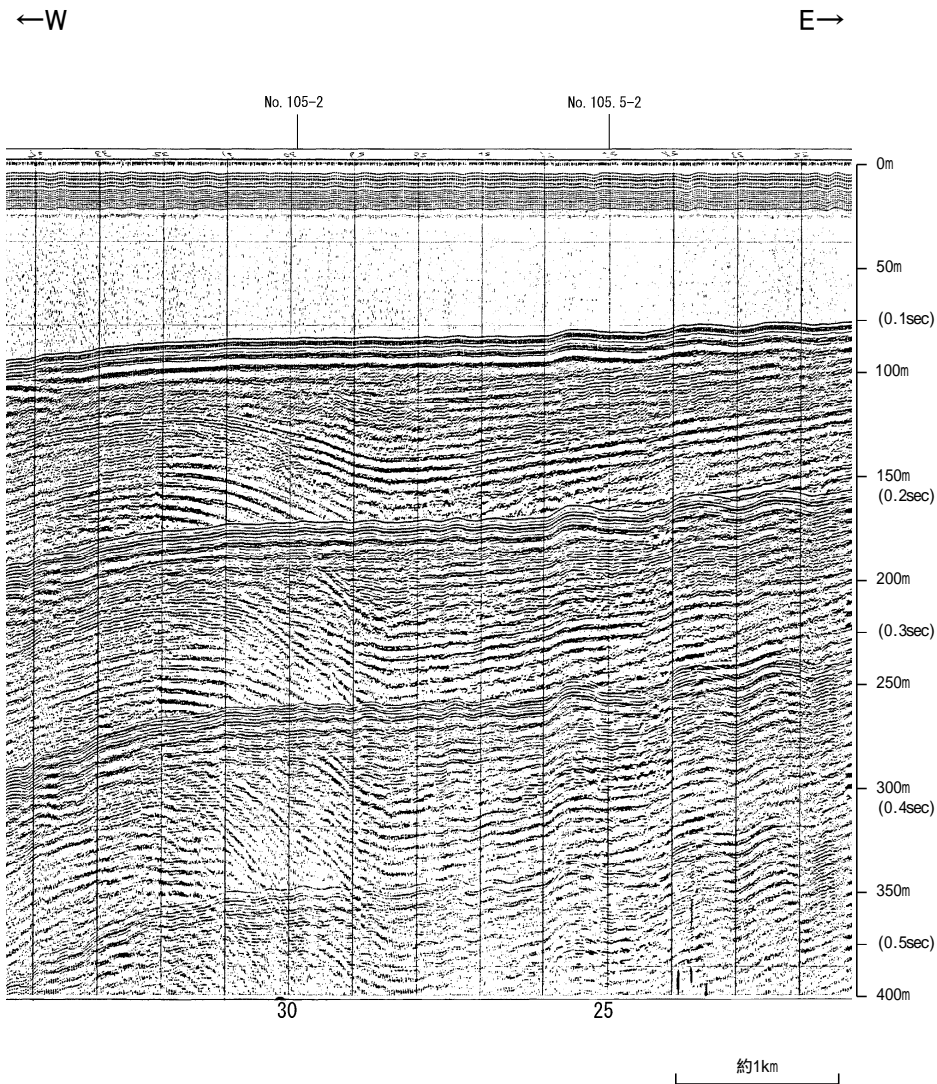


地質時代	地層名	
第 四 紀	更新世 後期	A層
	更新世 中期	Q層
		B層
		B層
更新世 前期	C層	
新 鮮 世	C層	
	D層	
	D層	
中新世	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

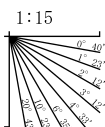


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

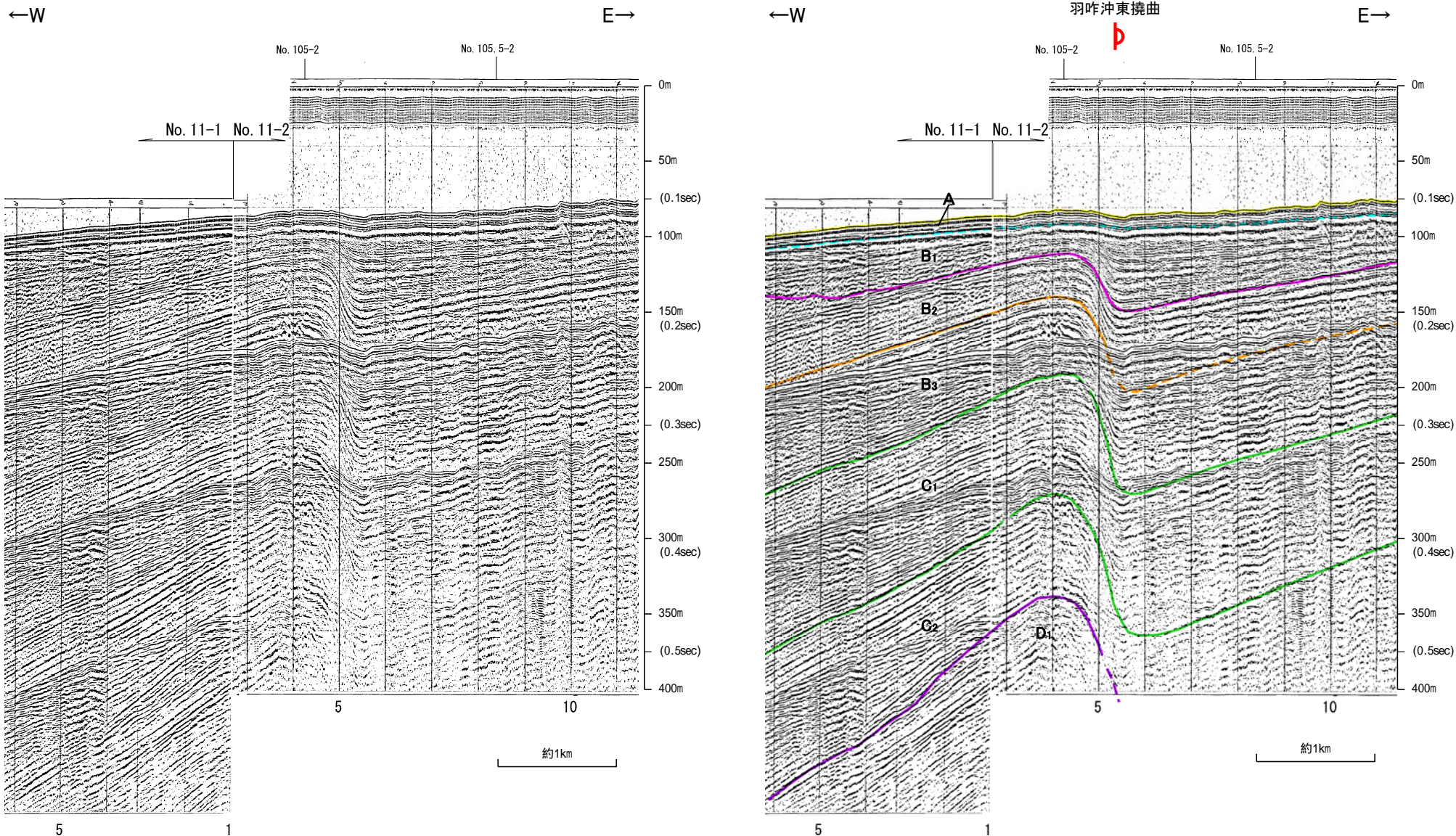
北陸電カスパーカー No.10.5



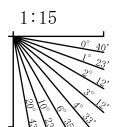
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
新第三紀	中新世	D ₁ 層
古第三紀		D ₂ 層
先第三紀		



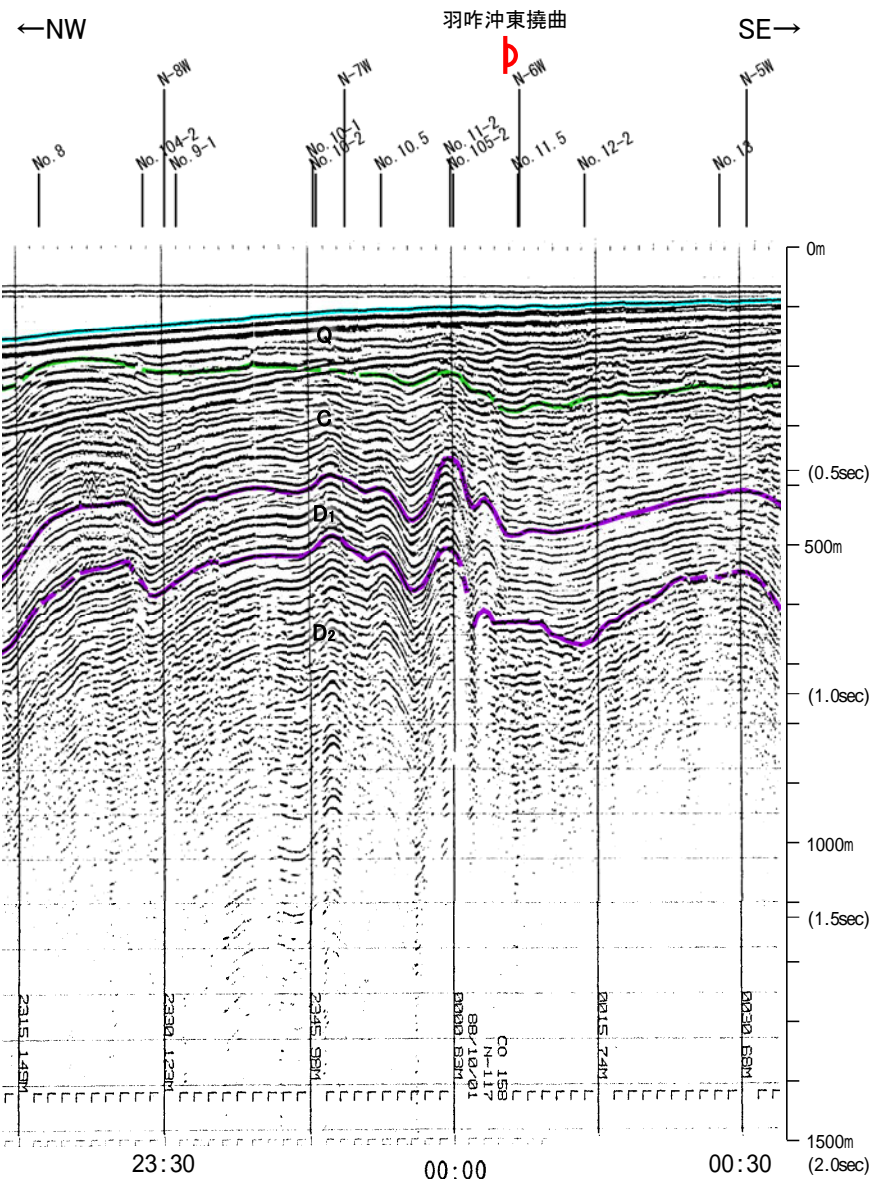
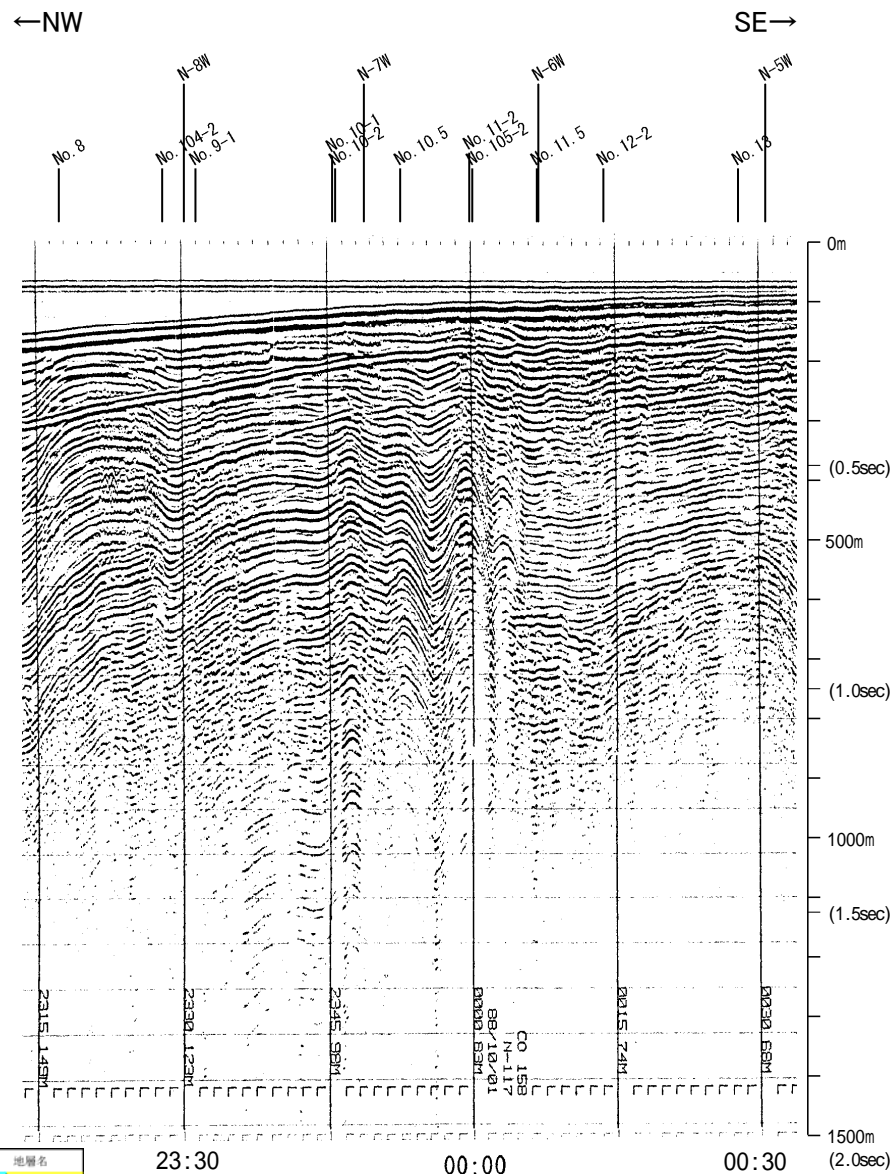
北陸電カスパーカー No.11-1, No.11-2



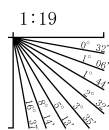
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
		C ₁ 層
前期	C ₂ 層	
新第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
	古第三紀	D ₃ 層
先第三紀		



地質調査所エアガン N-117

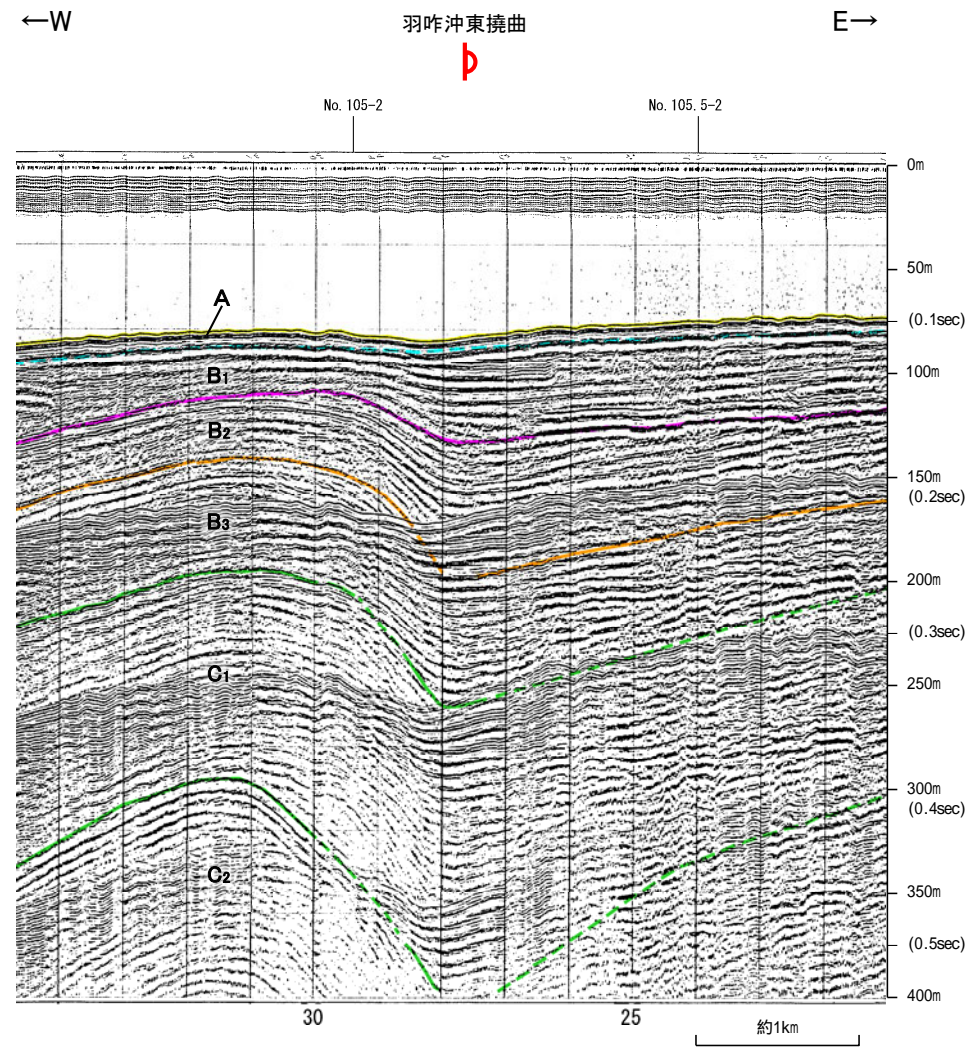
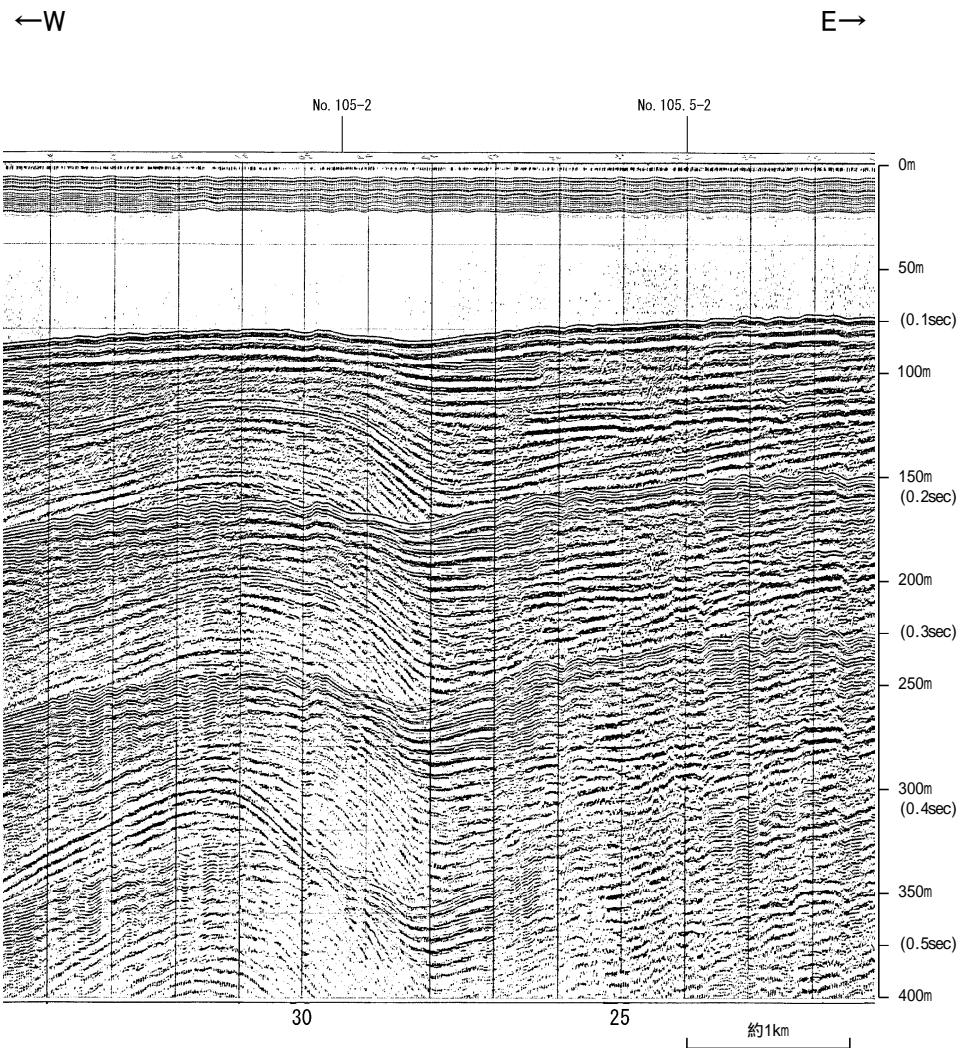


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

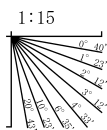


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

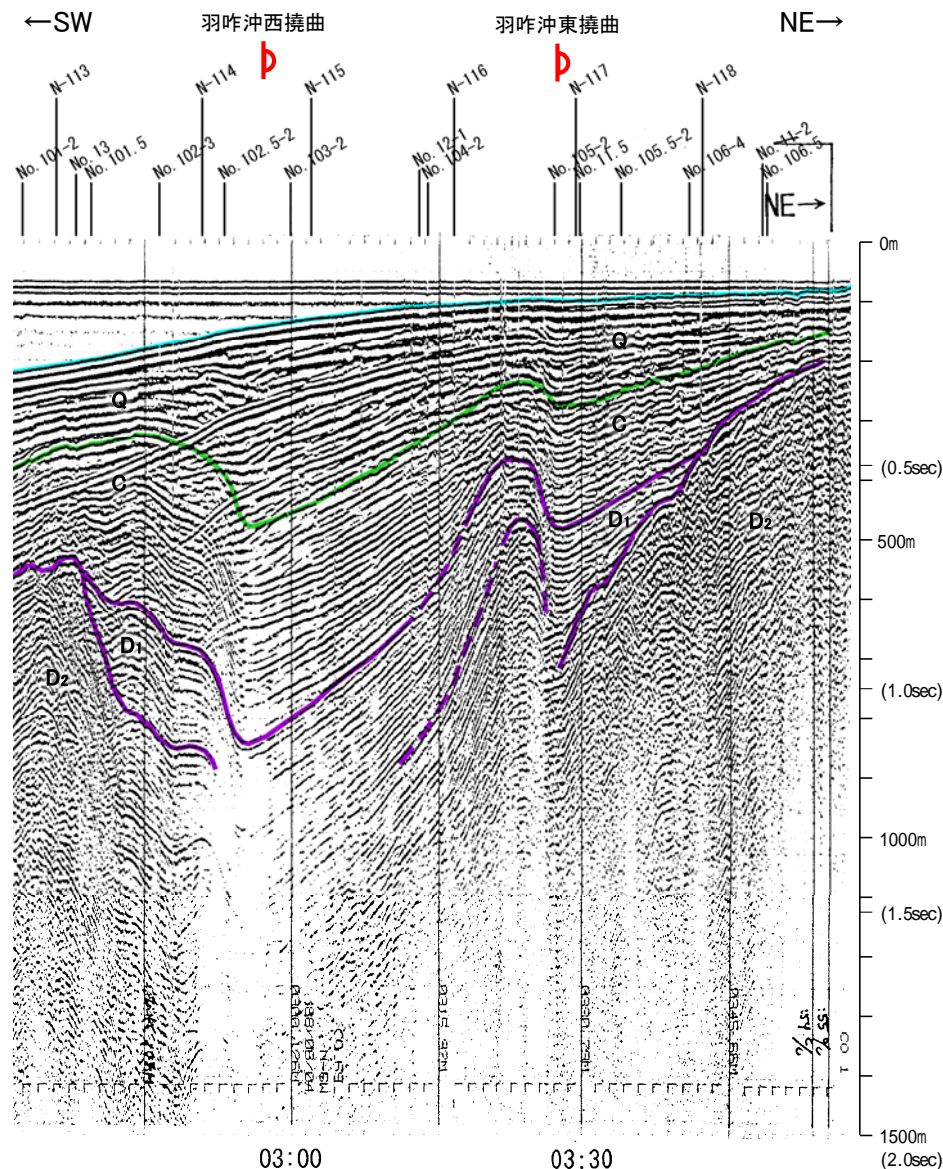
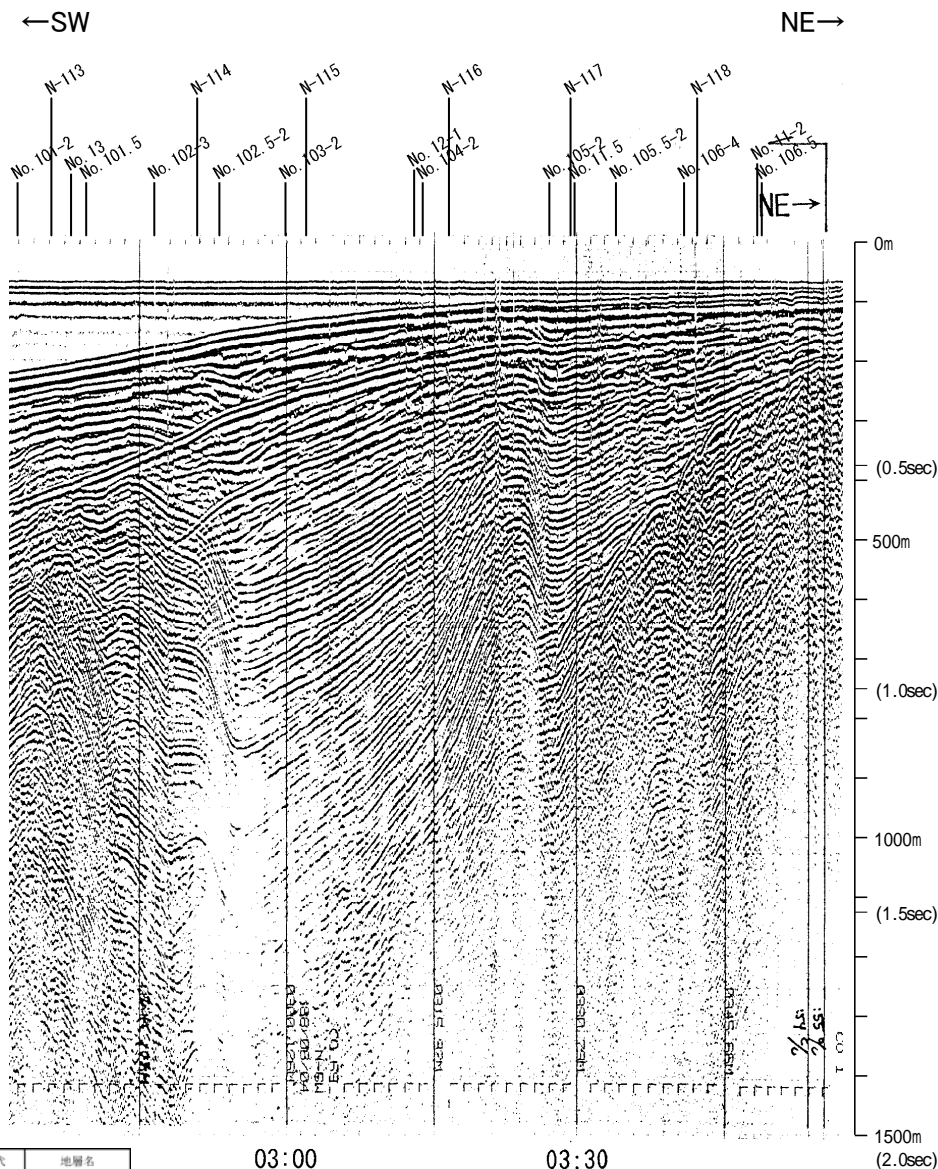
北陸電カスパーカー No.11.5



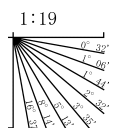
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層 B ₃ 層
	前期	C ₁ 層 C ₂ 層
第三紀	新第三紀	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



地質調査所エアガン N-6W

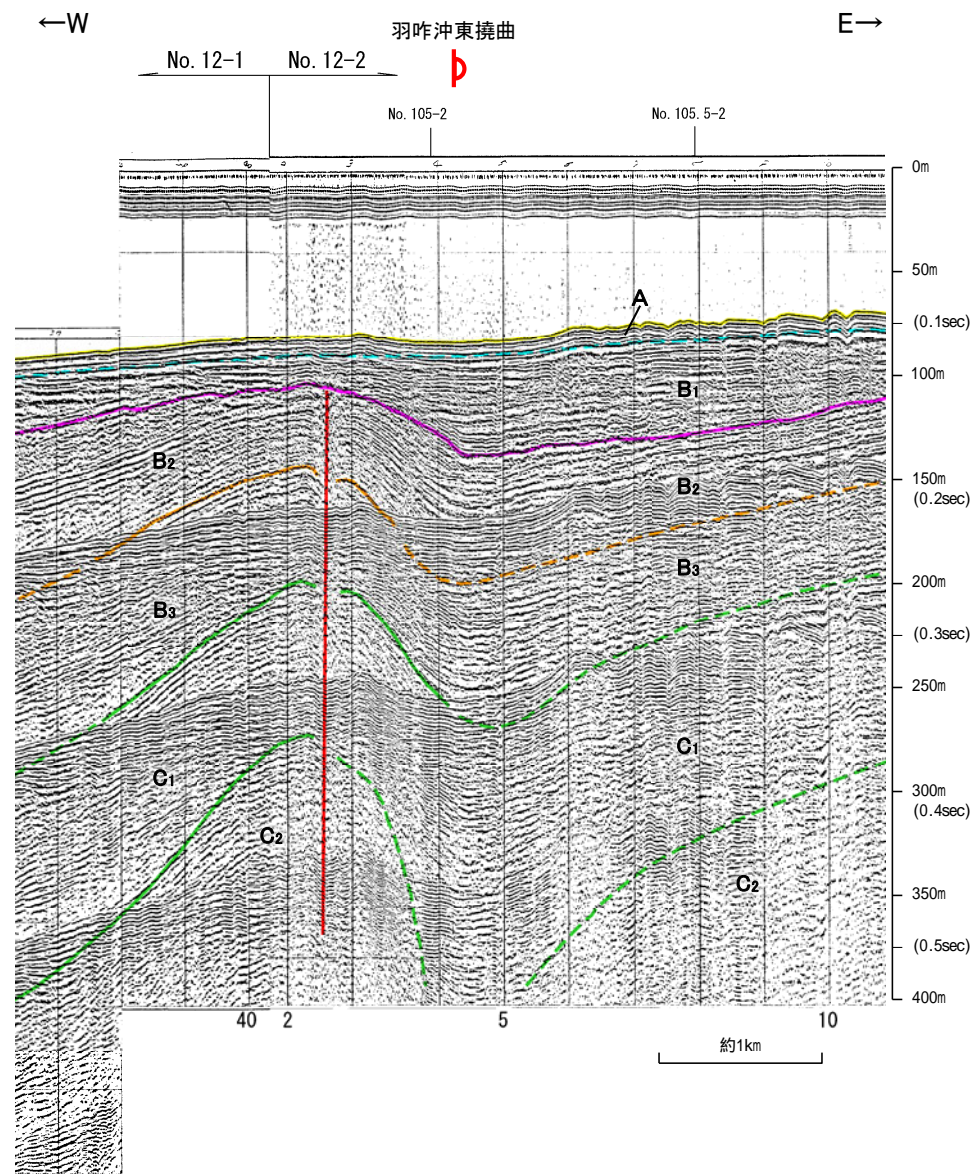
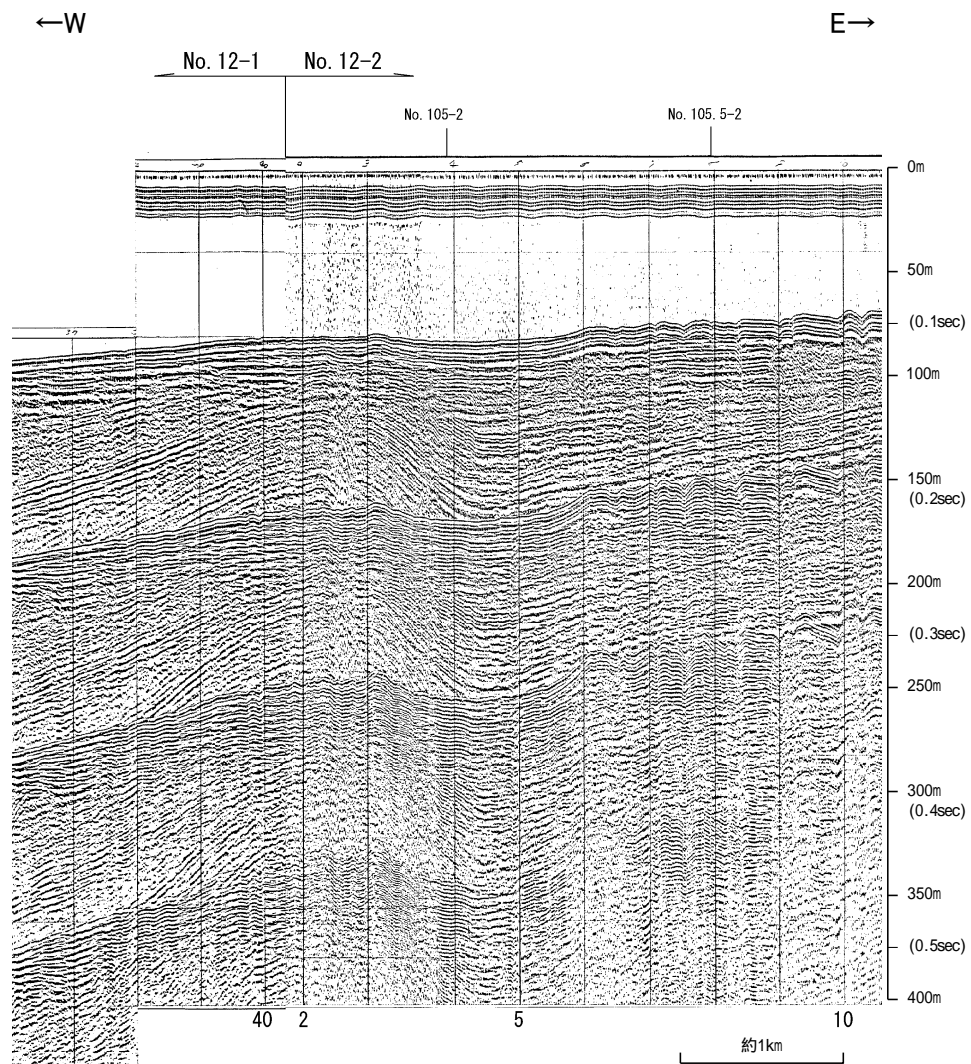


地質時代		地層名
第四紀	全新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	C層	
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



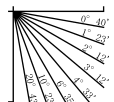
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.12-1, No.12-2

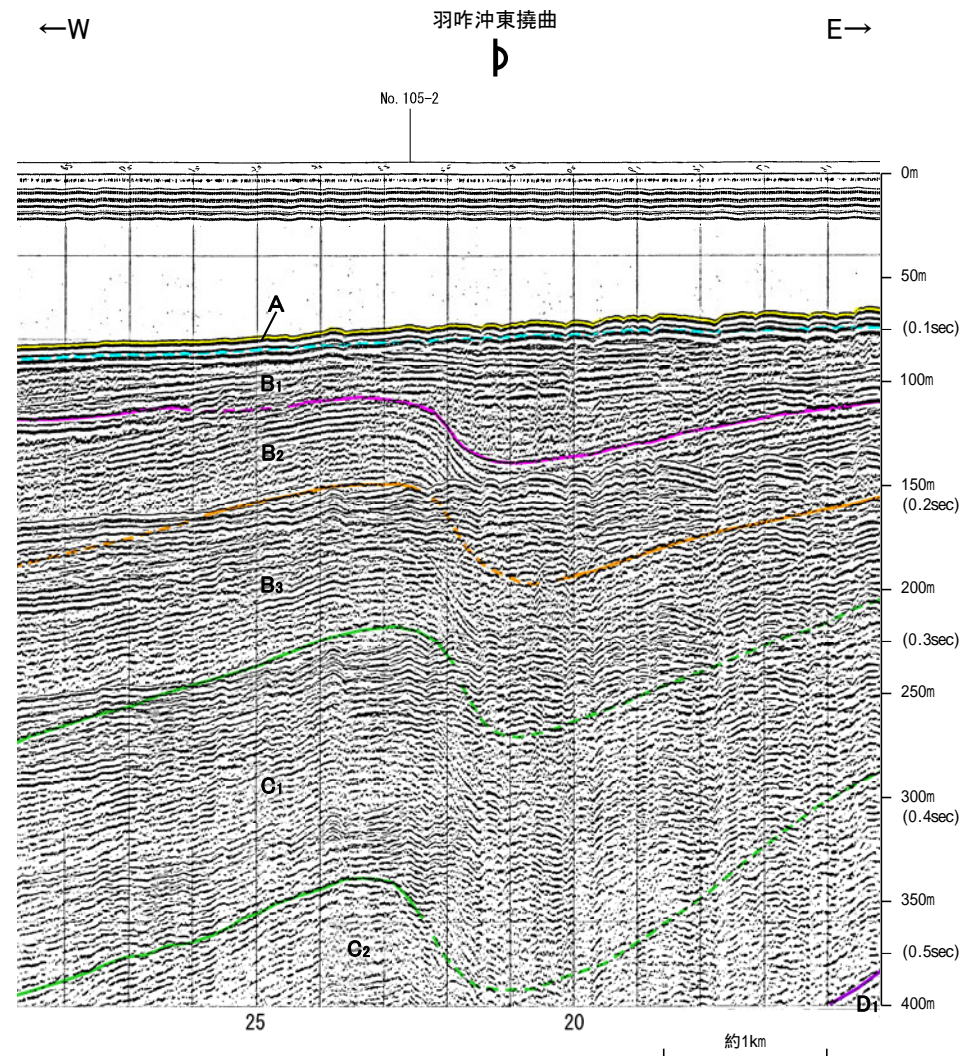
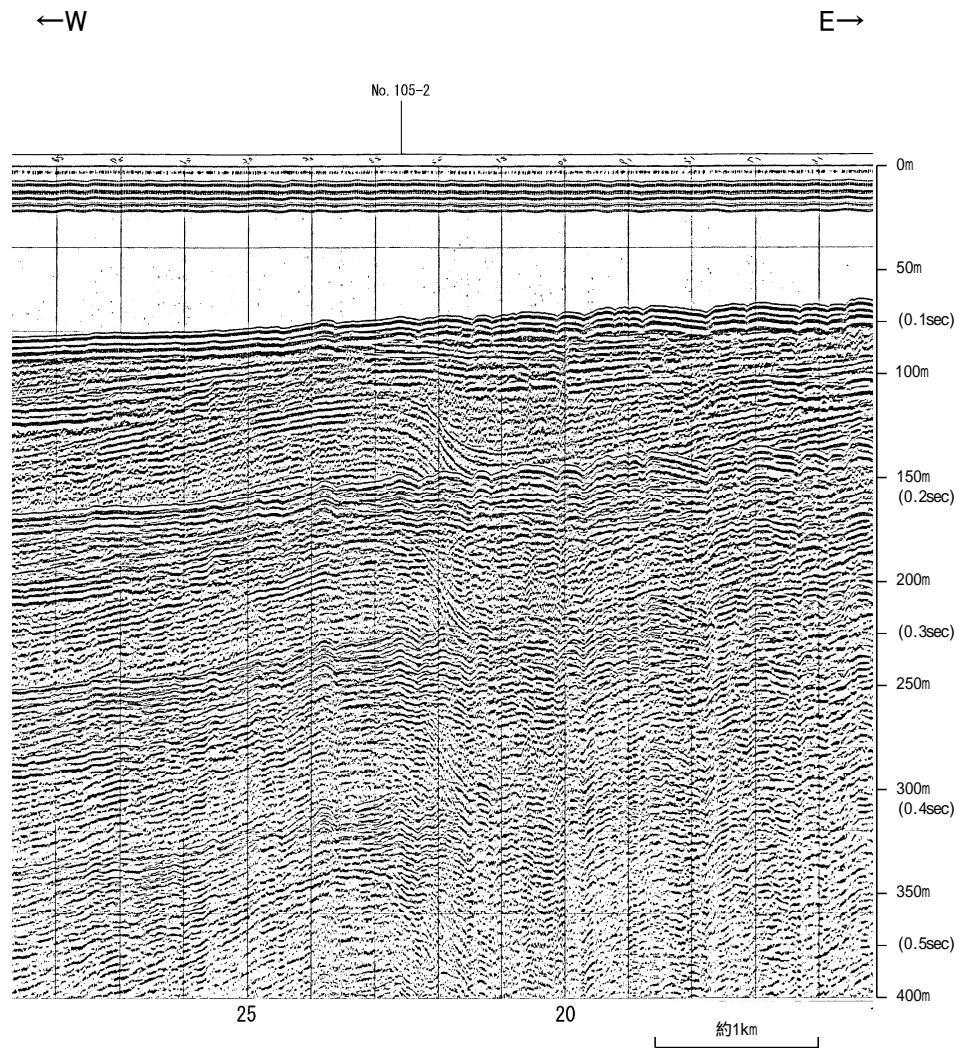


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
新第三紀	中新世	C ₂ 層
古第三紀	D層	D層
	先第三紀	D層

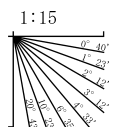
1:15



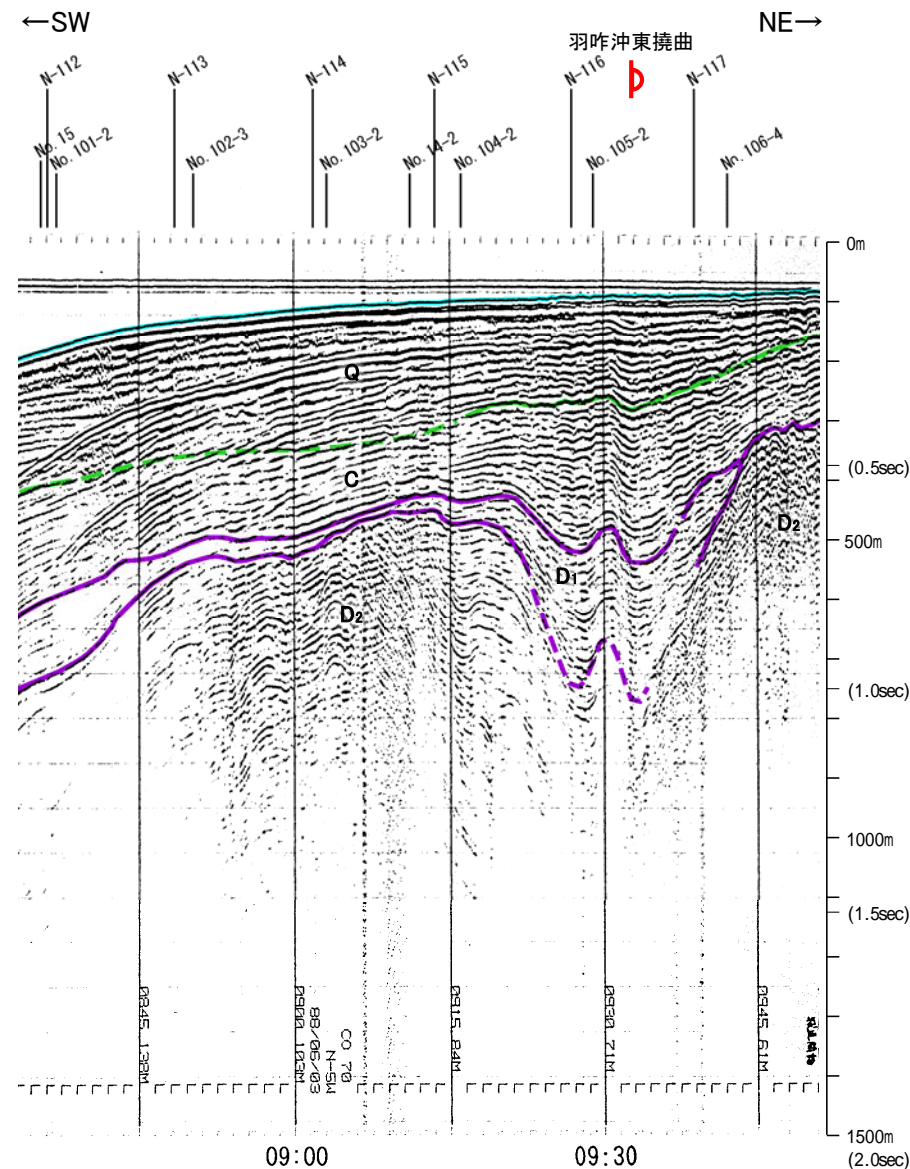
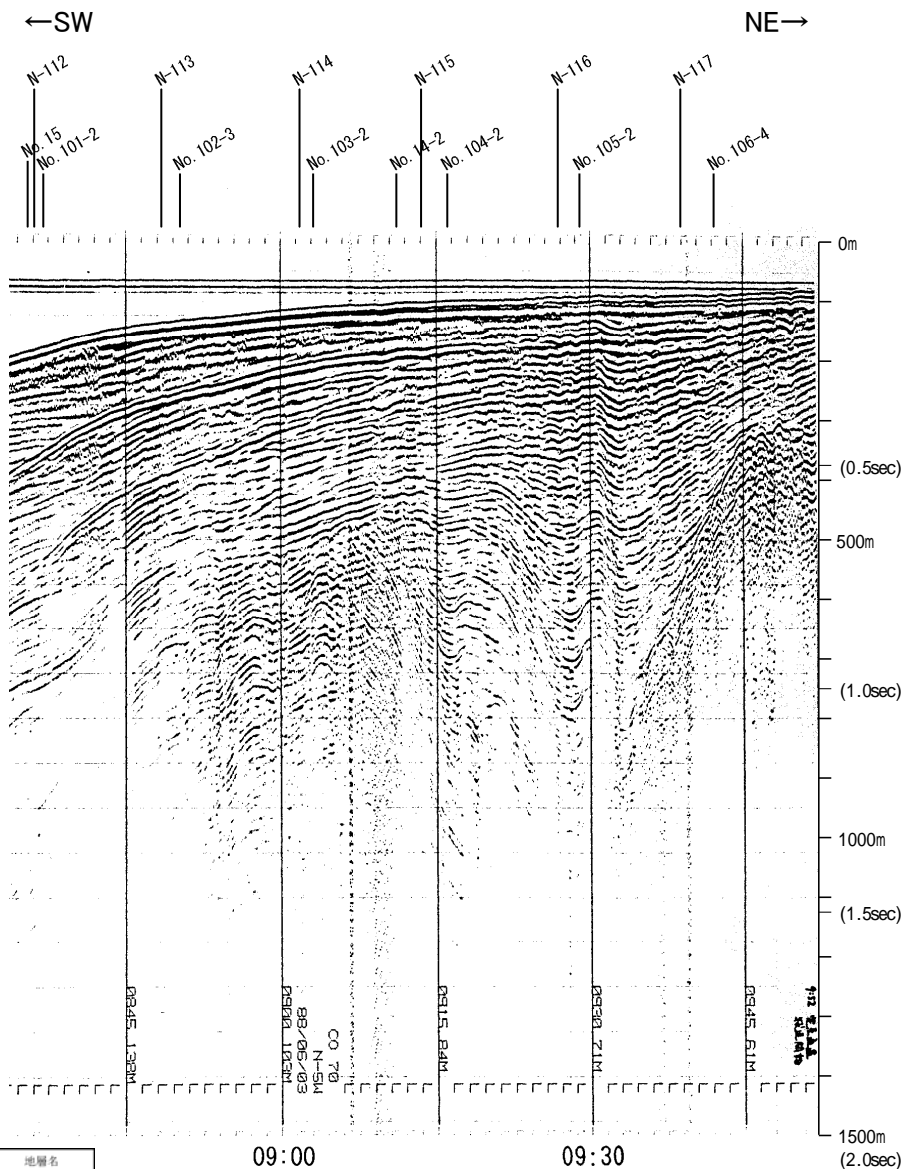
北陸電カスパーカー No.13



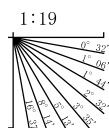
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B層
		B層
	前期	C層
	第三紀	中新世
古第三紀		D層
先第三紀		D層



地質調査所エアガン N-5W

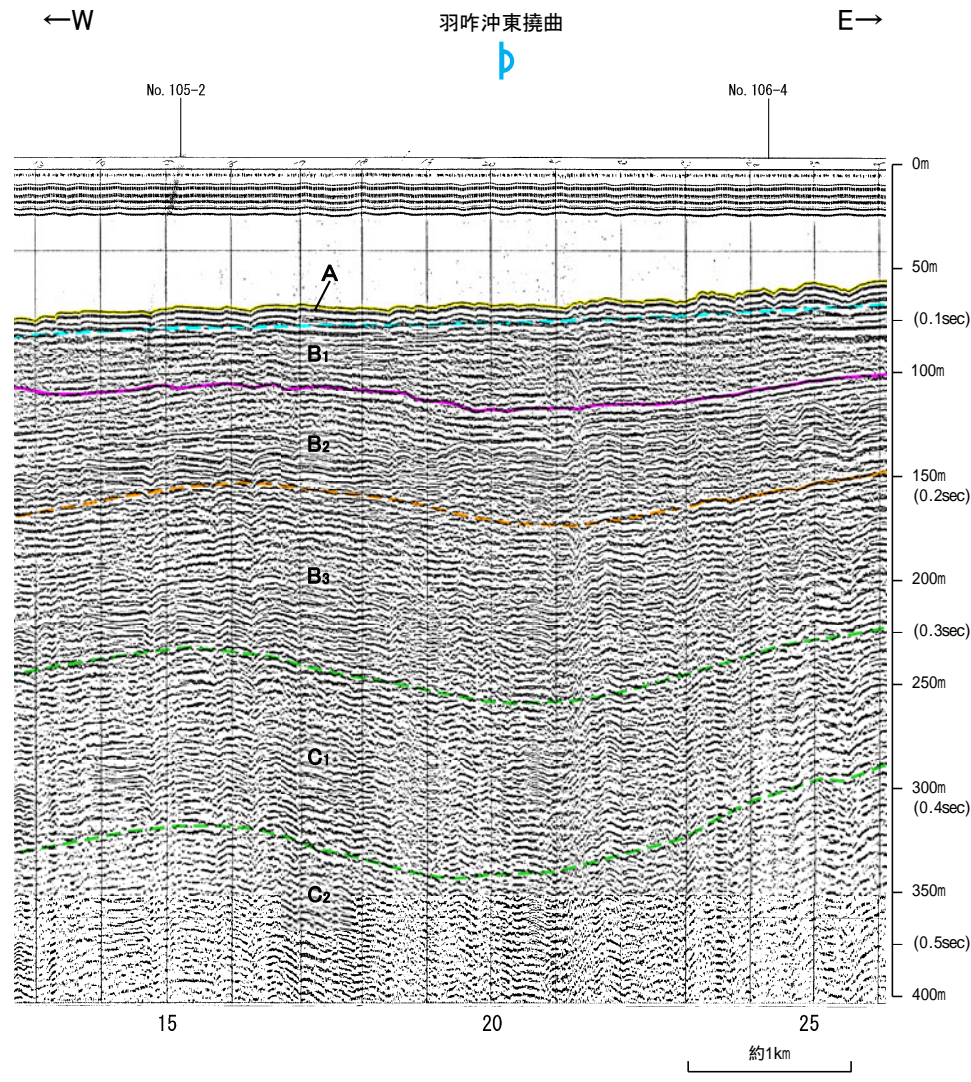
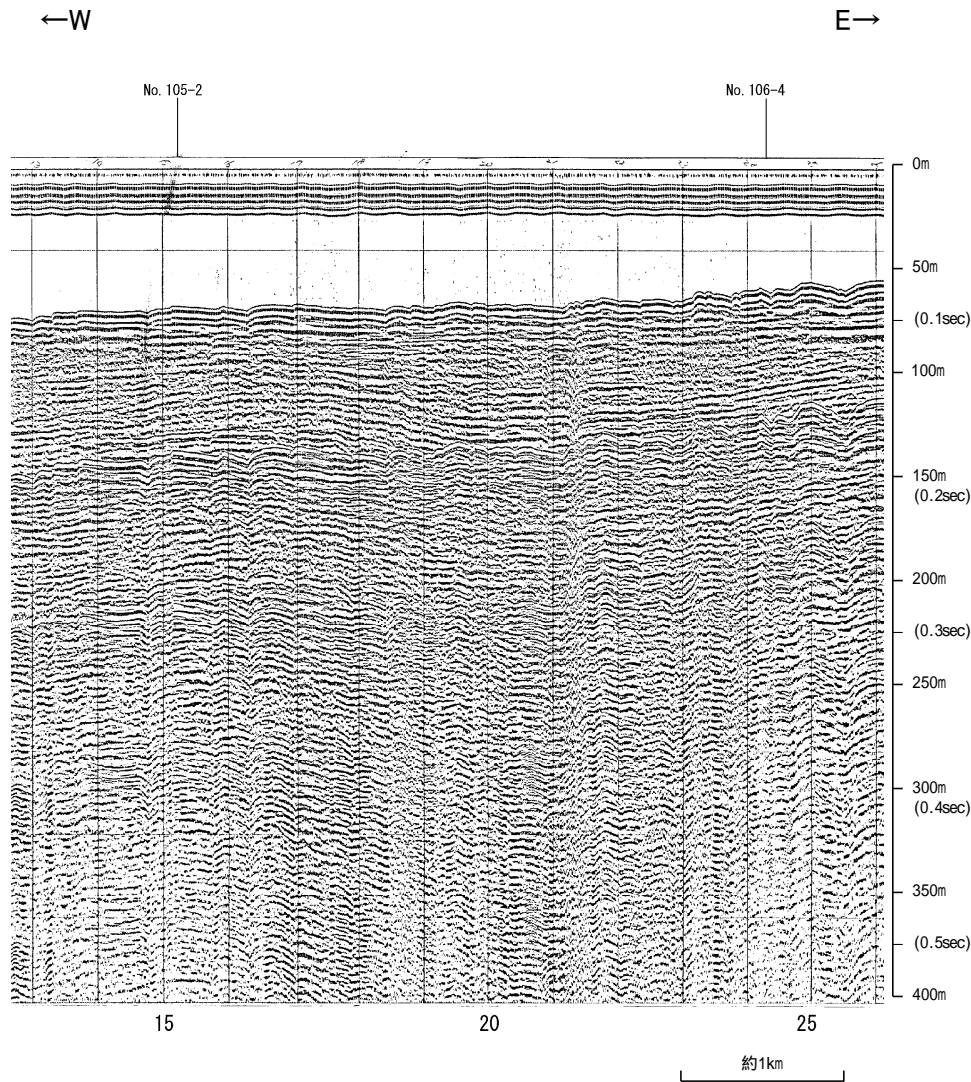


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	B層	
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	C層
		D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

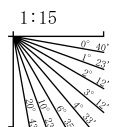


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

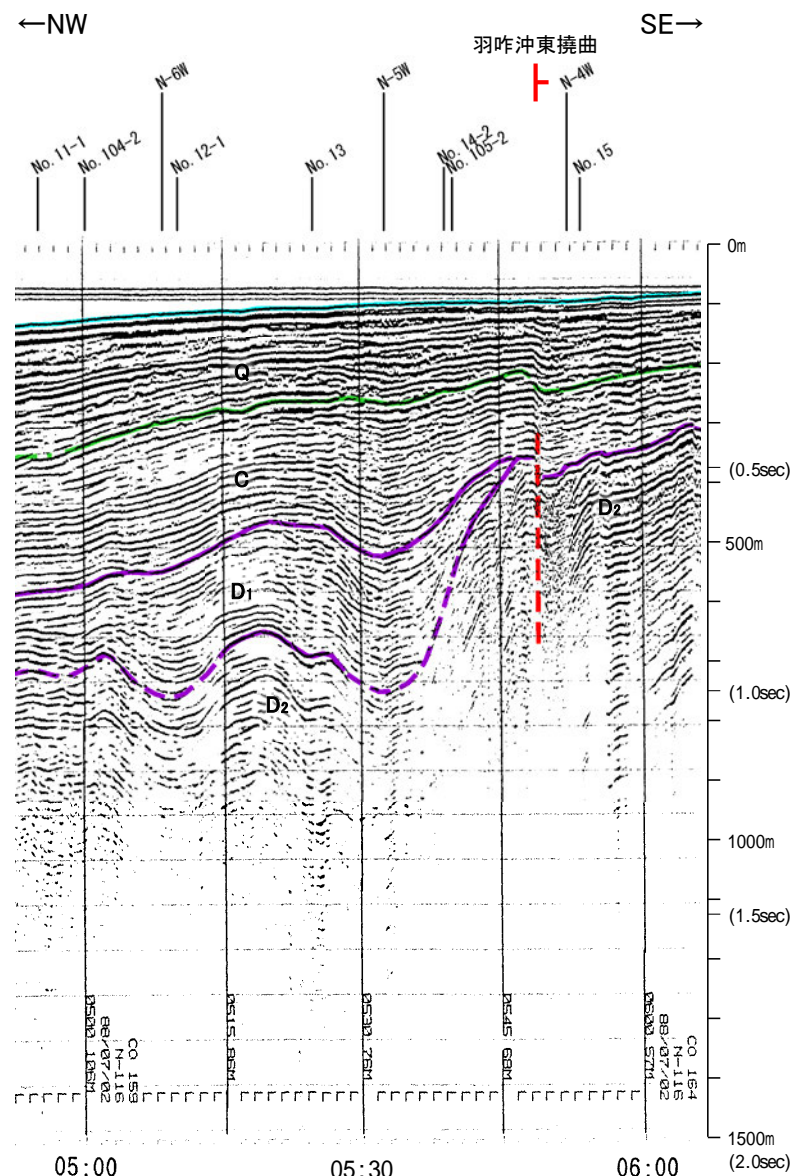
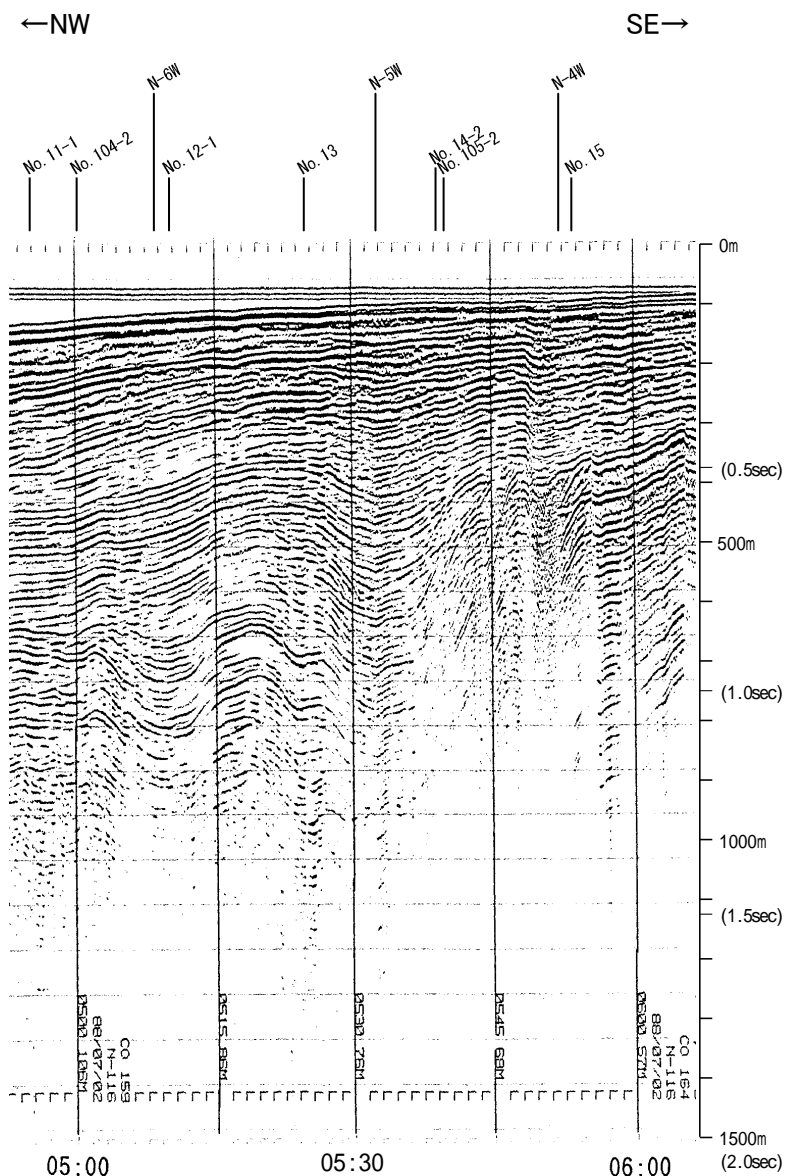
北陸電カスパーカー No.14-2



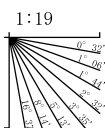
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
			B ₂ 層
	前期	C層	
第三紀	新第三紀	C ₁ 層	
	中新世	D層	
		D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀	D ₃ 層		



地質調査所エアガン N-116

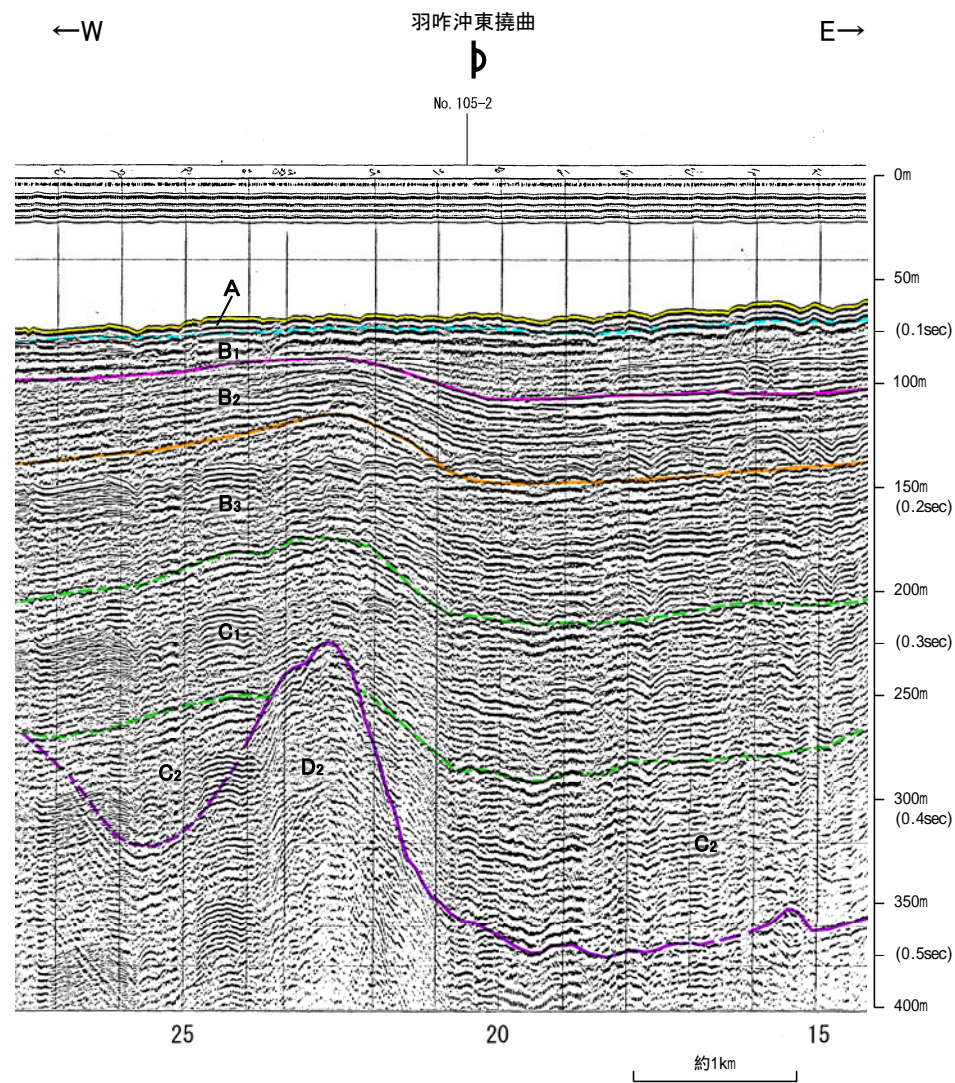
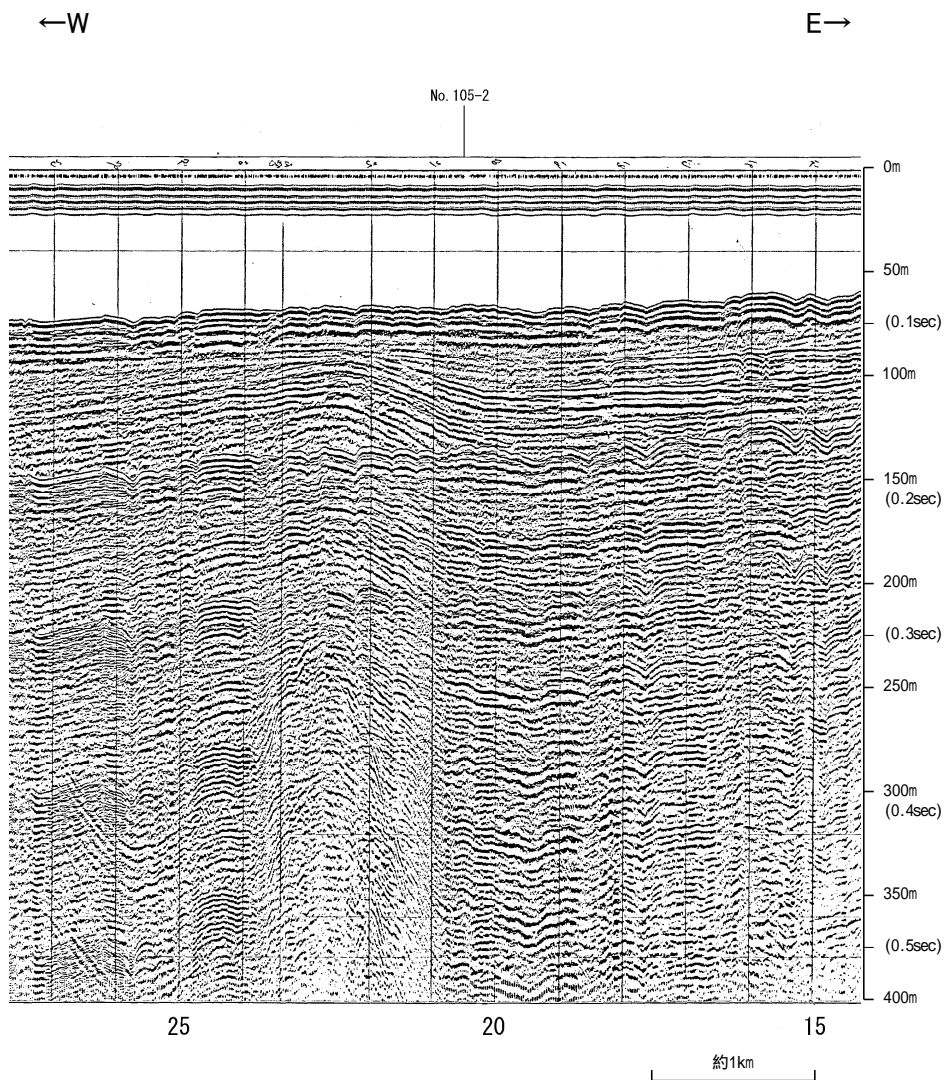


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

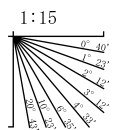


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

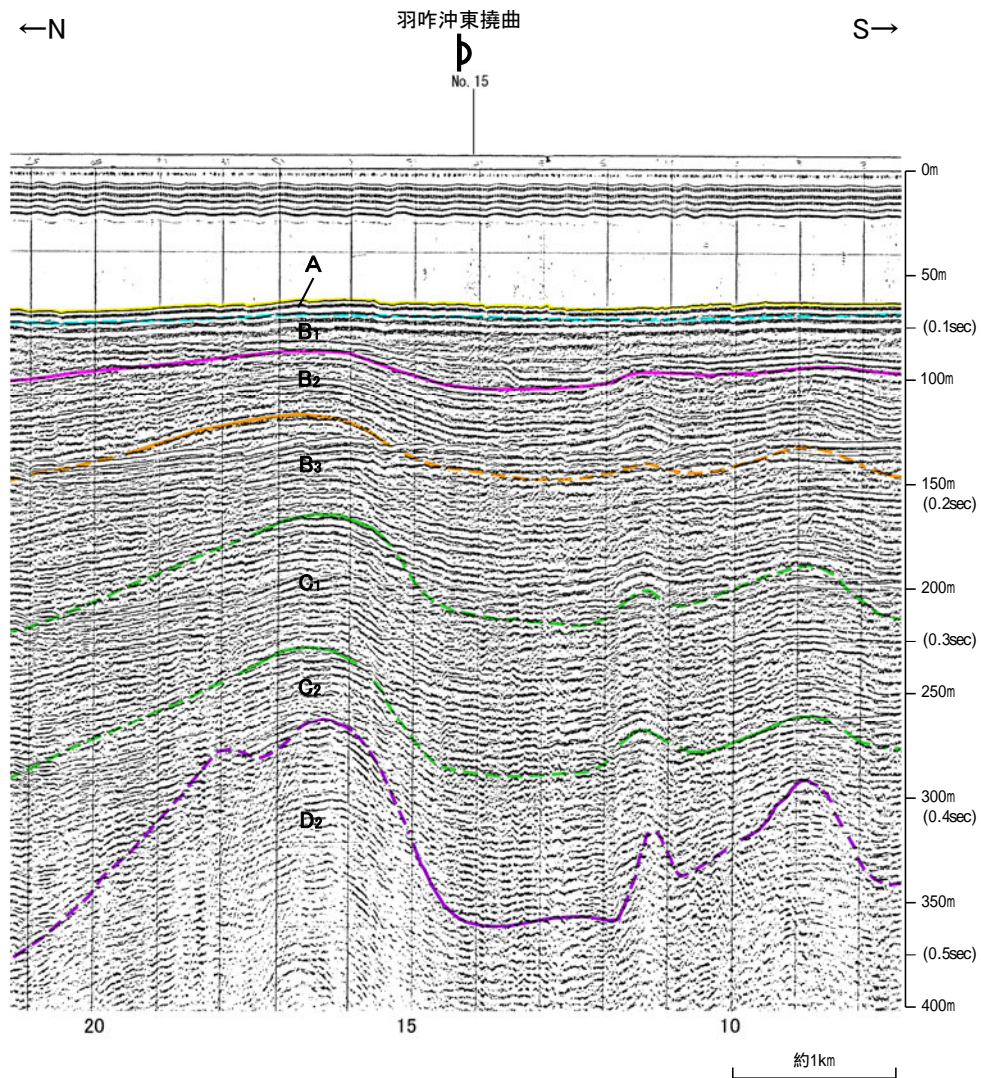
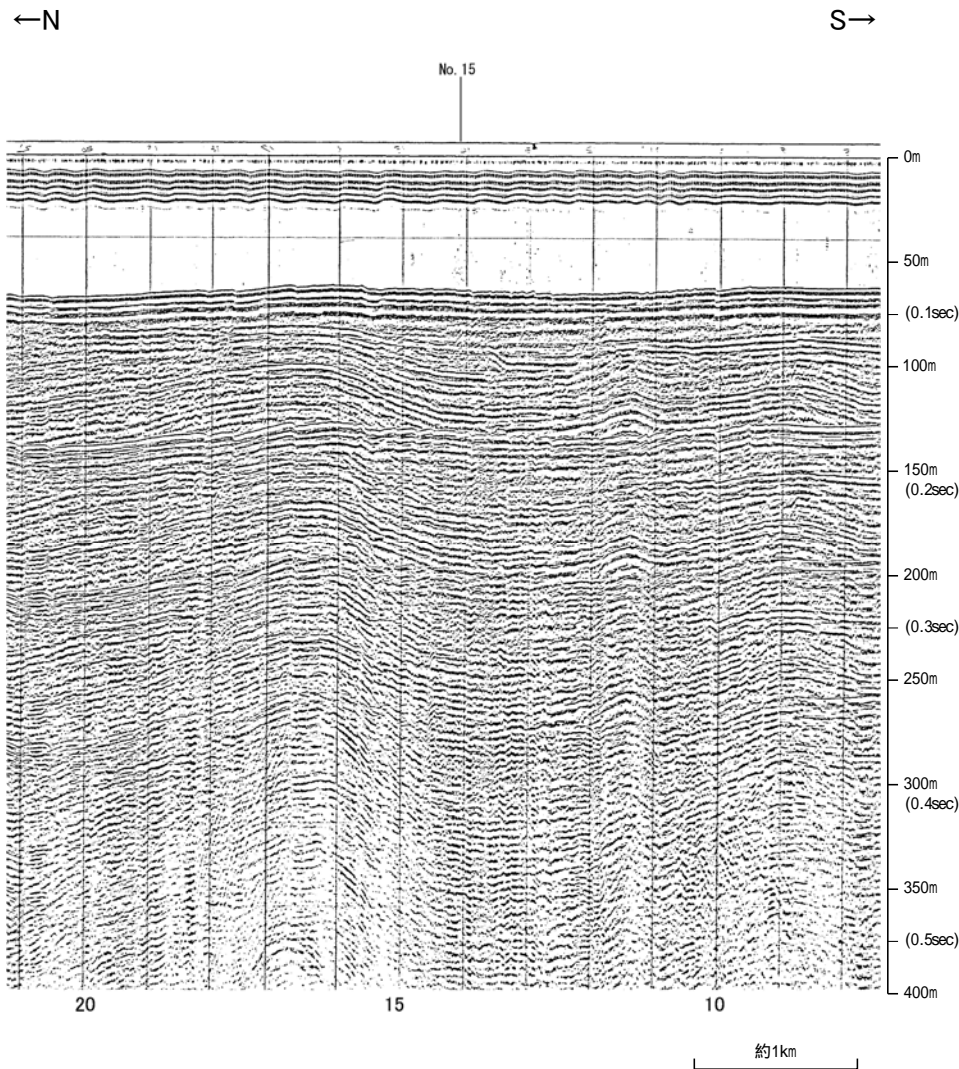
北陸電カスパーカー No.15



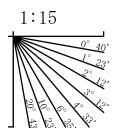
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	全新世	C ₁ 層	
第三紀	中新世	C ₂ 層	
	古第三紀	D ₁ 層	
		先第三紀	D ₂ 層



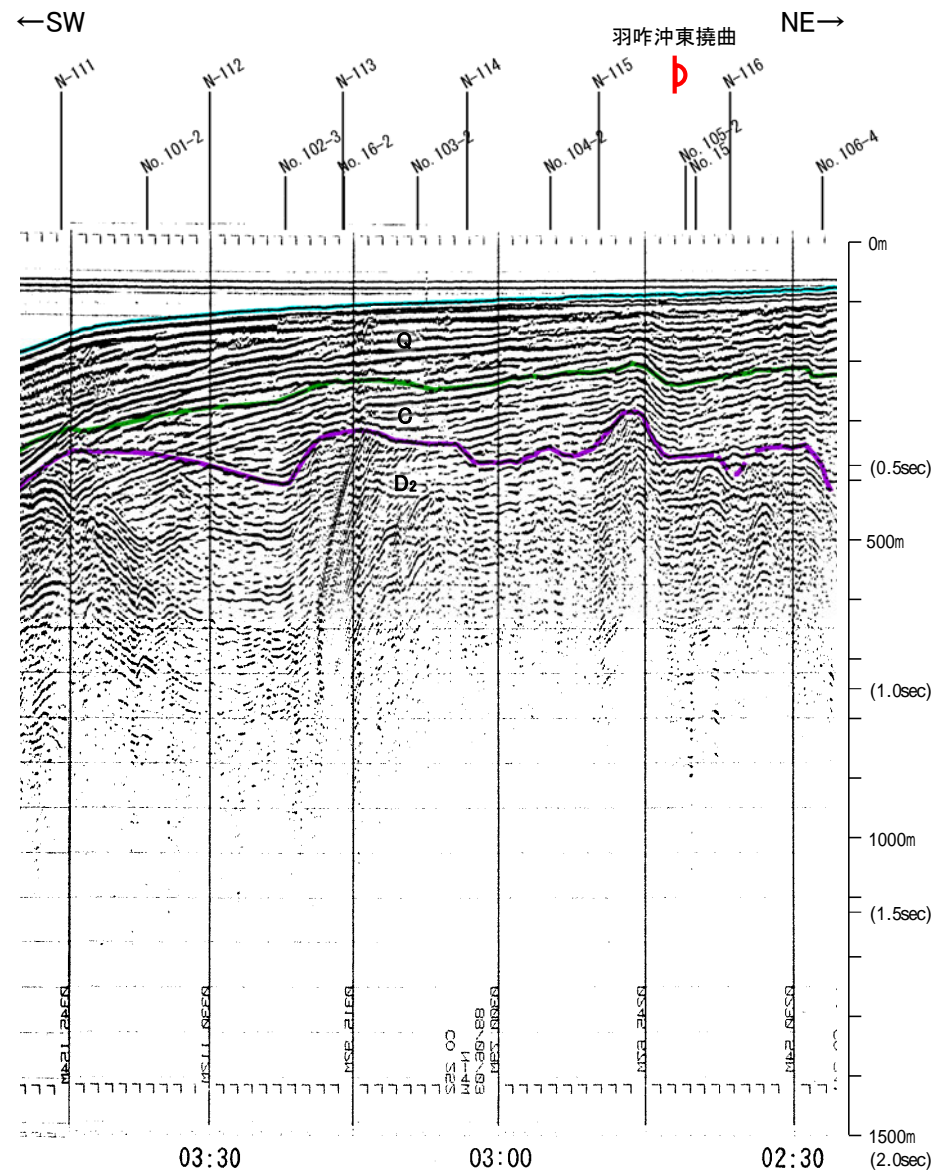
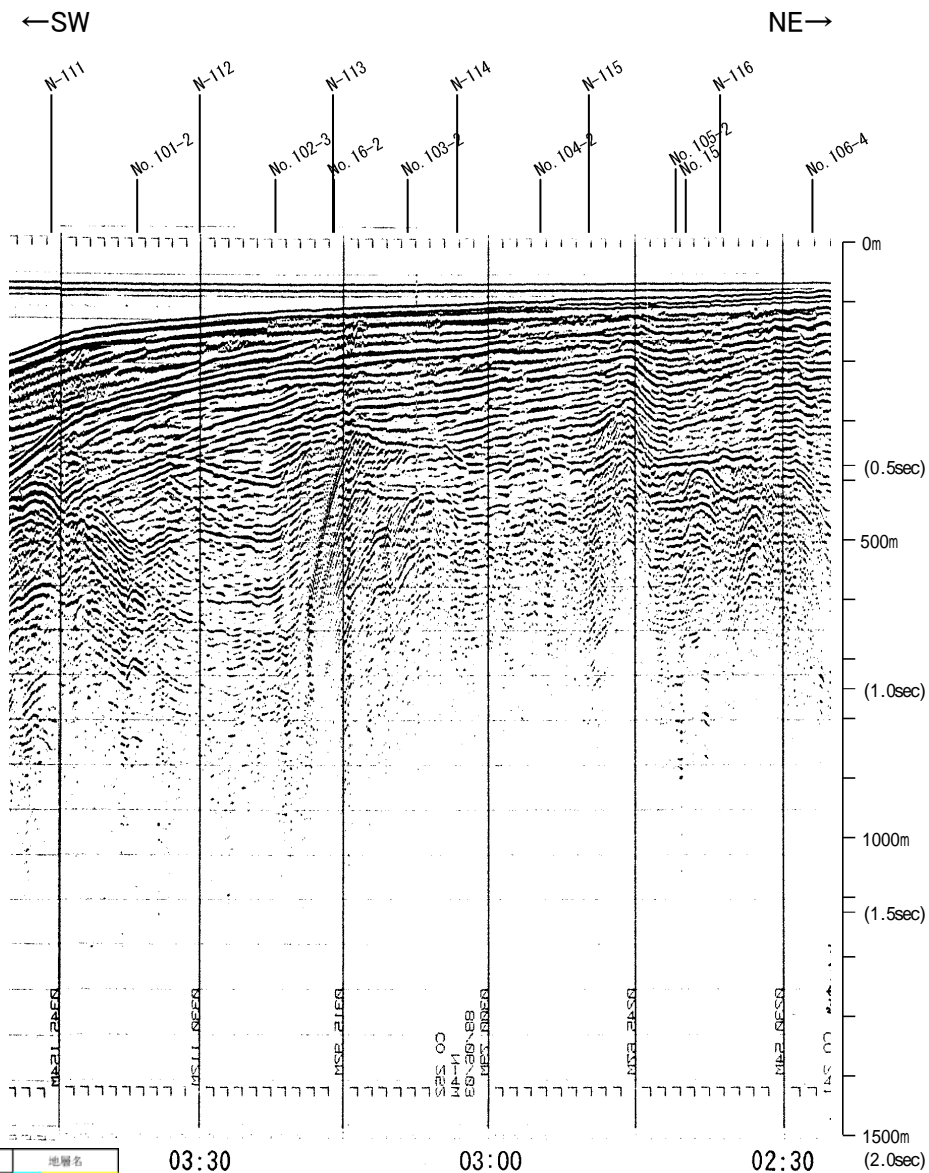
北陸電カスパーカー No.105-2



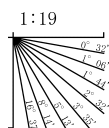
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	新第三紀	C層	
先第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
	先第三紀		



地質調査所エアガン N-4W

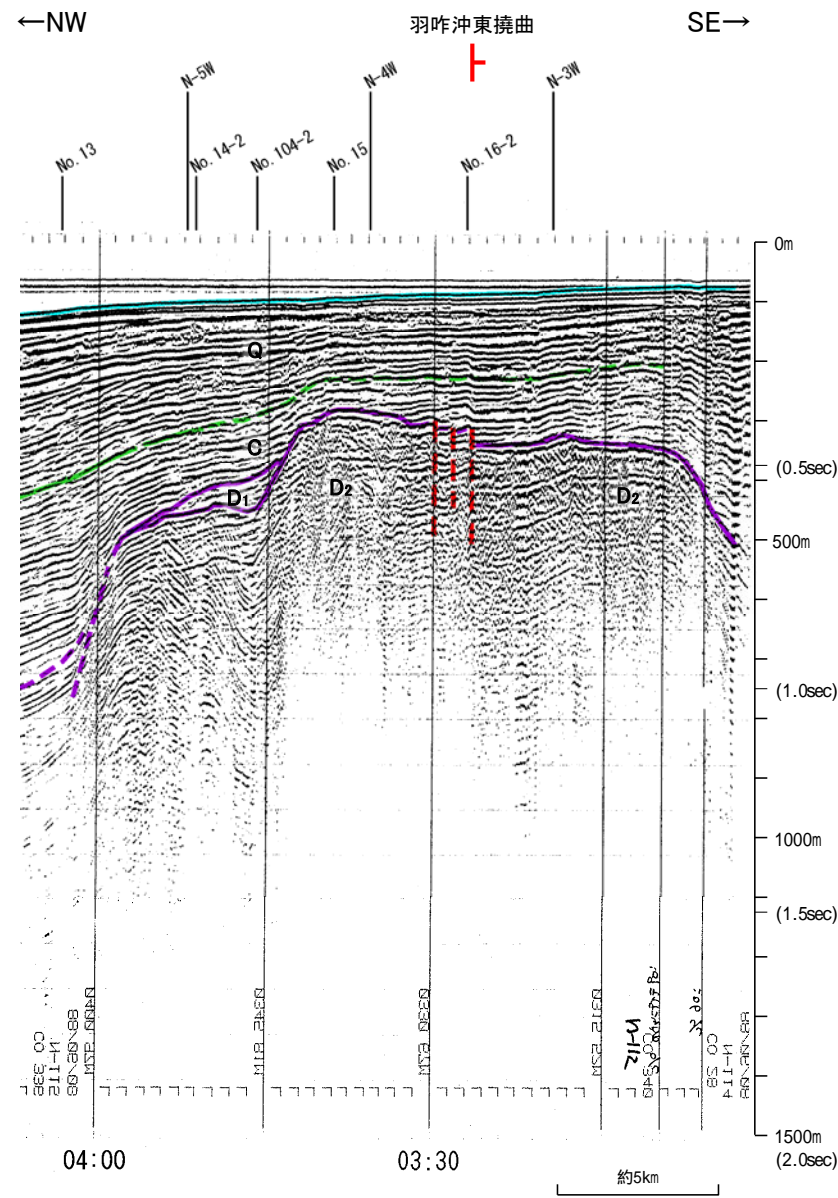
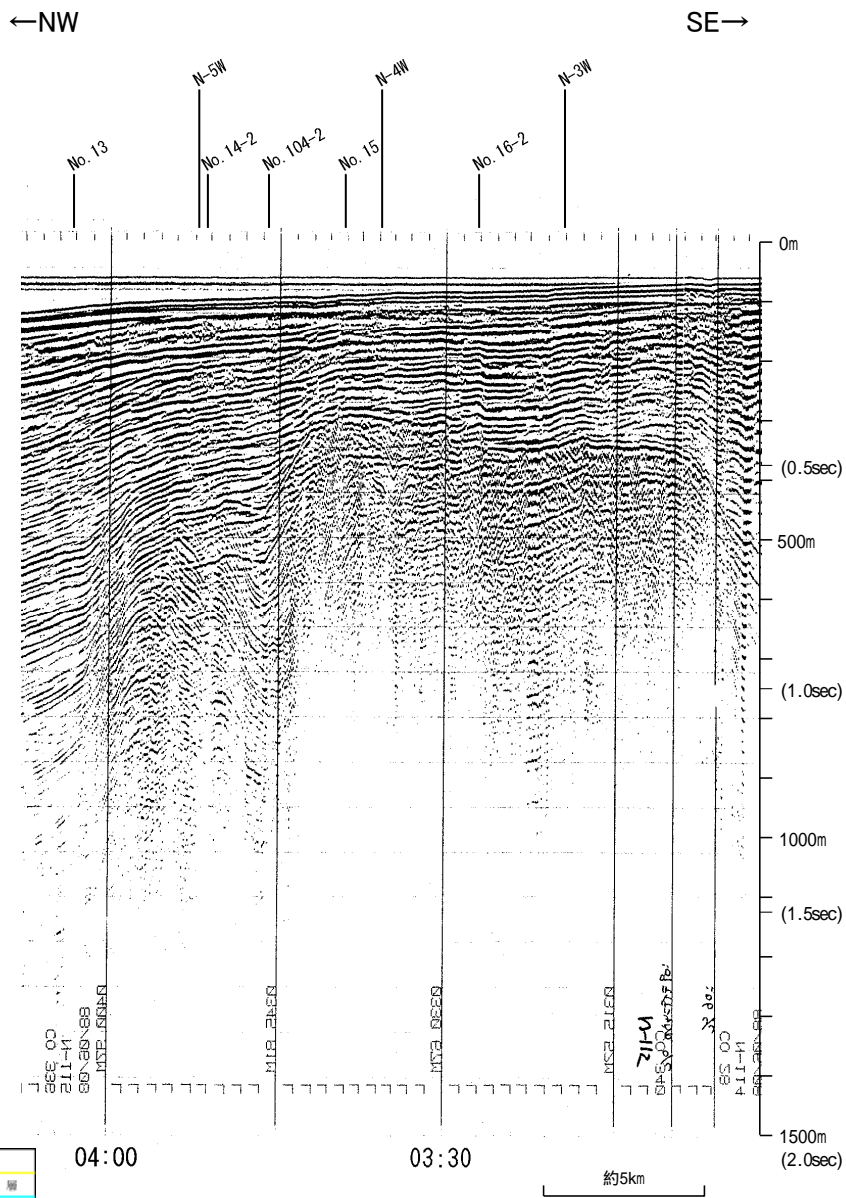


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	C層
	D層	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

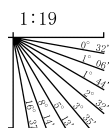


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-115

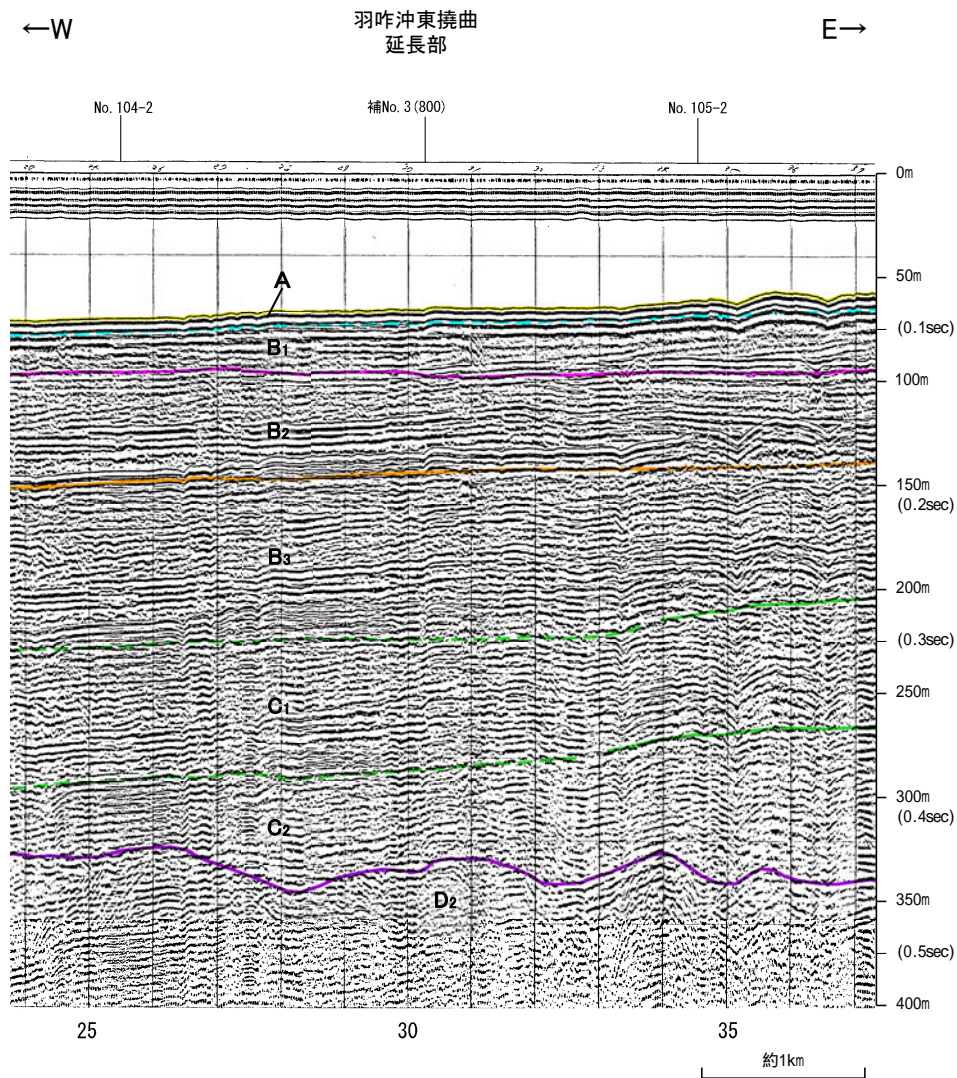
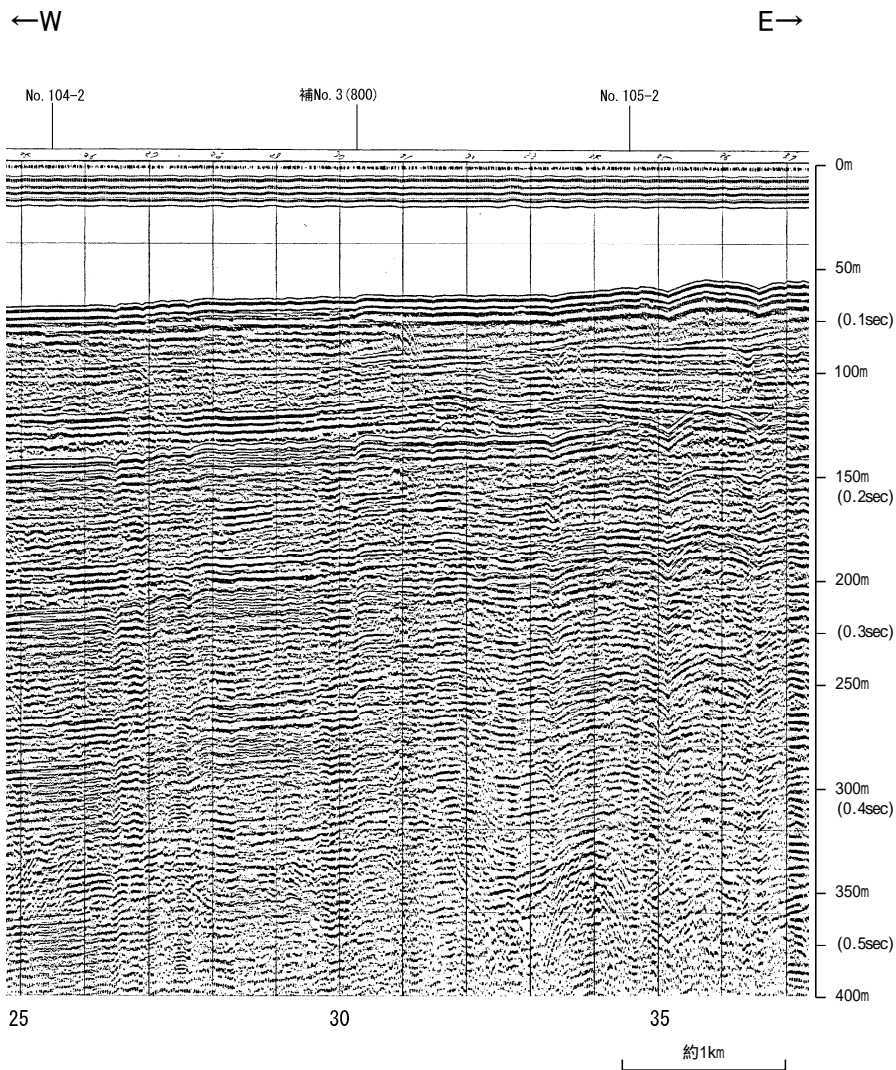


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
		B層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

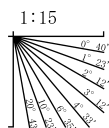


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

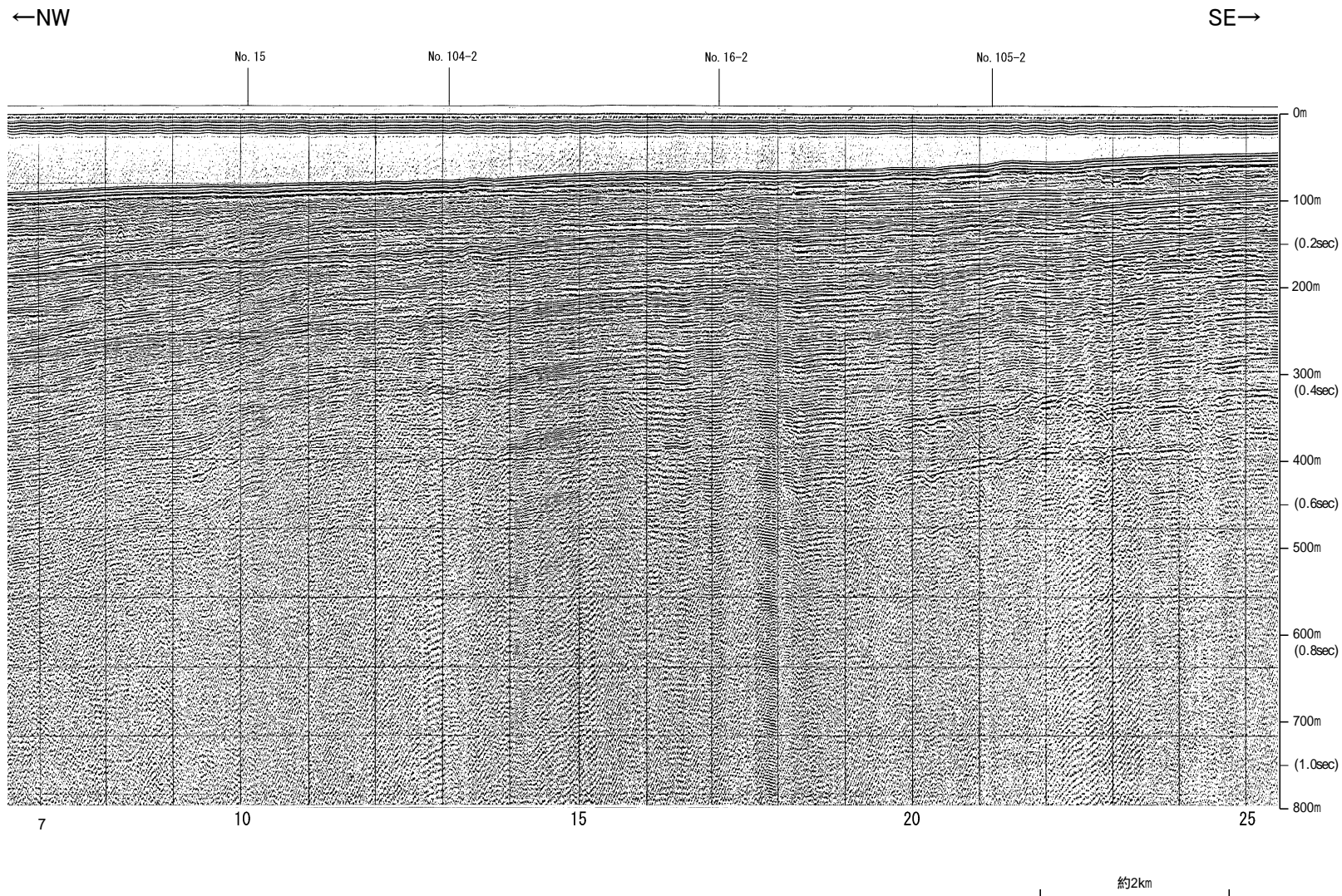
北陸電カスパーカー No.16-2



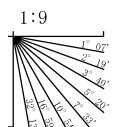
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中期	B層
		B層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	D層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀		D層



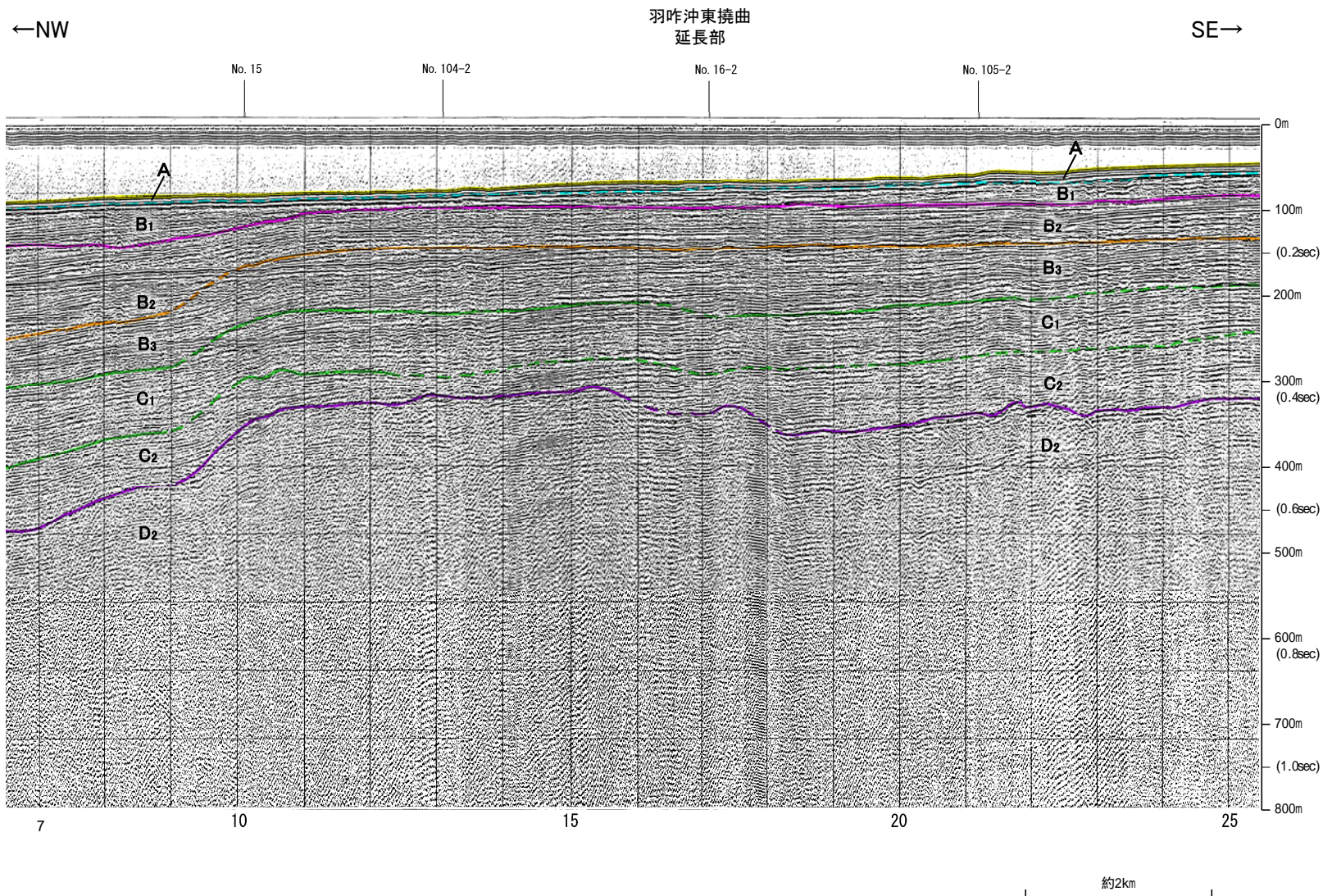
北陸電カスパーカー 補No.3(800)



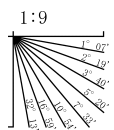
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B層
		B層
	前期	C層
		C層
第三紀	新第三紀	D層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀		D層



北陸電カスパーカー 補No.3(800)



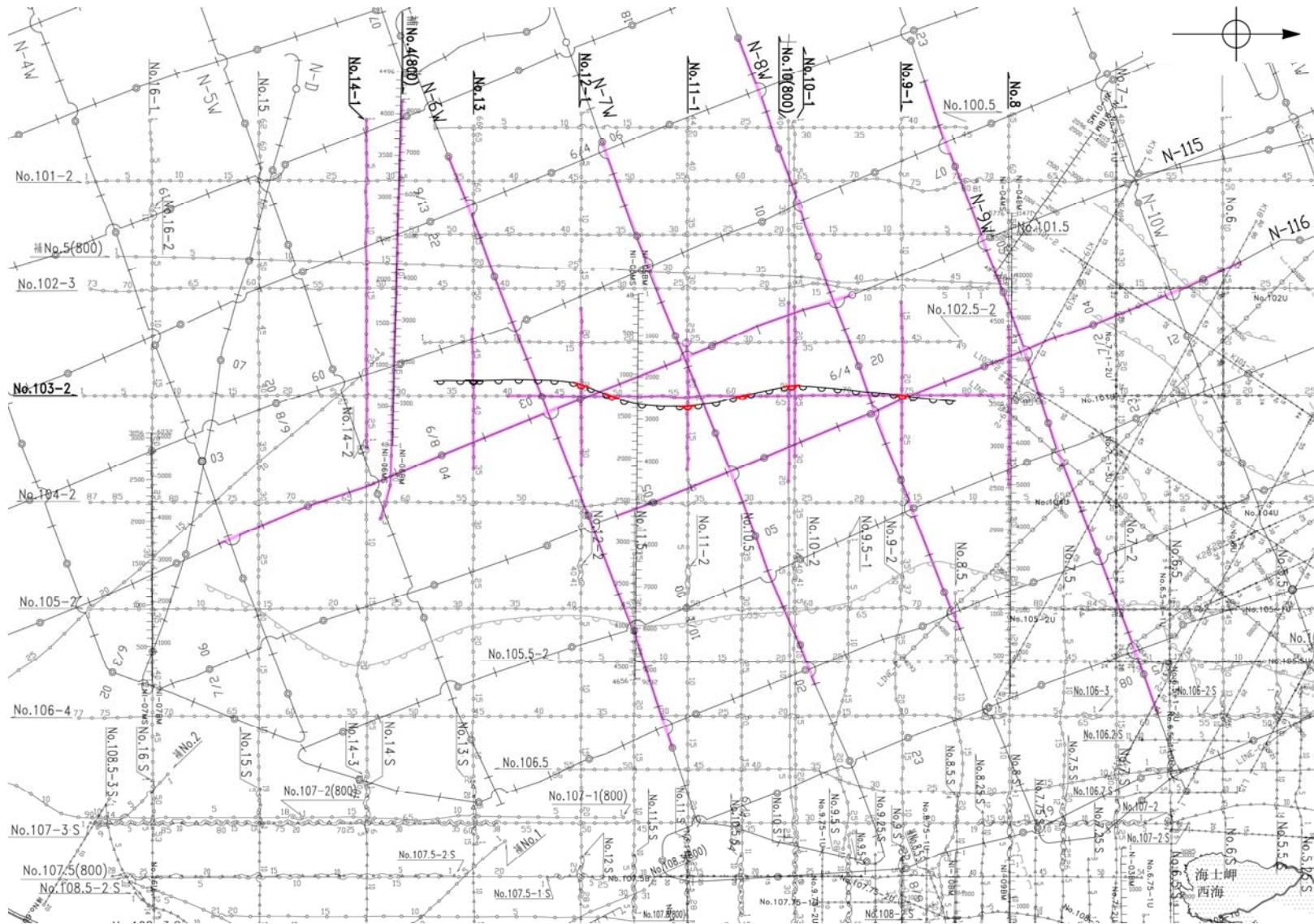
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B ₁ 層
		B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	新第三紀	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀		



余白

羽咋冲西撓曲

音波探査記録 添付測線(羽咋沖西撓曲)



凡例

断層 (伏在断層)

断層 } 連続性のない断層
伏在断層

撓曲

(測線位置における活動性)

断層以上に変位, 変形が認められる
断層以上に変位, 変形の可能性が否定できない

No. 8



調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約2450ジュール)

No. 9-S



調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約360ジュール)

No. 8-U



調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)

No. 11-B



調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)

LINE-A



調査測線 (東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル)

添付した音波探査記録

K17



調査測線 (東京大学地震研究所: プーマー・マルチチャンネル)

L5



調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)

N1-06BM



調査測線 (原子力安全保安院: プーマー・マルチチャンネル)

N1-06MS



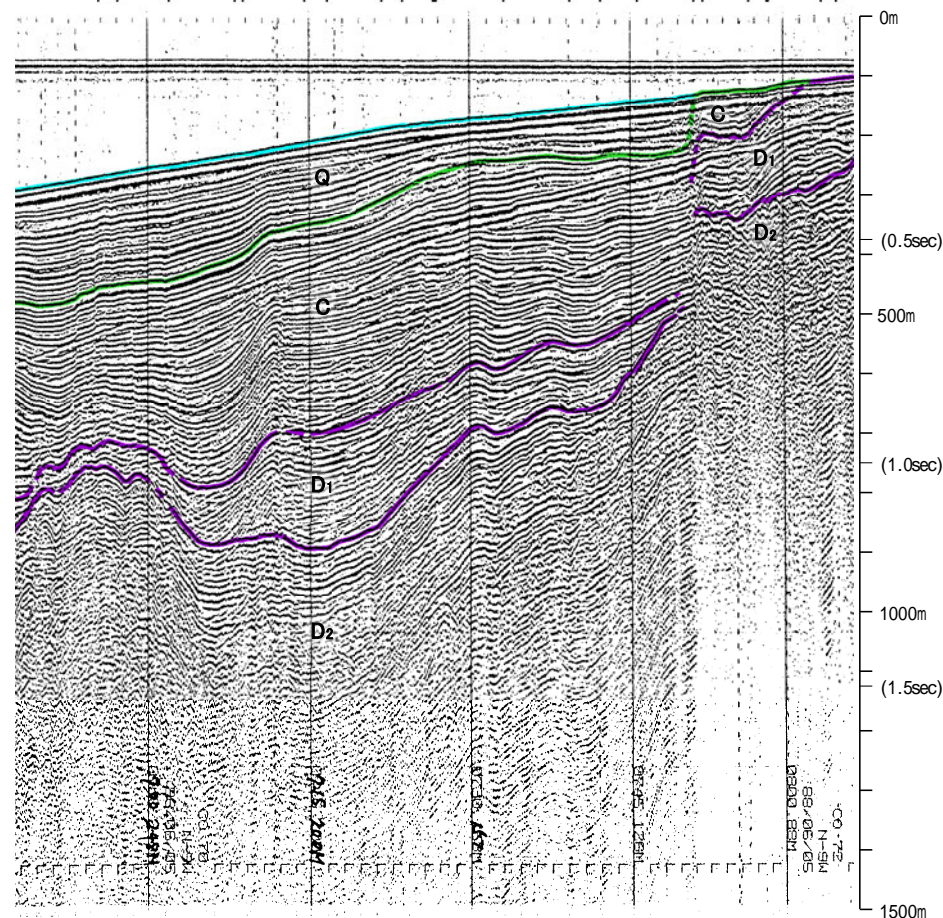
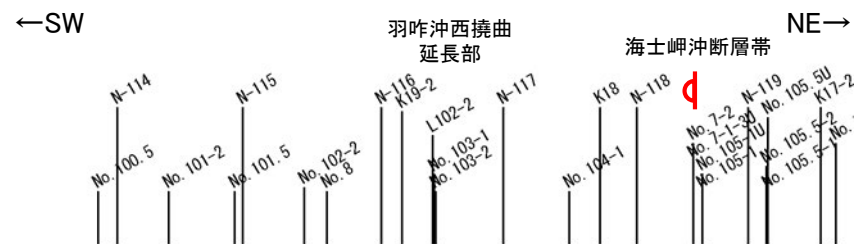
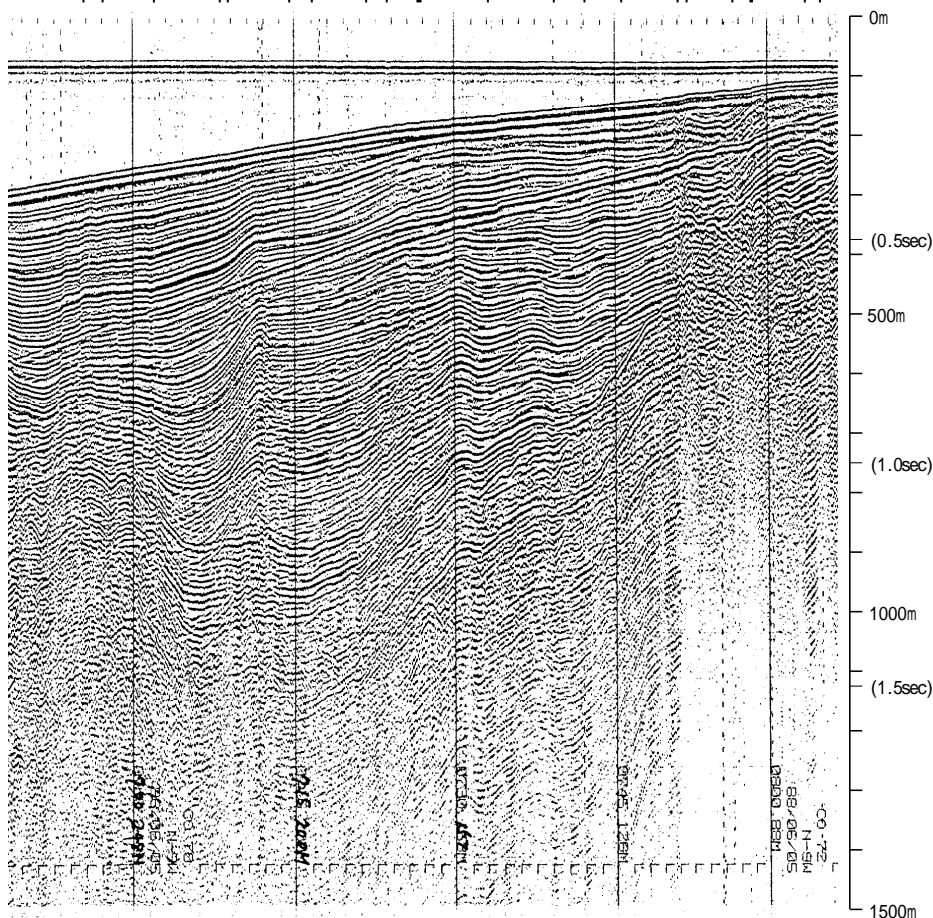
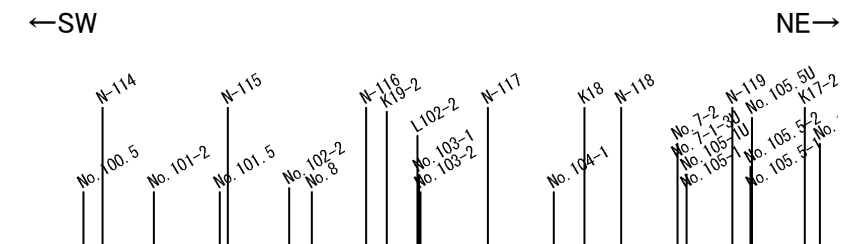
調査測線 (原子力安全保安院: ウォーターガン・マルチチャンネル)

N-118

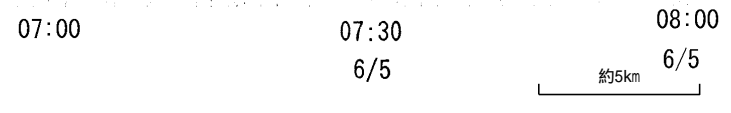
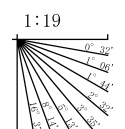
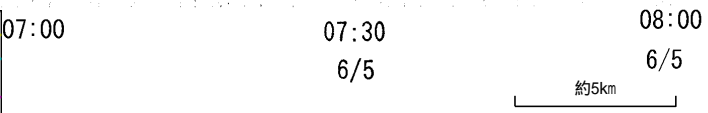


調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)

地質調査所エアガン N-9W

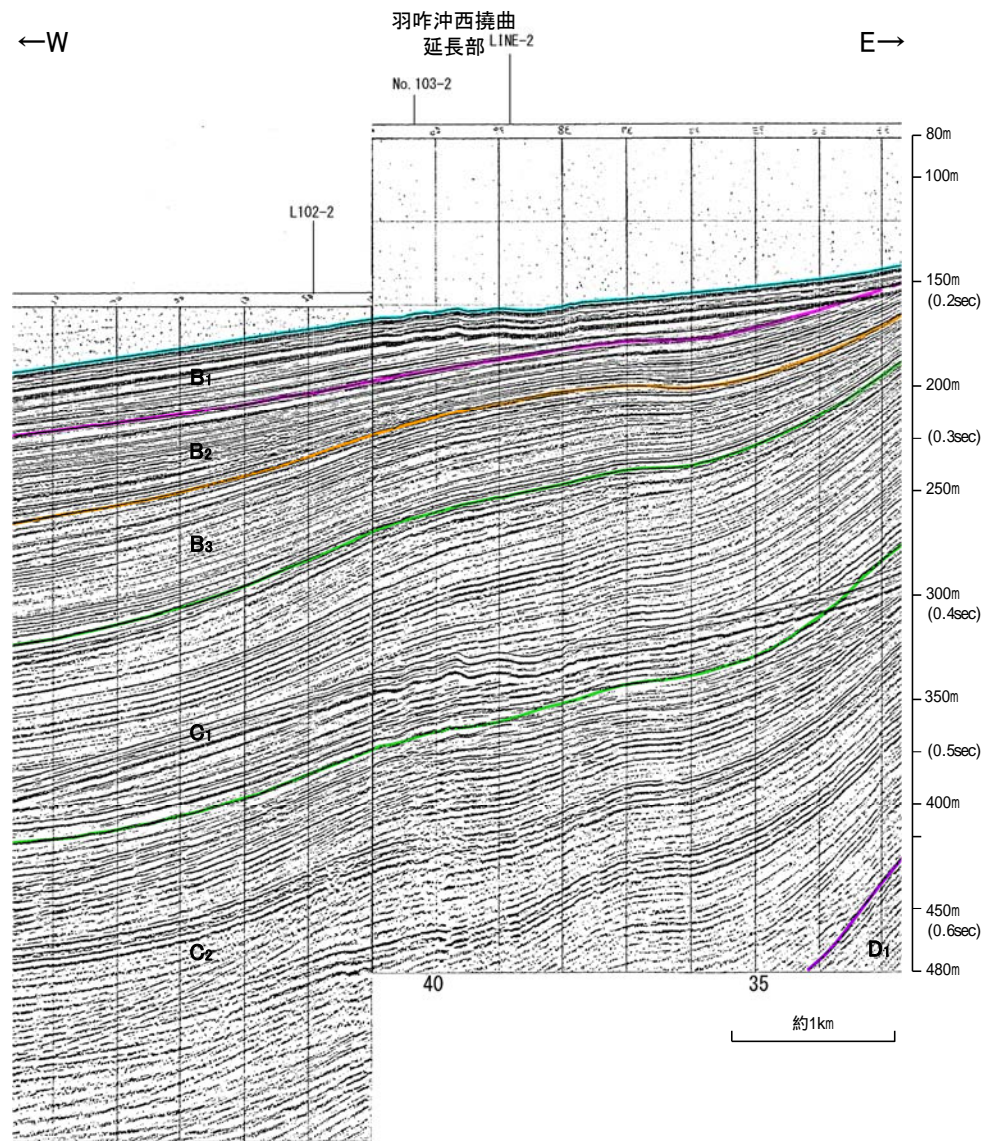
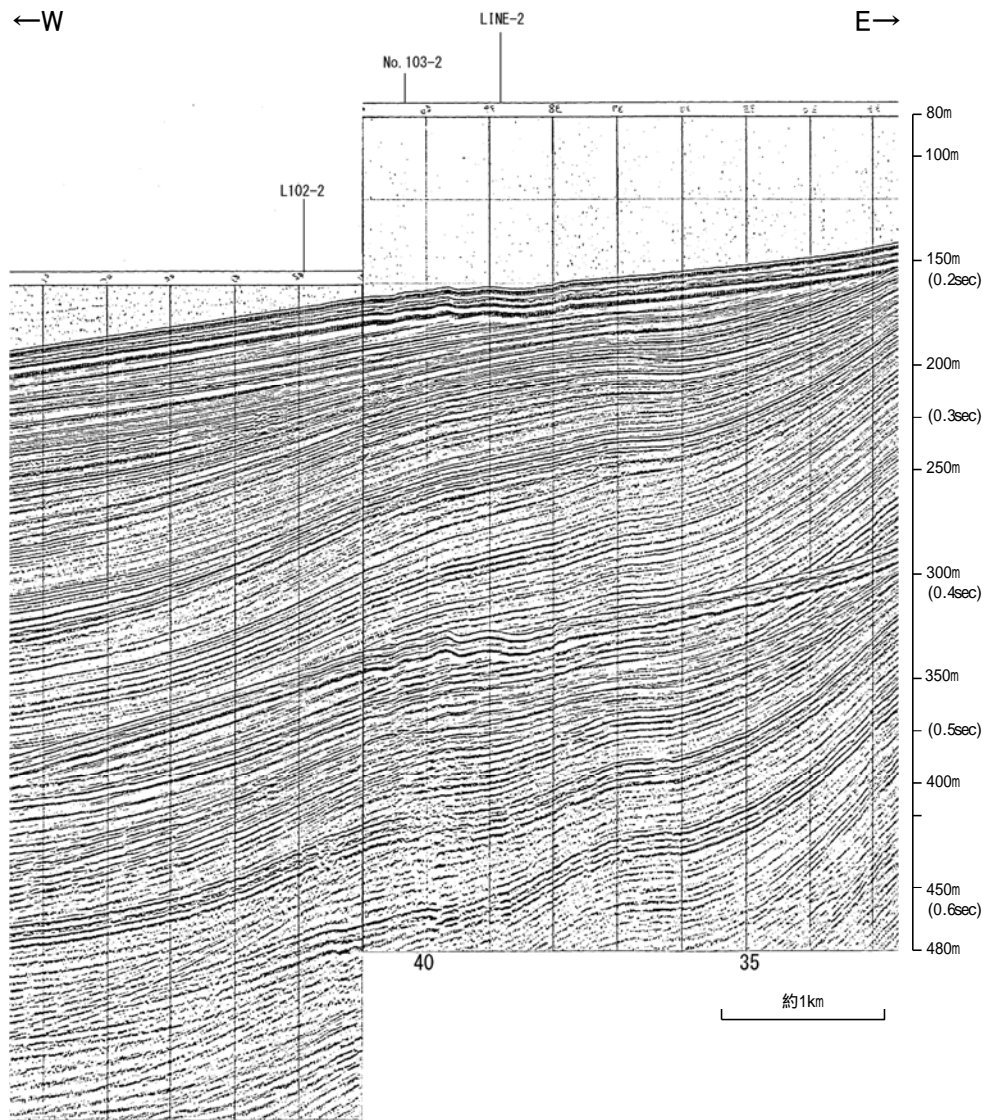


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層



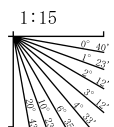
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.8

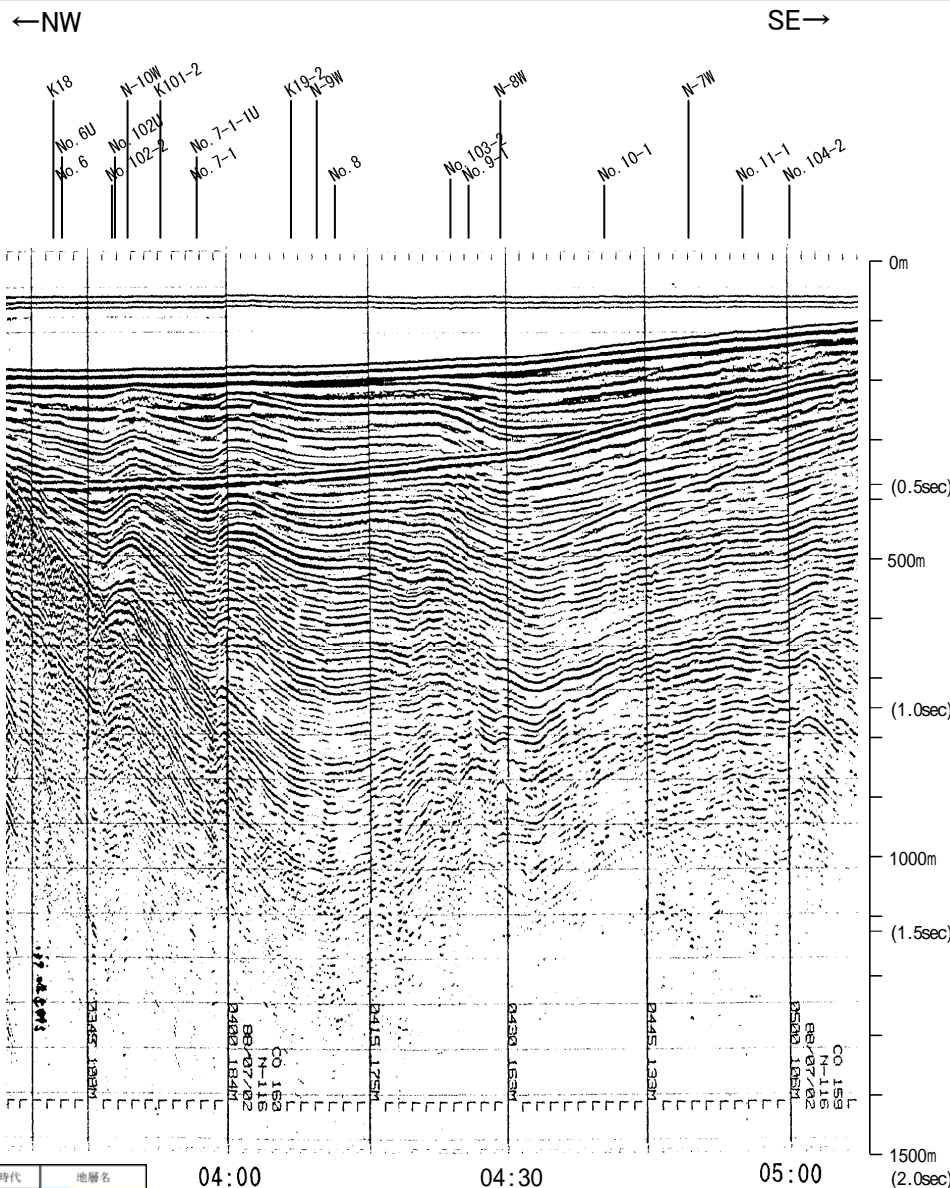


45

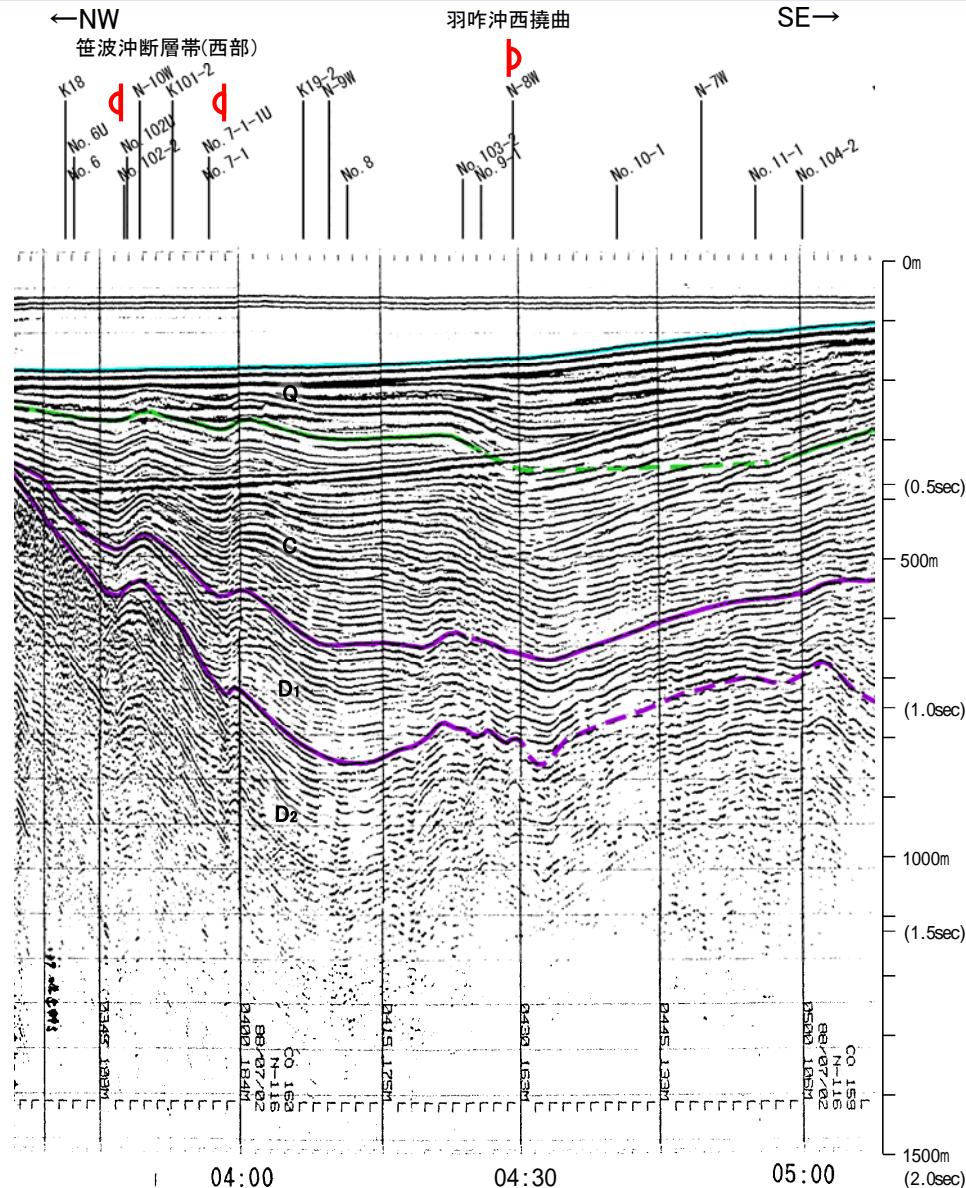
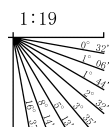
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B ₁ 層
		B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	新第三紀	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀	D ₃ 層	



地質調査所エアガン N-116

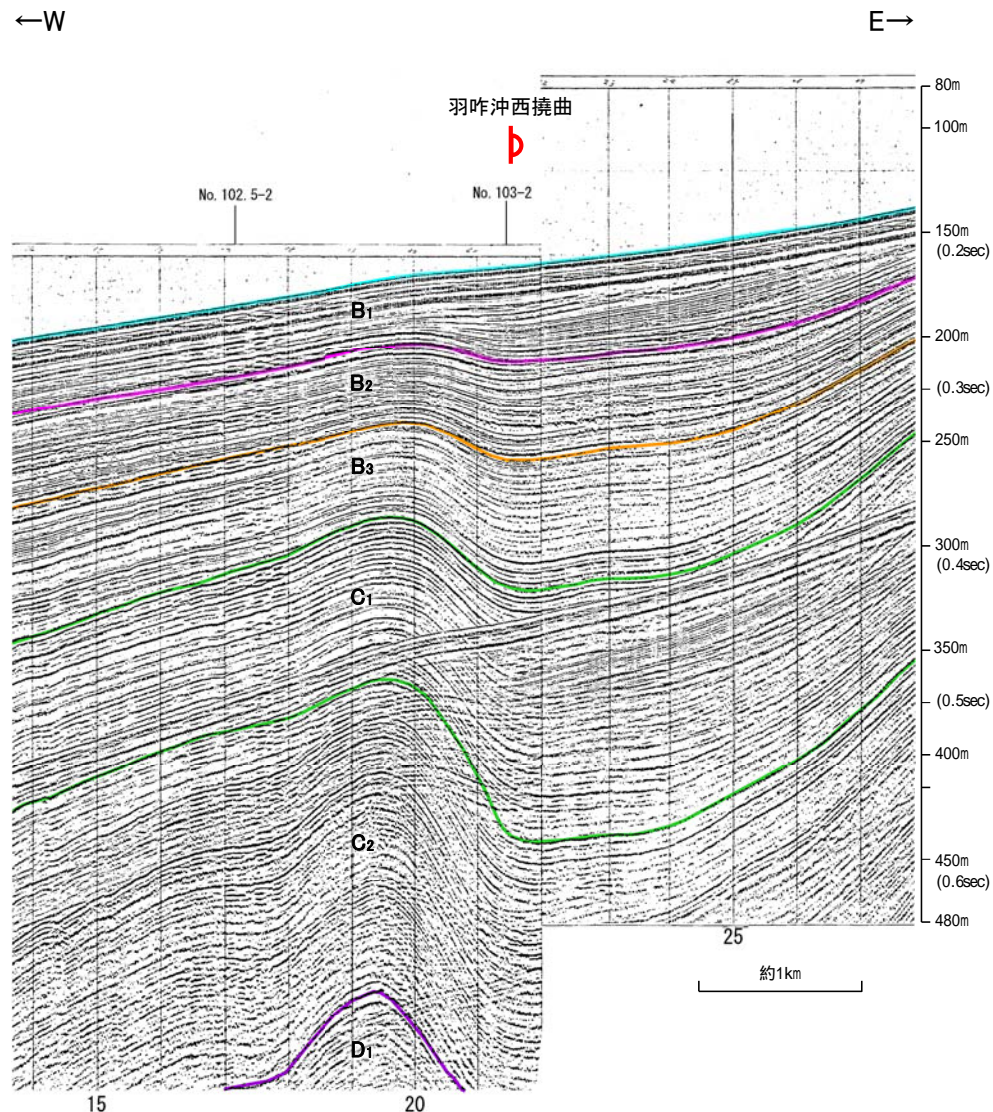
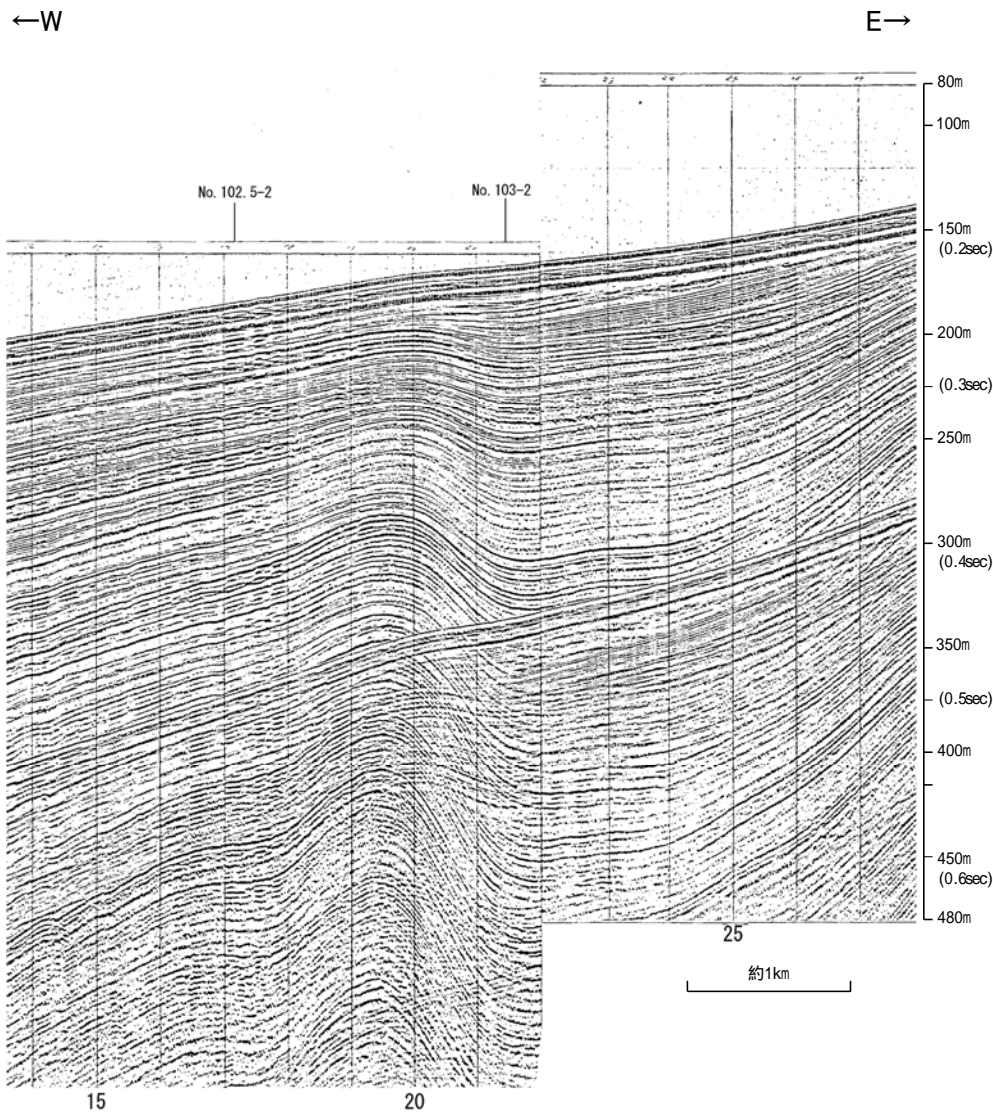


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

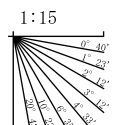


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

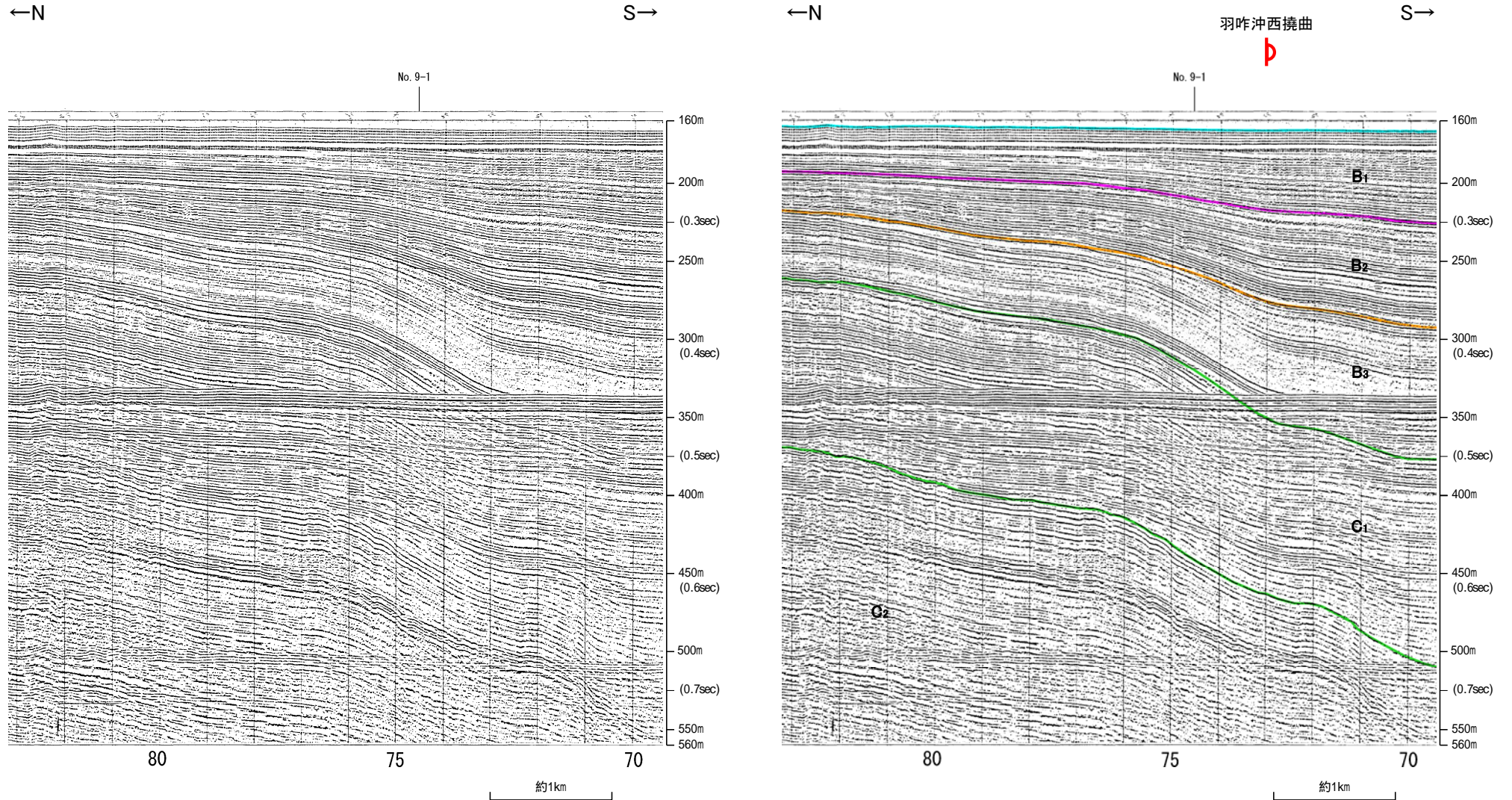
北陸電カスパーカー No.9-1



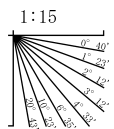
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B ₁ 層
		B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	漸新世	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀		



北陸電カスパーカー No.103-2①



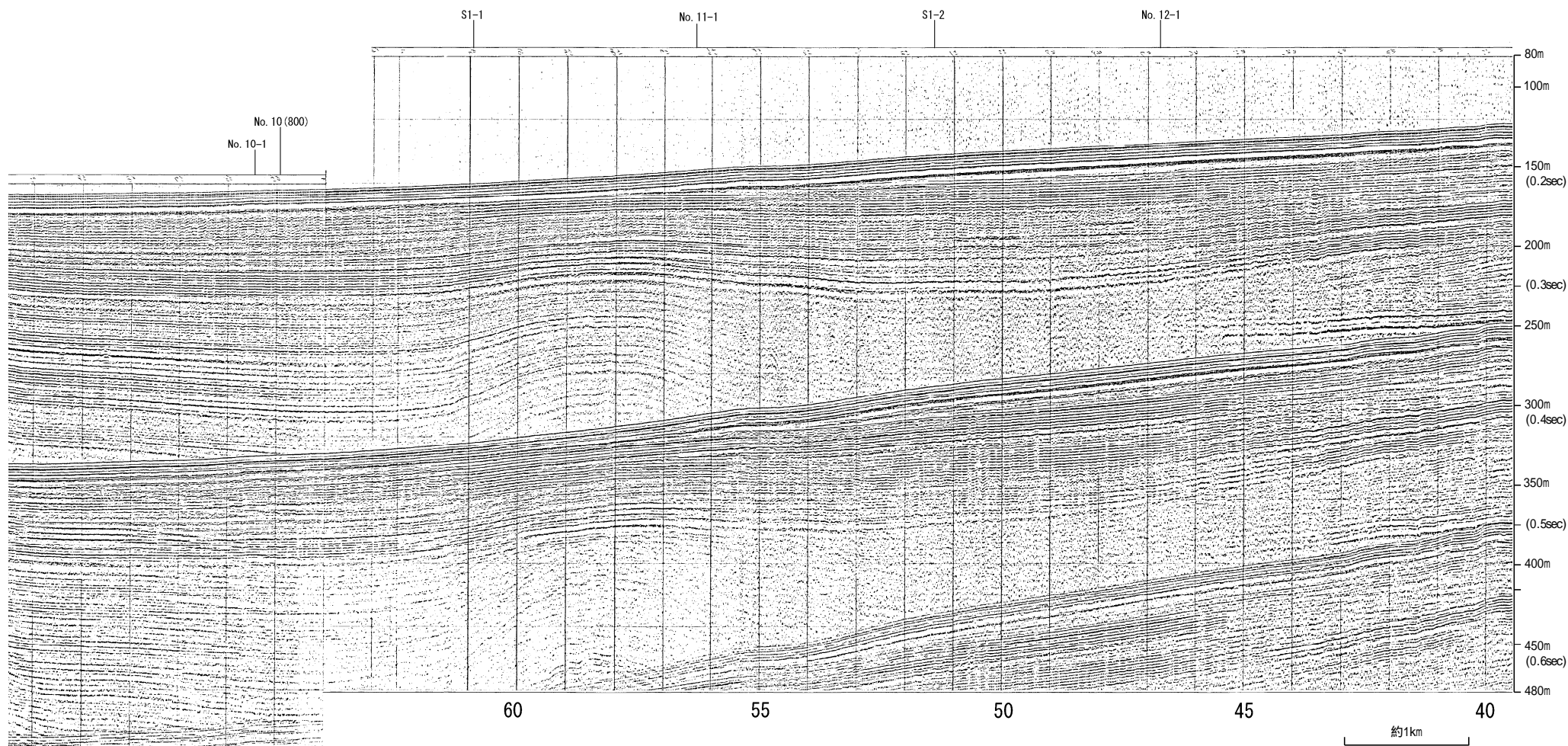
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B層
		B層
		B層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	D層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



北陸電カスパーカー No.103-2②

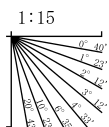
←N

S→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

65

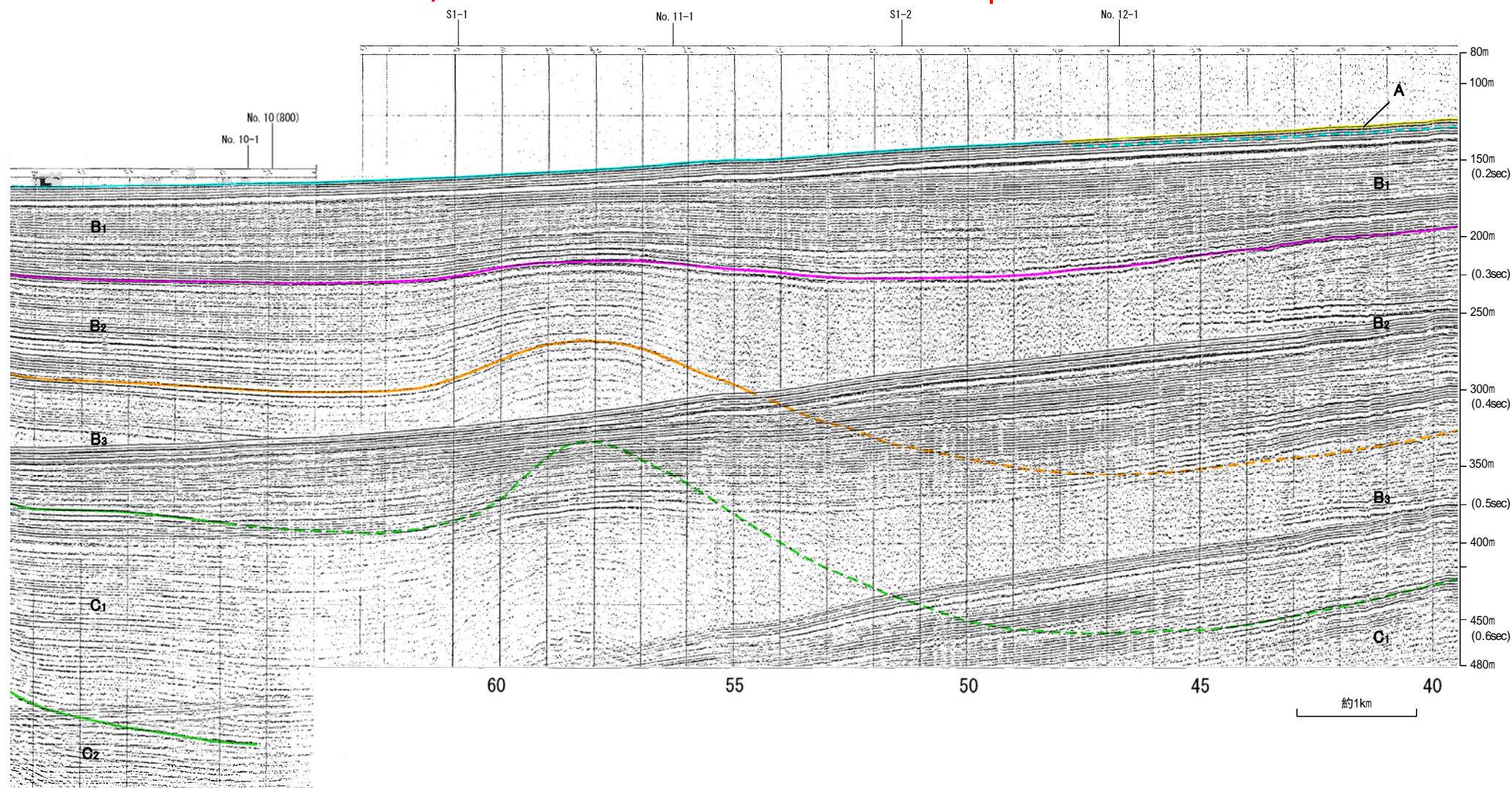


北陸電カスパーカー No.103-2②

羽 咋 冲 西 撓 曲

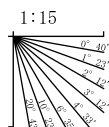
←N

S→

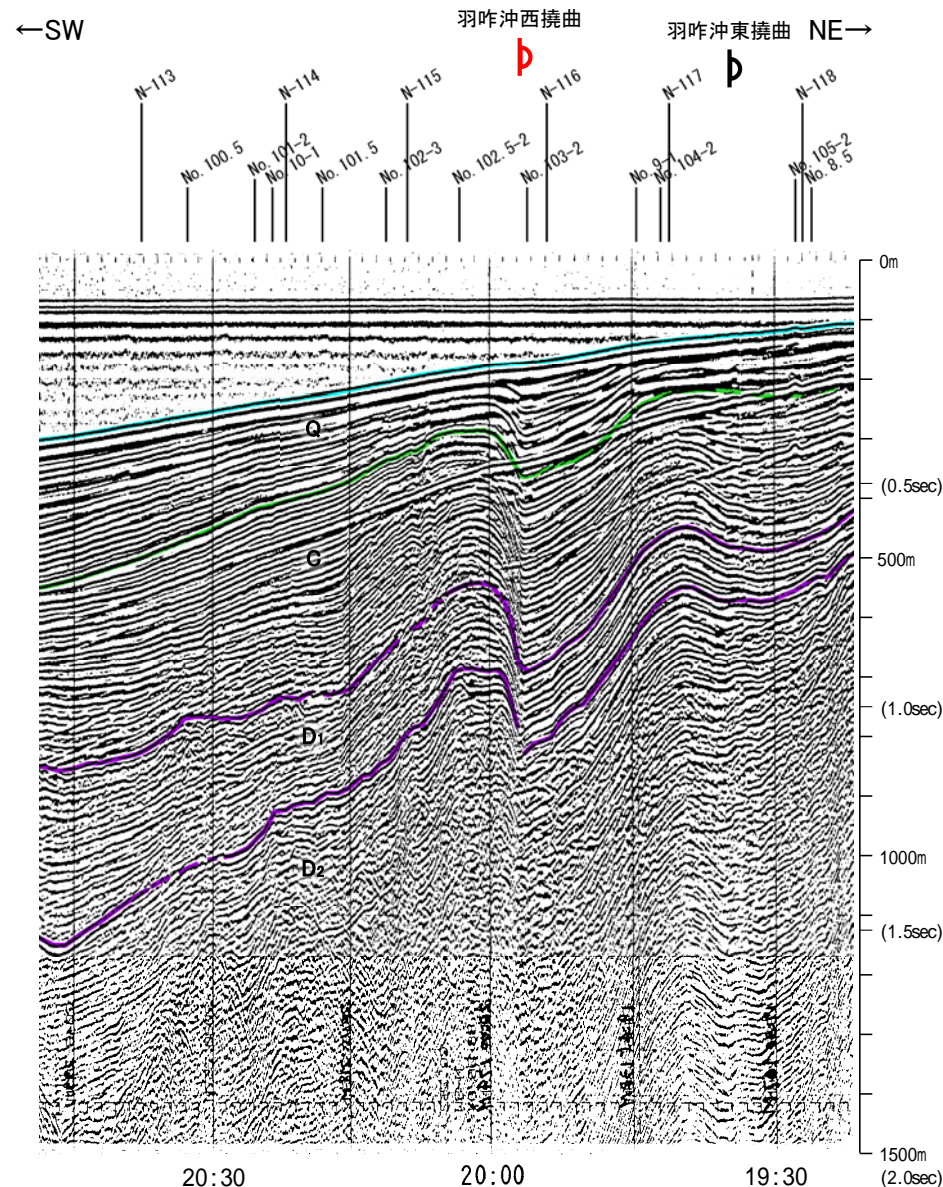
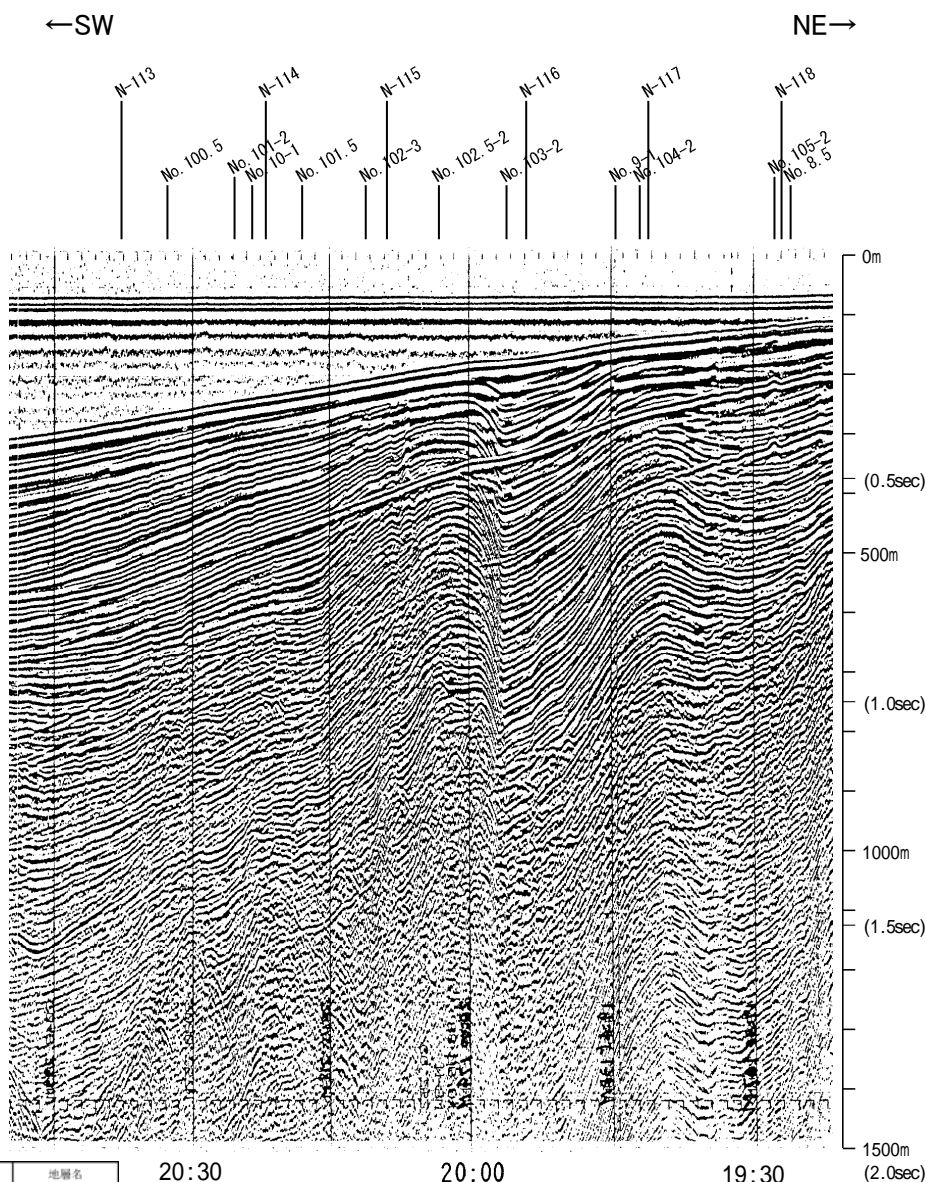


地質時代	地層名
第四紀	完新世 A層
	後期 B ₁ 層
	中期 B層 B ₂ 層
	前期 C層 C ₁ 層
	D層 D ₂ 層
第三紀	D層
中新世	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

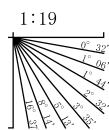
65



地質調査所エアガン N-8W

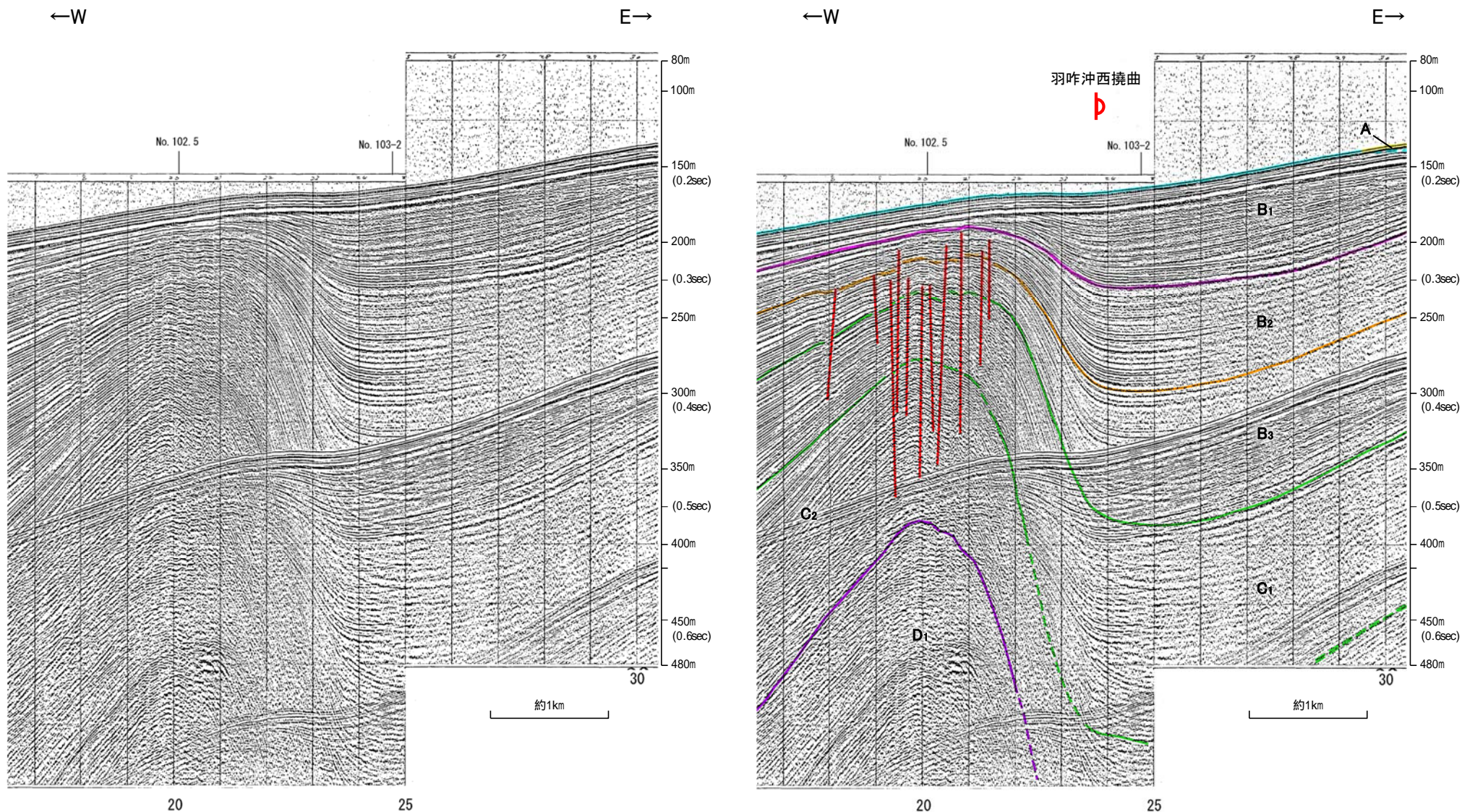


地質時代	地層名	
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
		B層
前期	C層	
第三紀	新第三紀	C層
	中新世	D層
		D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

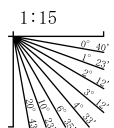


この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

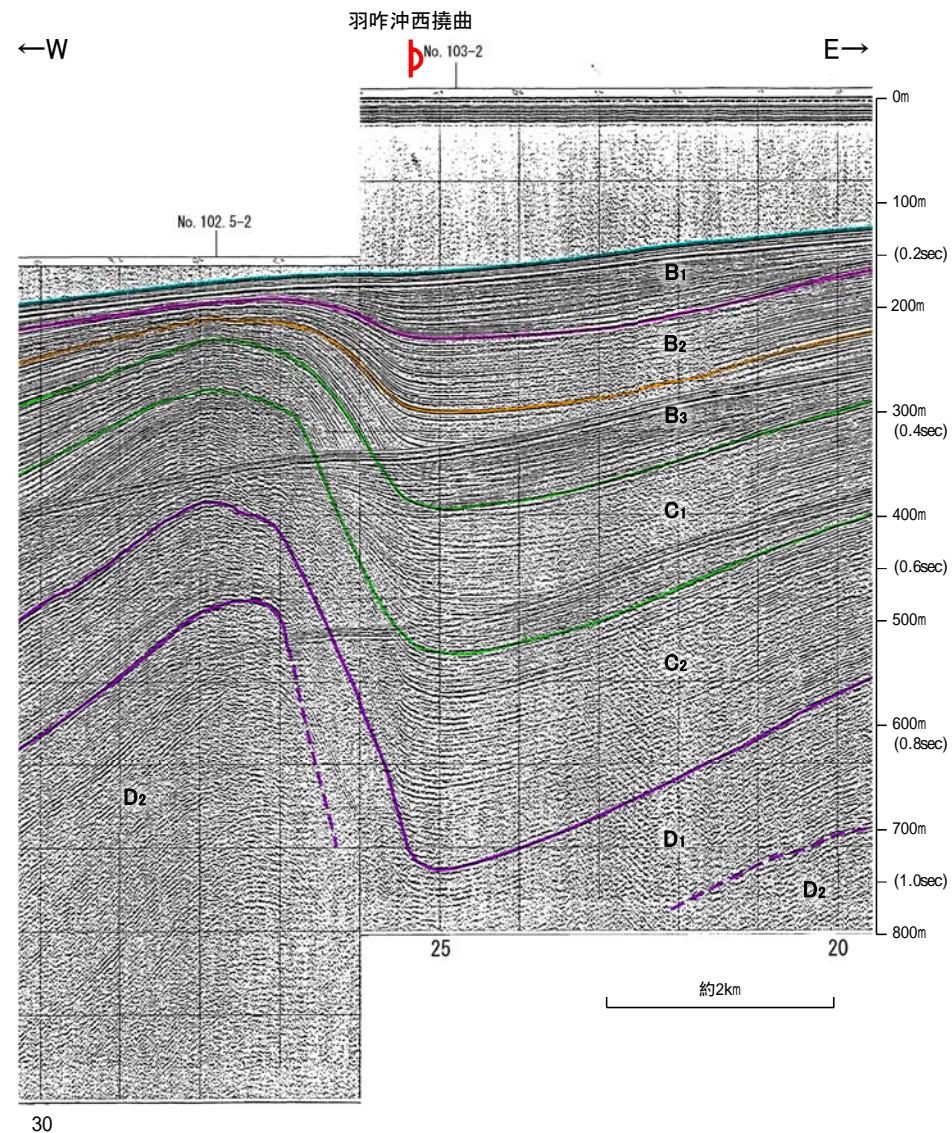
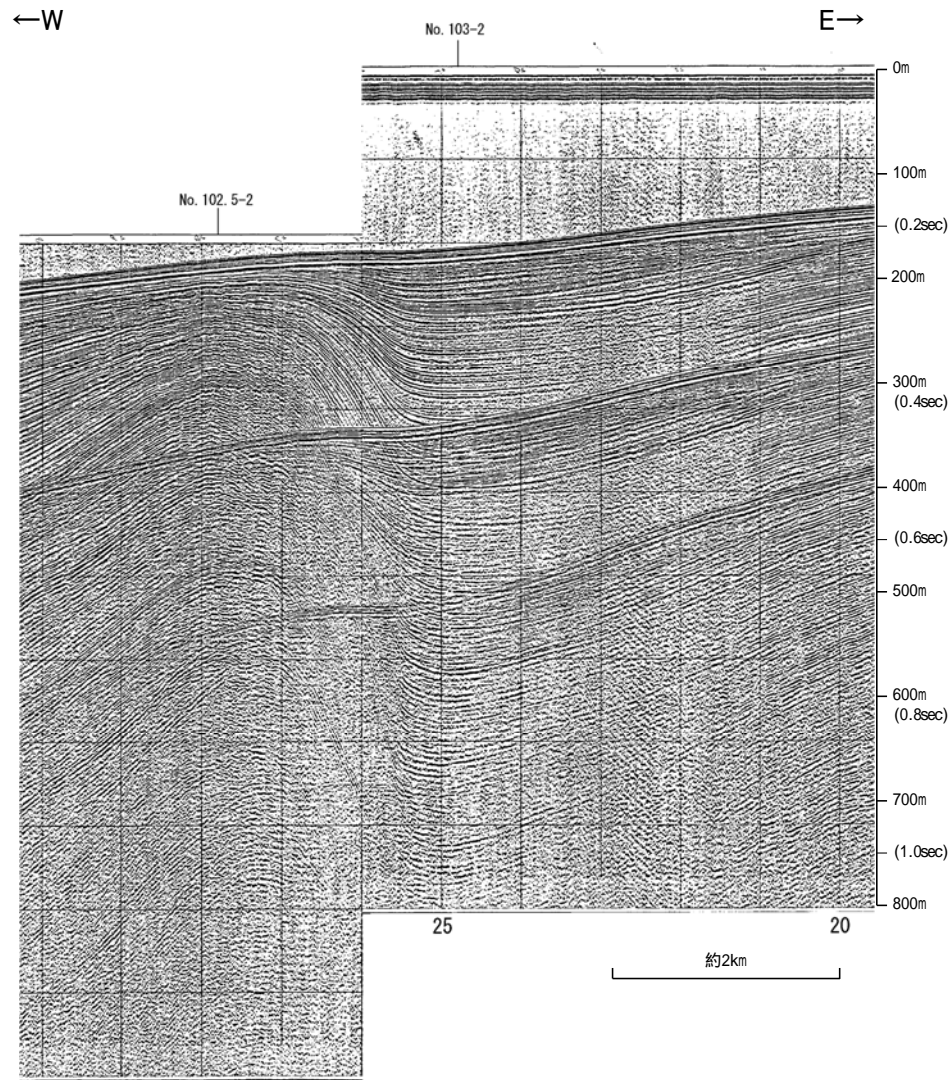
北陸電カスパーカー No.10-1



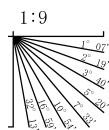
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	古第三紀	C ₂ 層
先第三紀	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層



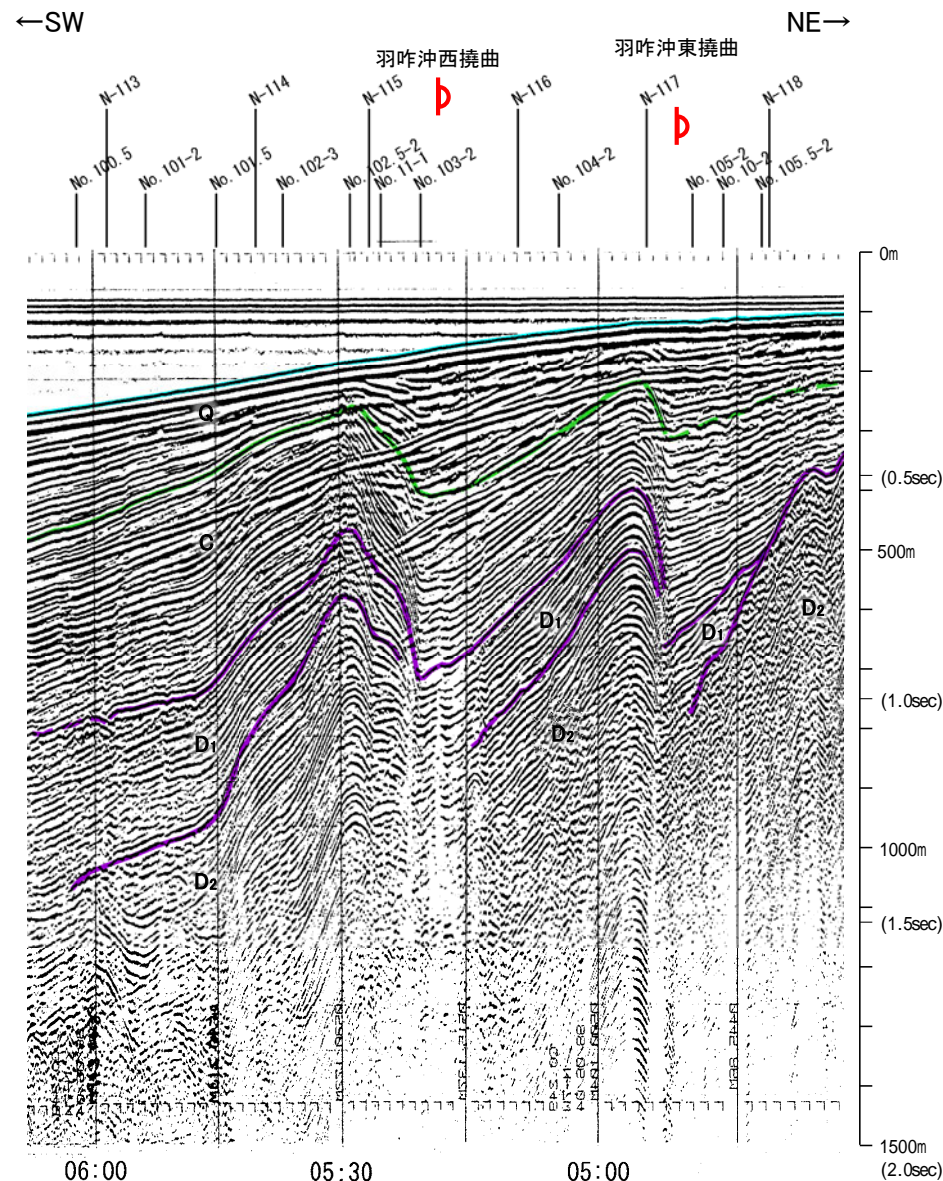
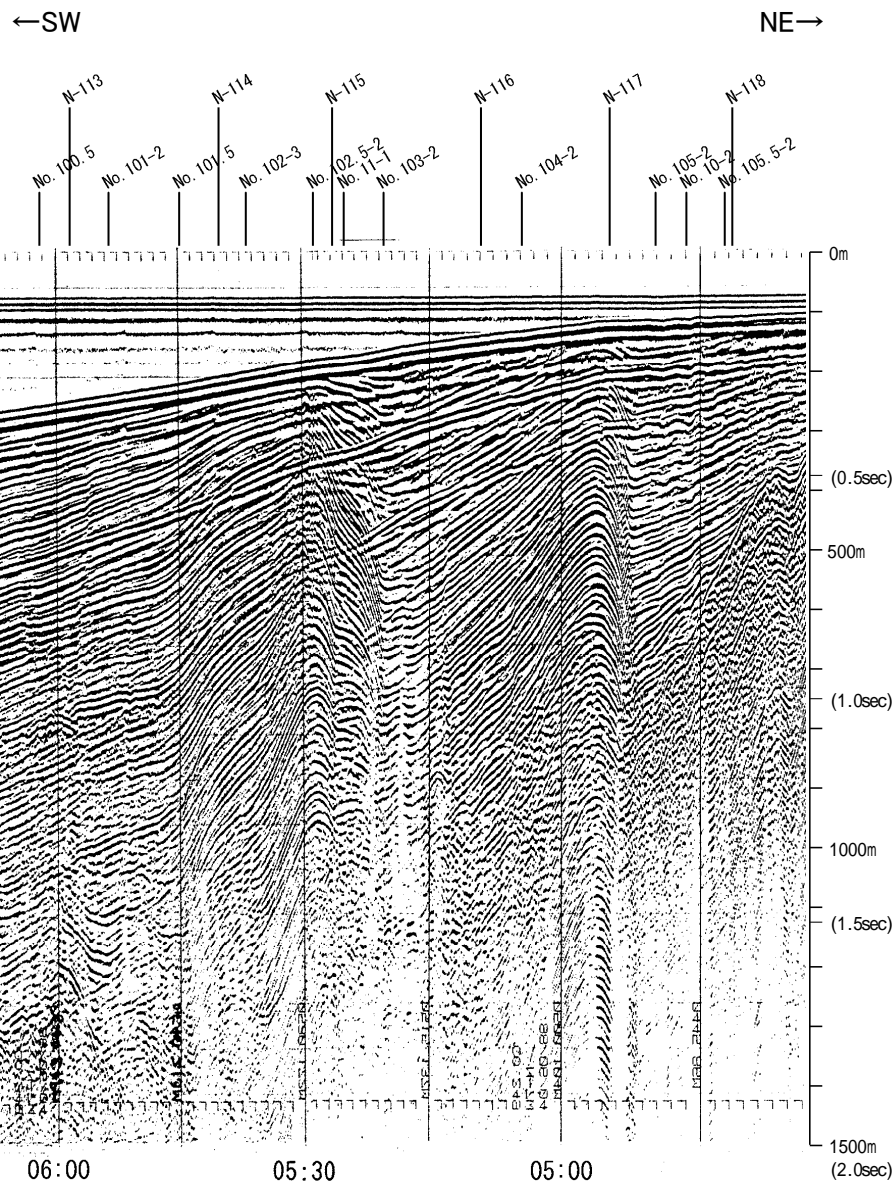
北陸電カスパーカー No.10(800)



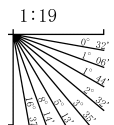
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	新第三紀	C層	
古第三紀	中新世	C ₁ 層	
		C ₂ 層	
	先第三紀	D層	



地質調査所エアガン N-7W

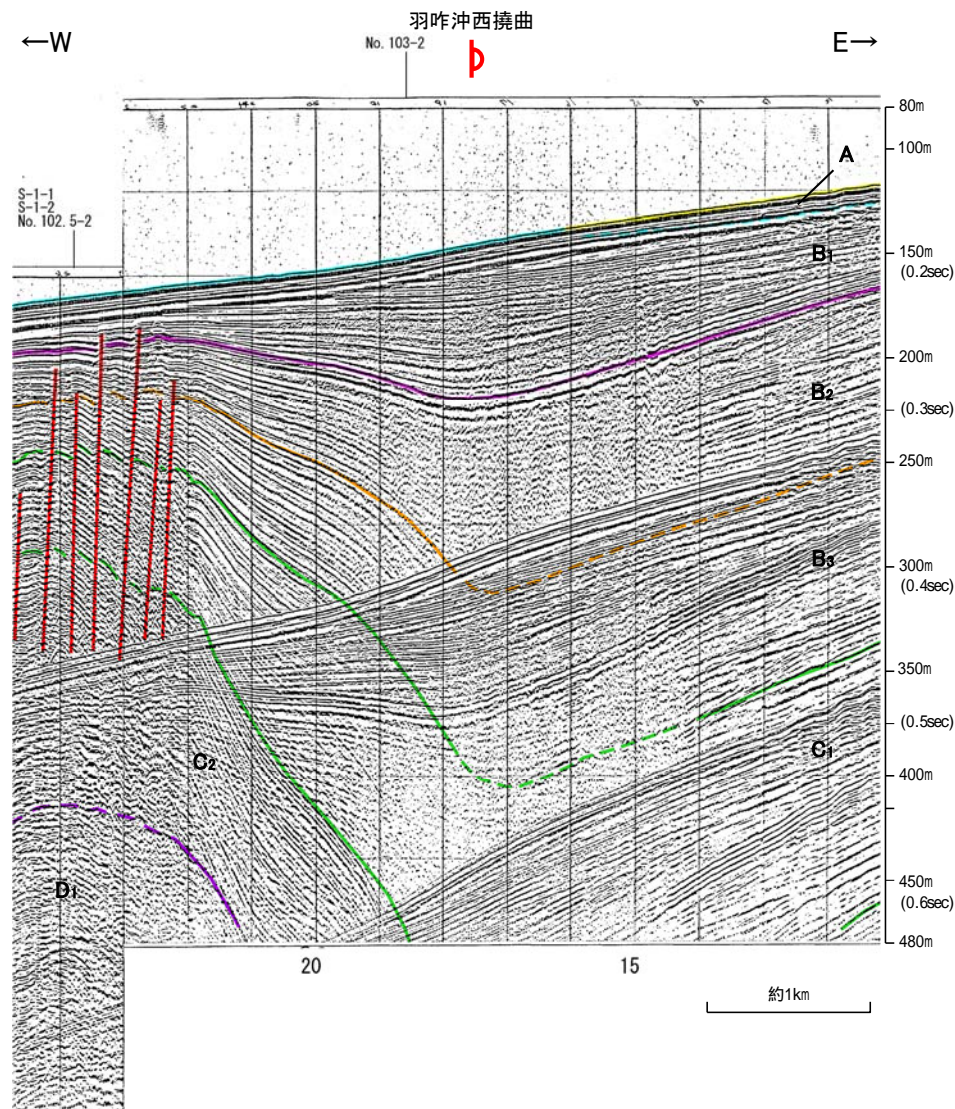
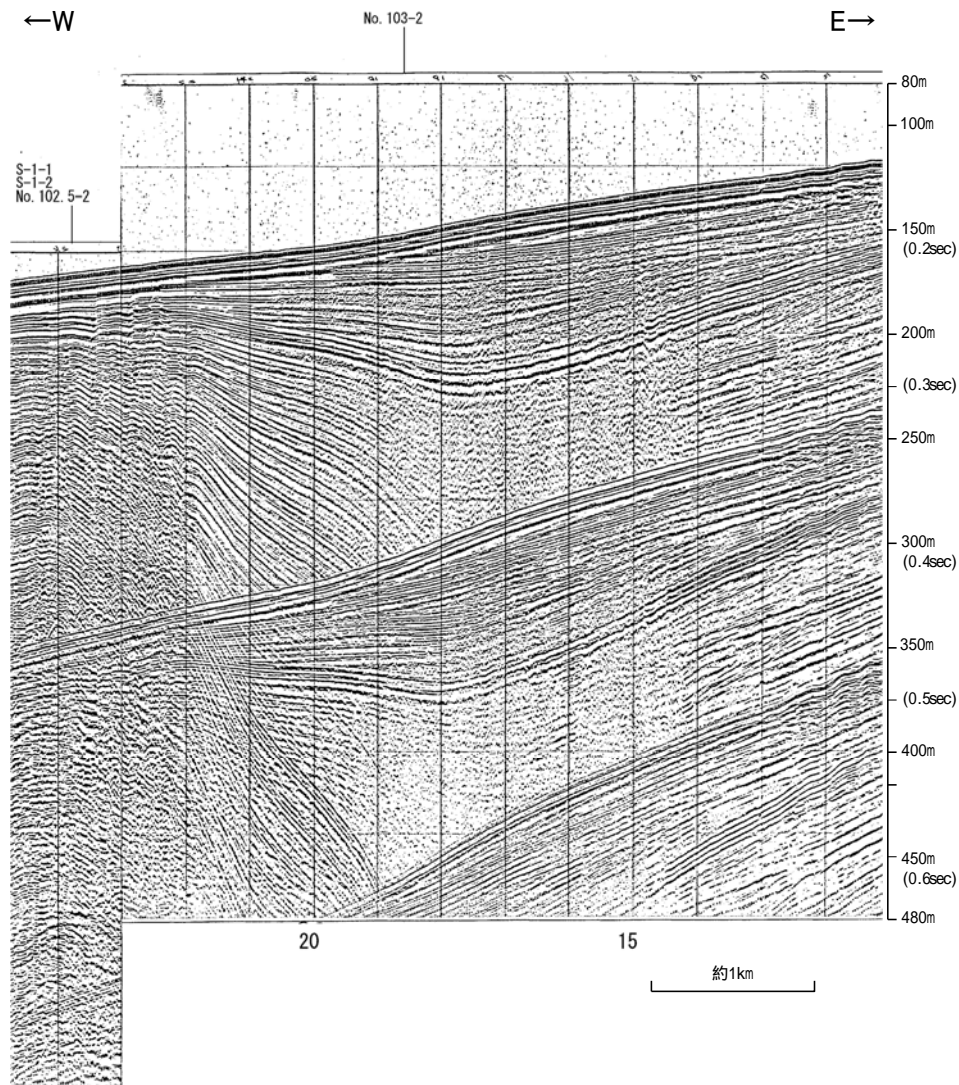


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	C層	
	C層	
第三紀	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

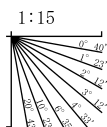


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.11-1



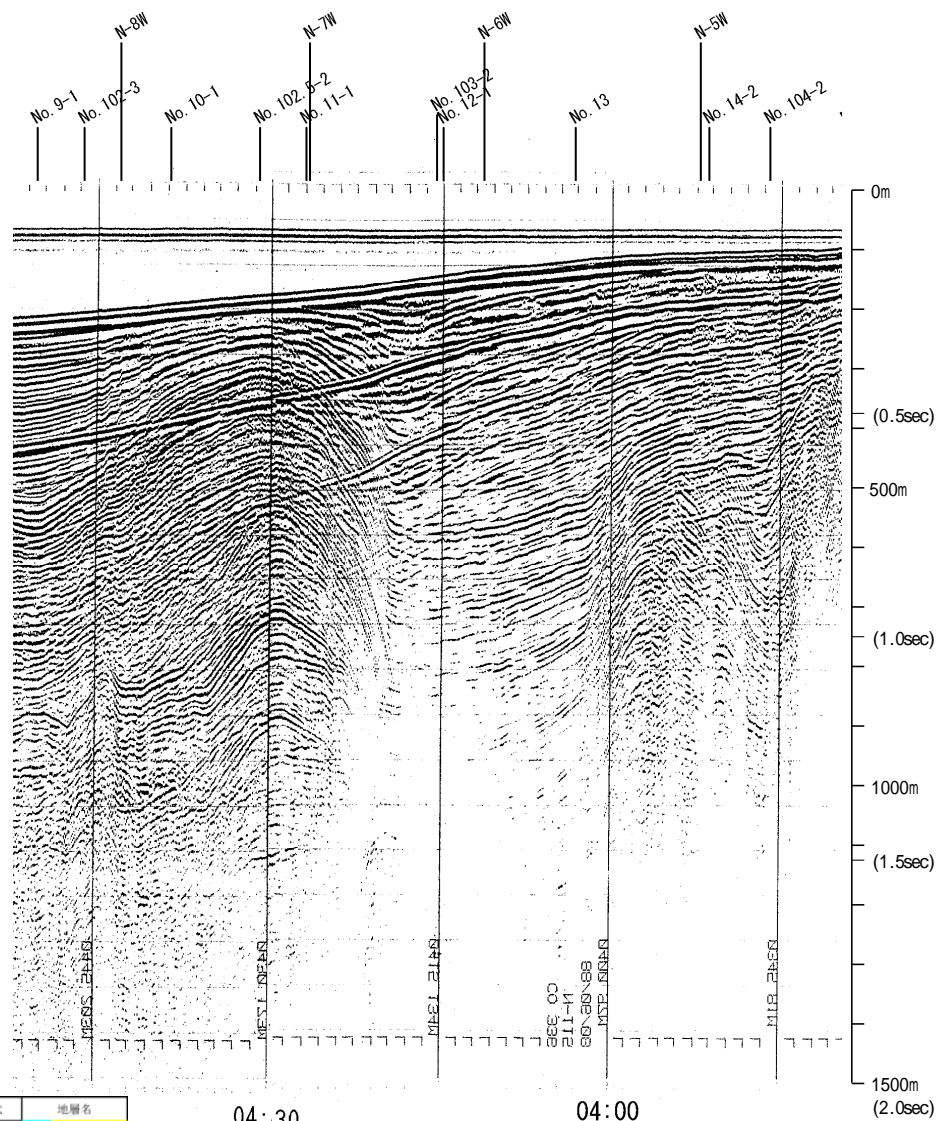
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	全新世	C層	
第三紀	新第三紀	D ₁ 層	
	中新世	D ₂ 層	
	古第三紀	D ₃ 層	
先第三紀	D ₄ 層		



地質調査所エアガン N-115

←NW

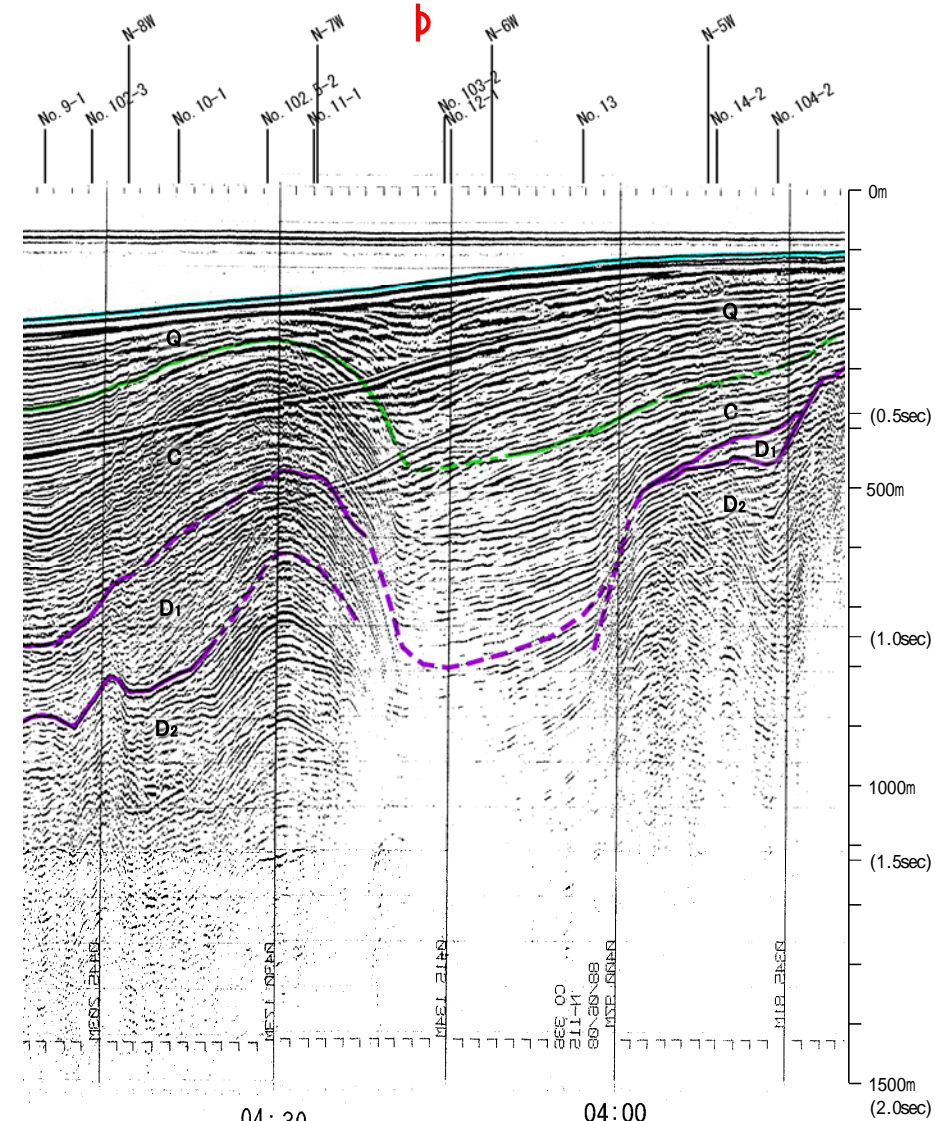
SE→



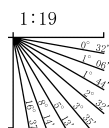
←NW

SE→

羽咋沖西撓曲

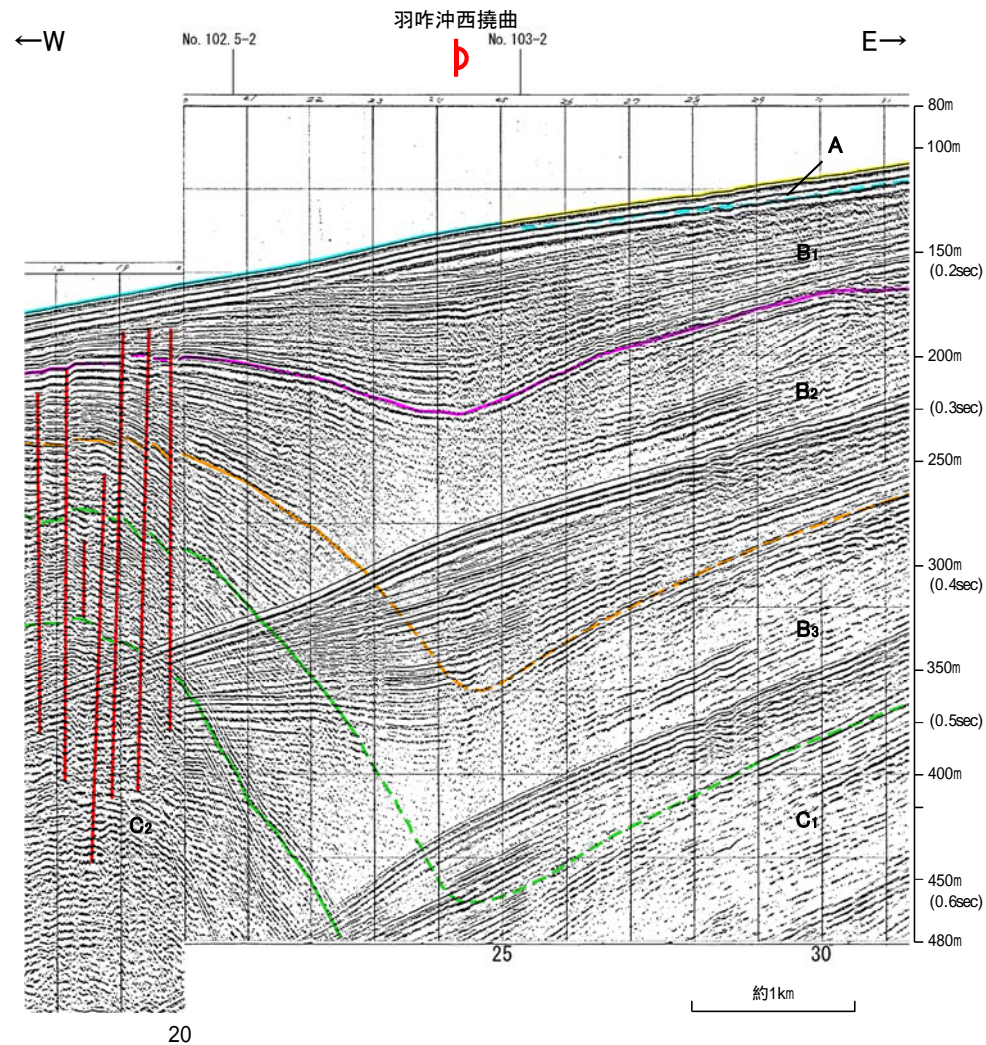
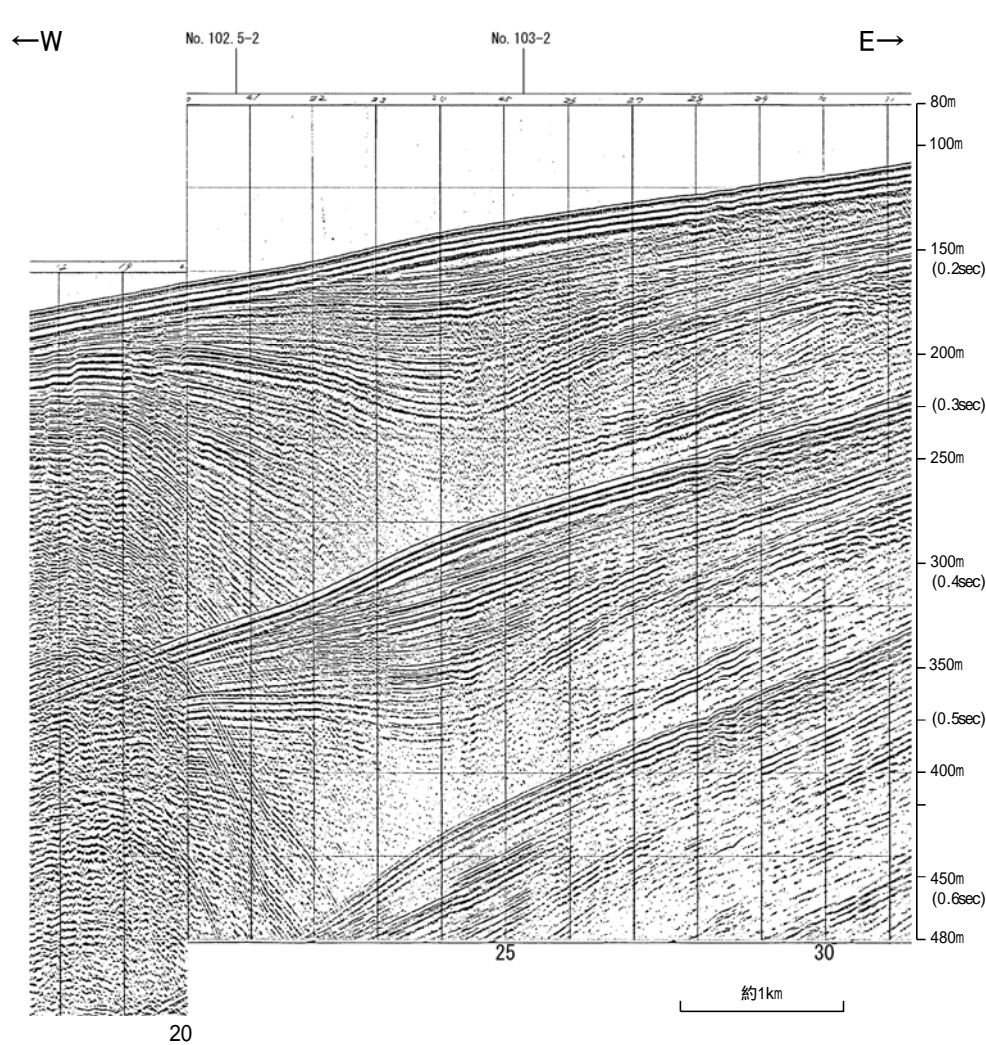


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	新新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
	先第三紀	D層

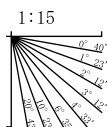


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

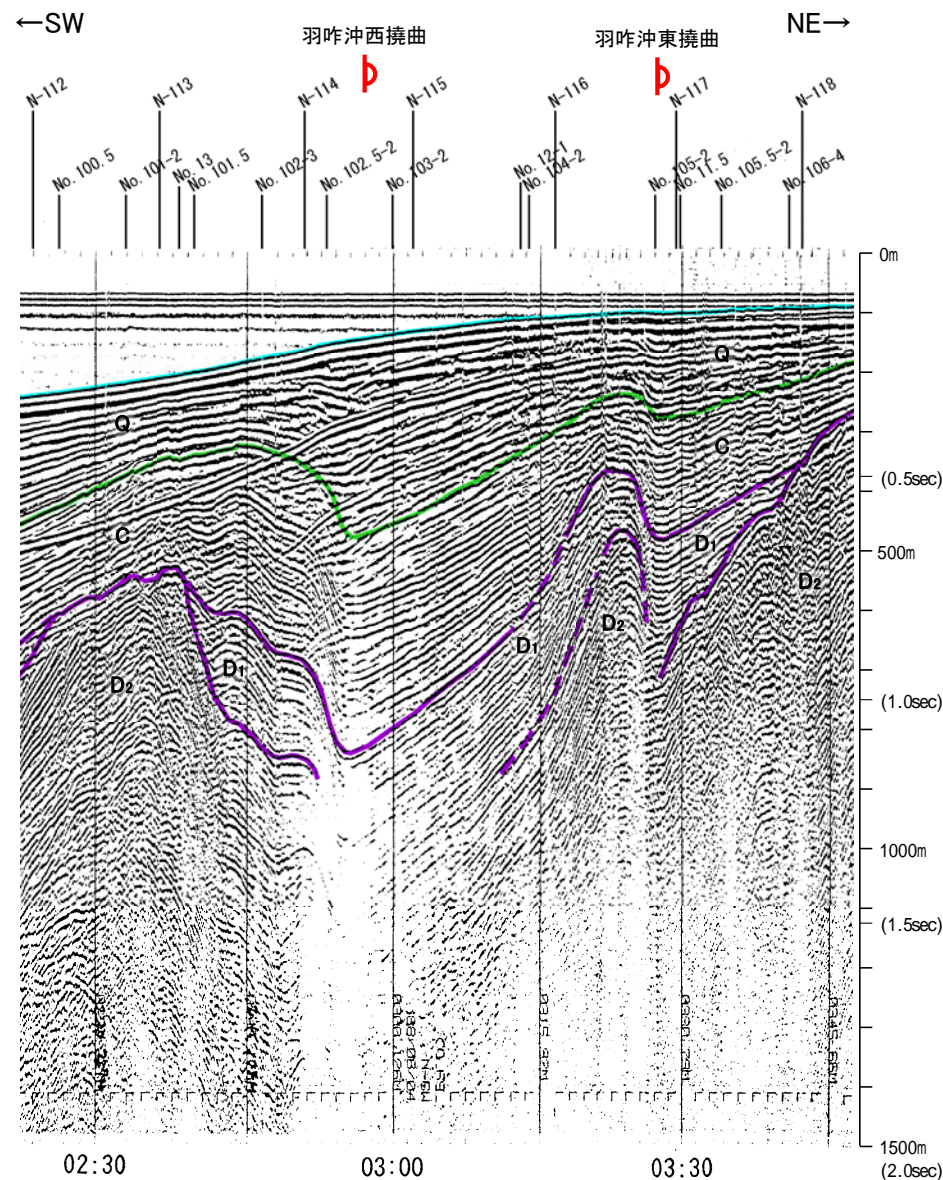
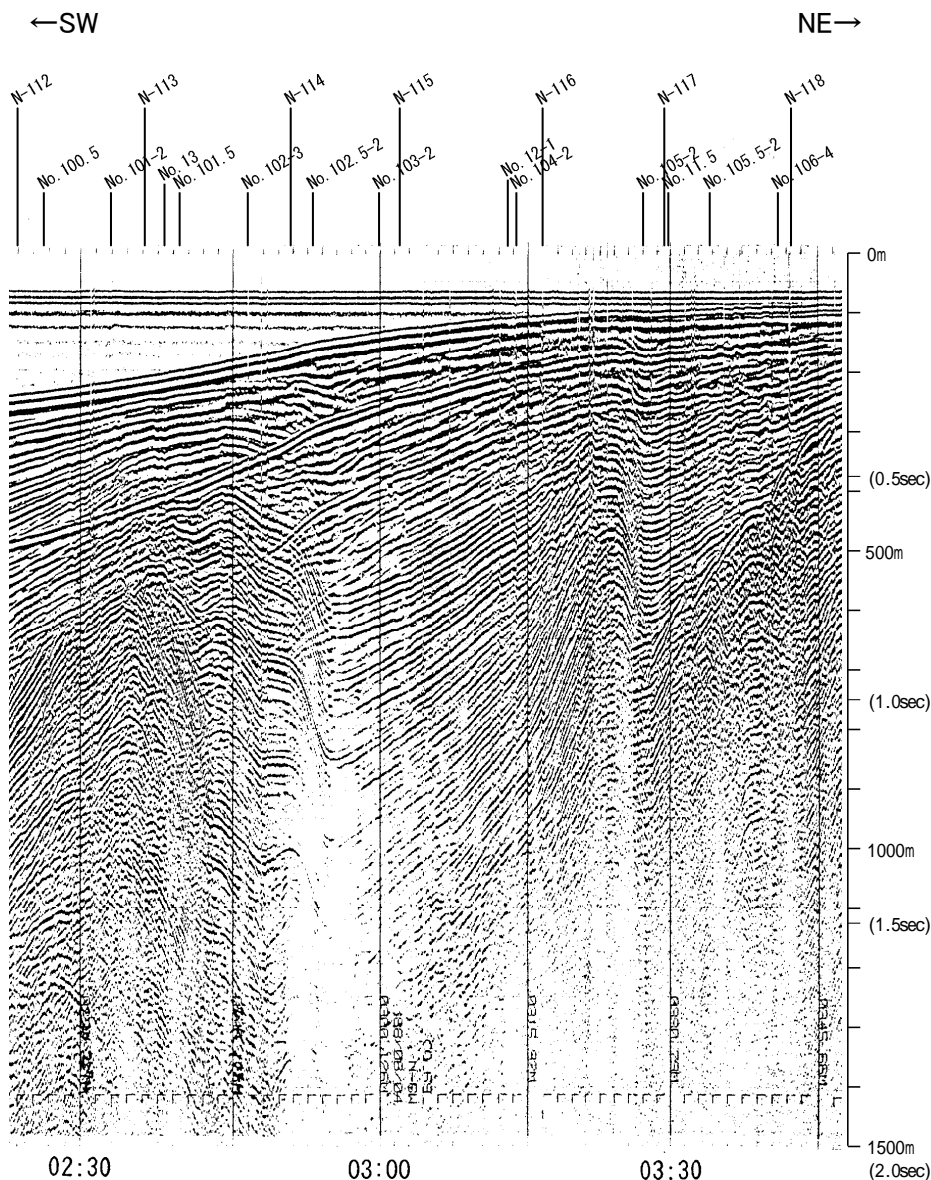
北陸電カスパーカー No.12-1



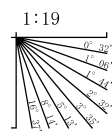
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B ₁ 層
		B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	C ₁ 層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



地質調査所エアガン N-6W

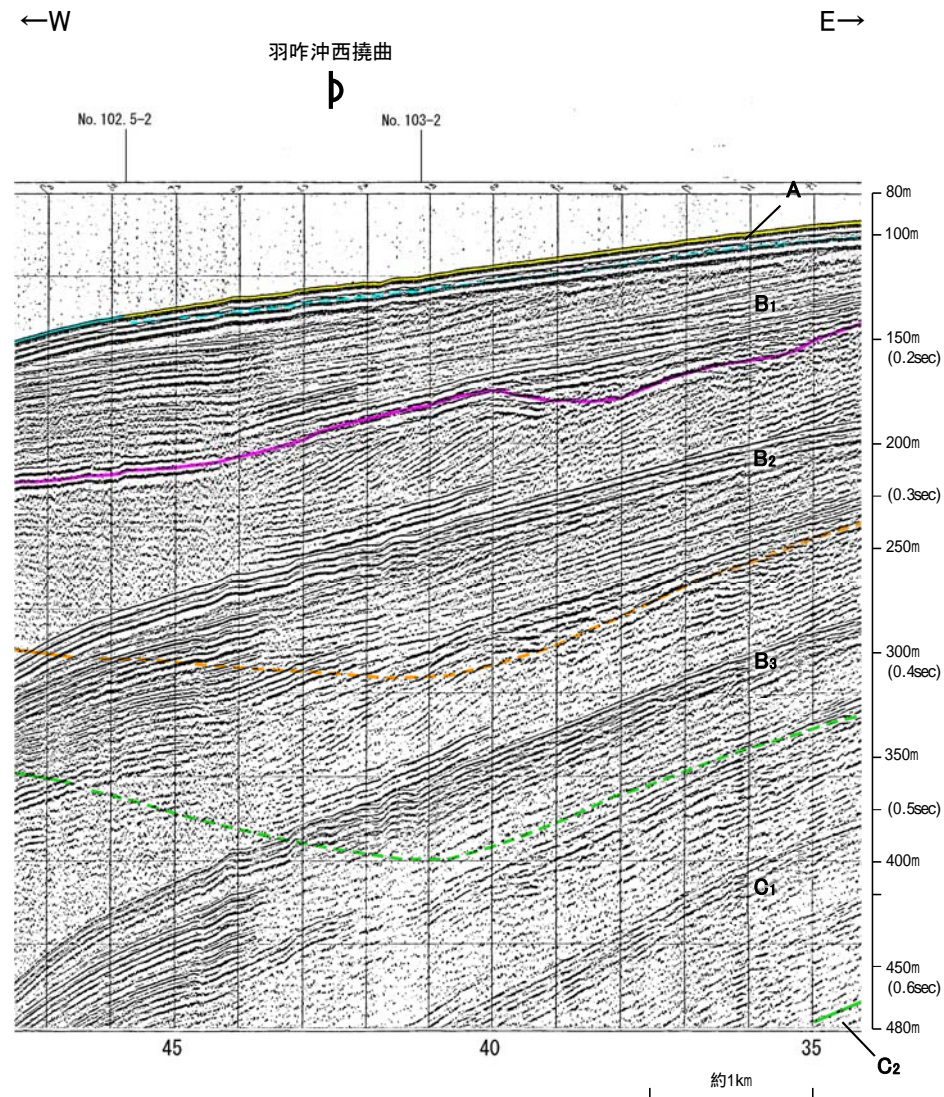
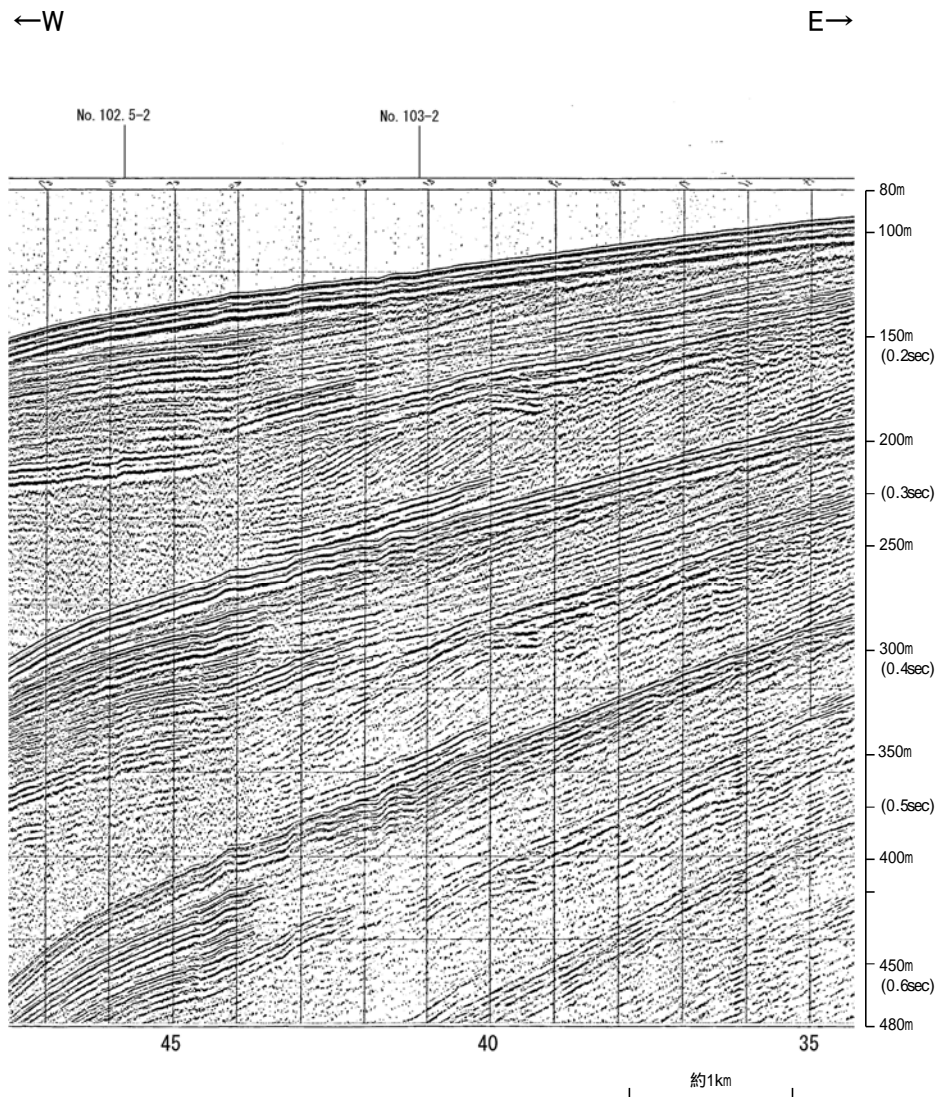


地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	中期	B層
前期	C層	
	C層	
第三紀	鮮新世	D層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.13



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中世	B層
		B ₁ 層
		B ₂ 層
	前期	C層
第三紀	新第三紀	D層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

